

少年鑑別所入所少年の特質に関する研究—年齢層ごとの比較

矯正協会附属中央研究所 多田 一
竹下 賀子

キーワード：少年鑑別所，低年齢，成年年齢，年少少年，年長少年

I 研究の目的

平成19年11月1日から「少年法等の一部を改正する法律」が施行され、14歳未満（おおむね12歳以上）の少年について、家庭裁判所が特に必要と認める場合には少年院送致が可能となった。これにより、少年鑑別所においては、家庭裁判所における新たな処遇選択に資するよう、低年齢少年の特徴に応じて鑑別体制の一層の充実を図ることが求められている。

一方、投票年齢を18歳以上とする国民投票法の成立に伴い、政府は「年齢条項の見直しに関する検討委員会」を設置し、成年年齢の引き下げに関して検討が行われており、ここでは当然ながら少年法が対象とする少年の年齢幅の設定に影響をもたらすこととなる。その場合、18歳以上の年長少年を成人として扱うべきか少年として扱うべきかという議論を行うにあたって、年長少年の特質を把握することが必要であると考えられる。

低年齢少年について、向野（2007）、法務総合研究所（2001）等でその特徴が検討されていることに比べ、年長少年についてはこれまで注目されることが少なかった。しかし、少年の年齢をめぐる議論が活発化する中で、少年鑑別所に入所した少年の年齢層ごとの特質を把握しておくことは、少年鑑別所における資質鑑別の充実に寄与するのみならず、少年法のあり方を検討する上での重要な基礎資料となり得る。

そこで本研究では、少年鑑別所に入所した少年の特質について調査し年齢を軸として分析を行うことで年齢層ごとの特質を把握することとした。とりわけ、18歳以上の少年について他の年齢層との比較を通してその特徴を明らかにするとともに、14歳未満の少年の実態を把握することを目的とする。

II 方法

1 鑑別統計資料の分析

平成19年に全国の少年鑑別所に入所した少年について、鑑別統計資料の分析を行った。

(1) 分析対象者

全国の少年鑑別所に少年鑑別所送致の決定により入所した者で、かつ、平成19年に施設間の移送以外の事由により退所した者のうち、退所時の年齢が20歳未満の者(15,215名)を分析対象とした。

(2) 分析内容

入所(院)者調査票調査事項のうち、下記の25項目について集計・分析した。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| ① 性別 | ⑬ 薬物等使用関係 |
| ② 退所時年齢 | ⑭ 国籍 |
| ③ 事件種別 | ⑮ 居住状況 |
| ④ 非行名 | ⑯ 保護者 |
| ⑤ 入所回数 | ⑰ 保護者の職業 |
| ⑥ 非行時の身上 | ⑱ 本人の職業 |
| ⑦ 保護処分歴(保護観察) | ⑲ 家庭の生活程度 |
| ⑧ 保護処分歴
(児童自立支援施設等送致) | ⑳ 教育程度(最終学歴, 就学状況) |
| ⑨ 保護処分歴(少年院送致) | ㉑ 精神診断 |
| ⑩ 共犯(数) | ㉒ 知能指数 |
| ⑪ 共犯(種類) | ㉓ 鑑別判定 |
| ⑫ 不良集団関係 | ㉔ 医療措置 |
| | ㉕ 審判決定等 |

2 少年鑑別所入所者の全数調査

全国の少年鑑別所に入所し平成20年6～8月に退所した者のうち、鑑別を終了した者を対象として調査を実施した。

(1) 調査対象者

全国の少年鑑別所に少年鑑別所送致の決定により入所した者で、かつ、平成20年6～8月に施設間の移送以外の事由により退所した者のうち、鑑別を終了した者(3,544名)を調査対象とした。

(2) 調査期間

平成20年6月5日から同年9月19日

(3) 実施方法

少年鑑別所職員に少年簿等に基づいて調査票の記入を依頼した。

(4) 調査内容

下記の内容について調査を実施した。調査項目の詳細については、巻末の資料を参照されたい。

ア 基本属性

- | | |
|------------|-------|
| ① 退所少年鑑別所名 | ③ 入所月 |
| ② 入所番号 | ④ 退所月 |

- ⑤ 特別更新の有無
- ⑥ 性別
- イ 非行の態様
 - ① 非行名
 - ② 非行時の身上
 - ③ 本件非行の動機
- ウ 処分歴
 - ① 少年鑑別所入所回数
 - ② 審判不開始歴
 - ③ 不処分歴
 - ④ 試験観察歴
 - ⑤ 保護処分歴
- エ 問題行動歴
 - ① 不良集団所属歴
 - ② 不良集団内の立場
- オ 家族関係
 - ① 居住状況
 - ② 保護者
 - ③ 保護者の職業
 - ④ 家庭の生活程度
 - ⑤ 父との関係
- カ 適応状況等
 - ① 教育程度
 - ② 学校生活に対する意欲
 - ③ 怠学の有無
 - ④ 学業成績
 - ⑤ 学校での人間関係
 - ⑥ 学校内での問題行動
 - ⑦ 学校内での非行
 - ⑧ 進路の明確さ
- キ 鑑別判定等
 - ① 精神診断
 - ② 知能指数
 - ③ 医療措置
 - ④ 鑑別判定
- ⑦ 退所時年齢
- ⑧ 国籍
- ④ 被害の程度
- ⑤ 被害者の種類
- ⑥ 共犯関係
- ⑥ 刑事処分歴
- ⑦ 再非行期間
- ⑧ 非行初発年齢
- ⑨ 非行の範囲
- ③ 薬物濫用歴
- ④ 問題行動歴
- ⑥ 母との関係
- ⑦ 家族の特徴
- ⑧ 在所中の保護者との面会
- ⑨ 在所中の保護者からの受信
- ⑩ 在所中の保護者への発信
- ⑨ 本人の職業
- ⑩ 就業生活・就労に対する意欲
- ⑪ 就業状況
- ⑫ 現職の就業期間
- ⑬ 職場での人間関係
- ⑭ 職場内での犯罪経験
- ⑮ 就労に関する目標・計画の明確さ
- ⑯ 最も親しい友人グループの種類
- ⑤ 審判決定等
- ⑥ 前回の鑑別判定
- ⑦ 前回の審判決定

3 14歳未満の少年鑑別所入所者

平成19年に全国の少年鑑別所を退所した14歳未満の者を対象として調査を実施した。

(1) 調査対象者

全国の少年鑑別所に少年鑑別所送致の決定により入所した者で、かつ、平成19年に施設間の移送以外の事由により退所した者（113名）を調査対象とした。

(2) 調査期間

平成20年6月5日から同年9月19日

(3) 実施方法

少年鑑別所職員に少年簿等に基づいて調査票の記入を依頼した。

(4) 調査内容

下記の内容について調査を実施した。

なお、下記の調査項目のうち入所（院）者調査票に含まれる項目については平成19年鑑別統計資料のデータを使用し、実際の調査時には入所（院）者調査票に含まれない項目のみ調査している。

調査項目の詳細については、巻末の資料を参照されたい。

ア 基本属性

- | | |
|------------|-----------|
| ① 退所少年鑑別所名 | ⑤ 特別更新の有無 |
| ② 入所番号 | ⑥ 性別 |
| ③ 入所月 | ⑦ 退所時年齢 |
| ④ 退所月 | ⑧ 国籍 |

イ 非行の態様

- | | |
|-----------|----------|
| ① 非行名 | ④ 被害の程度 |
| ② 非行時の身上 | ⑤ 被害者の種類 |
| ③ 本件非行の動機 | ⑥ 共犯関係 |

ウ 処分歴

- | | |
|-------------|----------|
| ① 少年鑑別所入所回数 | ⑥ 刑事処分歴 |
| ② 審判不開始歴 | ⑦ 再非行期間 |
| ③ 不処分歴 | ⑧ 非行初発年齢 |
| ④ 試験観察歴 | ⑨ 非行の範囲 |
| ⑤ 保護処分歴 | |

エ 問題行動歴

- | | |
|------------|---------|
| ① 不良集団所属歴 | ③ 薬物濫用歴 |
| ② 不良集団内の立場 | ④ 問題行動歴 |

オ 家族関係

- | | |
|--------|-----------|
| ① 居住状況 | ③ 保護者の職業 |
| ② 保護者 | ④ 家庭の生活程度 |

- | | |
|--------------|------------------|
| ⑤ 父との関係 | ⑧ 在所中の保護者との面会 |
| ⑥ 母との関係 | ⑨ 在所中の保護者からの受信 |
| ⑦ 家族の特徴 | ⑩ 在所中の保護者への発信 |
| カ 適応状況等 | |
| ① 教育程度 | ⑥ 学校内での問題行動 |
| ② 学校生活に対する意欲 | ⑦ 学校内での非行 |
| ③ 怠学の有無 | ⑧ 進路の明確さ |
| ④ 学業成績 | ⑨ 最も親しい友人グループの種類 |
| ⑤ 学校での人間関係 | |
| キ 鑑別判定等 | |
| ① 精神診断 | ⑤ 審判決定等 |
| ② 知能指数 | ⑥ 前回の鑑別判定 |
| ③ 医療措置 | ⑦ 前回の審判決定等 |
| ④ 鑑別判定 | |

Ⅲ 結果

1 鑑別統計資料の分析

全国の少年鑑別所に少年鑑別所送致の決定により入所した者で、かつ、平成19年に施設間の移送以外の事由により退所した者のうち、退所時の年齢が20歳未満の者（15,215名）を集計対象とした。

(1) 平成19年少年鑑別所退所者の特質

平成19年少年鑑別所退所者の性別は、男子が13,493名（88.7%）、女子が1,722名（11.3%）である。国籍は日本が14,805名（97.3%）、日本以外が410名（2.7%）である。

性別、国籍といった基本属性によって特質に違いがあるのかを検討するため、全体の集計に加えて、男女別による集計及び国籍別による集計を行った。

ア 年齢

年齢の内訳は、表1-1のとおりである。17歳と16歳がそれぞれ全体の約20%を占めて最も多く、次いで18歳、19歳となっている。

男女別に見ると、男子では17歳と16歳が最も多いが、女子では16歳と15歳がそれぞれ全体の20%を超えて最も多い。男子では、15歳以下の年少少年の割合が23.1%であるのに対し、女子では34.8%である。

国籍別（「日本」と「日本以外」以下同じ）に見ると、日本では17歳と16歳が最も多いが、日本以外では19歳が27.3%で最も多く、次いで18歳が多い。日本では、18歳・19歳の年長少年の割合が34.8%であるのに対し、日本以外では51.0%と

全体の半数を占める。

イ 事件種別

事件種別の内訳は、表1-2のとおりである。一般事件の者が全体の87.4%を占める。

男女別に見ると、女子では一般事件の者の割合が96.4%と、男子の86.2%と比べてさらに高くなっている。

国籍別では、事件種別に大きな差は見られない。

ウ 非行名

非行名の内訳は、表1-3のとおりである。窃盗が全体の37.2%を占めて最も多く、次いで傷害(16.2%)、道路交通法違反(11.2%)となっている。

男女別に見ると、男子では窃盗、傷害、道路交通法違反の順に多い。一方、女子では窃盗(24.7%)に続いてぐ犯が21.1%と多く、傷害の16.7%を超えている。女子では、道路交通法違反は3.1%に止まっている。

国籍別では、非行名に大きな差は見られない。

エ 入所回数

少年鑑別所入所回数の内訳は、表1-4のとおりである。初回入所の者が72.1%を占める。

男女別に見ると、女子では初回入所の者が80.4%となっており、男子の71.0%と比べて多い。

国籍別では、入所回数に大きな差は見られない。

オ 非行時の身上

非行時の身上の内訳は、表1-5のとおりである。該当なしの者が70.7%で最も多い。1号観察と2号観察を合わせると、保護観察中の者は25.2%となっている。

男女別に見ると、女子では該当なしが78.5%と男子の69.7%と比べてやや多い。1号観察と2号観察を合わせると、保護観察中の者の割合は、男子では26.4%であるのに対して、女子では16.4%に止まっている。

国籍別では、非行時の身上に大きな差は見られない。

カ 保護処分歴

① 保護観察

保護観察歴の内訳は、表1-6のとおりである。保護観察歴のある者は30.9%であり、その回数は1回の者が大部分を占める。

男女別に見ると、女子では保護観察歴のある者が17.9%であり、男子の32.5%と比べて少ない。

国籍別では、保護観察歴に大きな差は見られない。

② 児童自立支援施設等

児童自立支援施設等送致歴の内訳は、表1-7のとおりである。児童自立支援

施設等送致歴のある者は全体の28.7%であり、その回数は1回の者が大部分を占める。

男女別に見ると、女子では児童自立支援施設等送致歴のある者は3.4%であり、男子の32.0%と比べてかなり少ない。

国籍別に見ると、日本以外では児童自立支援施設等送致歴のある者は1.4%であり、日本の29.4%と比べてかなり少ない。

③ 少年院送致

少年院送致歴の内訳は、表1-8のとおりである。少年院送致歴のある者は全体の9.1%であり、その回数は1回の者が大部分を占める。

男女別に見ると、女子では少年院送致歴のある者は4.5%であり、男子の9.7%と比較するとやや少ない。

国籍別では、少年院送致歴に大きな差は見られない。

キ 共犯関係

① 共犯数

共犯数の内訳は、表1-9のとおりである。単独犯は全体の36.0%であり、共犯のいる者が62.4%を占める。本人を含む共犯の数は、2人の者と4人以上の者が多い。

男女別に見ると、女子では単独犯が46.0%であり、男子の34.7%と比べて単独犯が多い。また、本人を含む共犯の数が4人以上である者の割合は、男子では23.9%であるのに対して女子では16.0%とやや少なくなっている。

国籍別では、共犯数に大きな差は見られない。

② 共犯種類

共犯種類の内訳は、表1-10のとおりである。遊び仲間が共犯である者が全体の40.1%と最も多く、次いで不良集団が共犯である者が多い。

男女別に見ると、全体の傾向に大きな差は見られないものの、不良集団が共犯である者の割合は、男子が11.3%であるのに対して女子は3.9%となっている。

国籍別では、共犯種類に大きな差は見られない。

ク 不良集団関係

非行時の不良集団関係の内訳は、表1-11のとおりである。不良集団関係なしの者が半数を超え、次いで地域不良集団に属する者が23.4%と多い。

男女別に見ると、女子では不良集団関係なしの者が61.9%と男子の54.9%と比べてやや多い。暴走族に属する者が女子では1.5%、男子は9.1%となっている。

国籍別に見ると、日本以外では不良集団関係なしの者が62.9%と日本の55.5%と比べてやや多い。

ケ 薬物使用関係

非行時の薬物使用関係の内訳は、表1-12のとおりである。薬物使用なしの者が

90.0%と大部分を占め、何らかの薬物使用のある者は7.9%に止まる。

男女別に見ると、女子では何らかの薬物使用のある者は19.1%であり、男子の6.5%と比べて多い。女子の使用薬物は覚せい剤が多く、次いで有機溶剤となっている。

国籍別に見ると、日本以外では何らかの薬物使用のある者が14.9%であり、日本の7.7%と比べて多い。日本以外の使用薬物では覚せい剤が多い。

コ 居住状況

居住状況の内訳は、表1-13のとおりである。83.5%が家族と同居している。

男女別に見ると、女子では家族と同居している者が72.3%と男子の84.9%と比べて少ない。女子の居住状況は同棲、アパート・下宿・間借り・寮、知人宅がそれぞれ5%程度である。

国籍別に見ると、日本以外では家族と同居している者が68.3%と日本の83.9%と比べて少ない。日本以外の居住状況はアパート・下宿・間借り・寮が10.0%と多く、次いで知人宅の5.6%である。

サ 保護者

保護者の内訳は、表1-14のとおりである。実父母が43.0%であり、次いで実母が32.9%である。

男女別に実父母の比率を見ると、男子では43.7%、女子では37.7%である。女子では、保護者が実母の者が37.2%であり、保護者が実父母の者と同程度の割合を占める。

国籍別に見ると、日本以外では実母が24.4%と日本の33.2%と比べて少ない。

シ 保護者の職業

保護者の職業の内訳は、表1-15のとおりである。無職者は9.7%である。有職者の職種では、技能工、採掘・製造・建設作業及び労務作業が26.8%と最も多く、次いでサービス職業が19.1%となっている。

男女別では、保護者の職業に大きな差は見られない。

国籍別に見ると、日本以外では技能工、採掘・製造・建設作業及び労務作業が46.3%と、日本の26.2%と比べて多い。

ス 本人の職業

本人の職業の内訳は、表1-16のとおりである。無職者（学生・生徒）が37.8%を占め、無職者（その他）は27.5%、有職者が33.9%である。有職者の職種では、技能工等（建設関係）が11.0%と最も多い。

男女別に見ると、女子では無職者（その他）が36.5%と男子の26.3%と比べて多い。女子の職種ではサービス職業（接客関係）が10.3%と多い。

国籍別に見ると、日本以外では無職者（その他）が38.8%で日本（27.2%）と比べて多く、無職者（学生・生徒）は21.7%で日本（38.2%）と比べて少ない。

セ 家庭の生活程度

家庭の生活程度の内訳は、表1-17のとおりである。普通が71.7%、貧困が22.4%となっている。

男女別、国籍別ともに、家庭の生活程度に大きな差は見られない。

ソ 教育程度

教育程度の内訳は、表1-18のとおりである。高校中退が28.9%と最も多く、次いで中学卒業（24.7%）、高校在学（19.8%）、中学在学（17.3%）となっている。

男女別に見ると、女子では中学在学が25.8%と男子の16.2%と比べて多い。

国籍別に見ると、日本以外では高校中退が20.7%、高校在学が9.0%と、それぞれ日本の29.1%、20.1%と比べて少ない。日本以外では、不就学、小学中退、小学卒業、中学中退を合わせると14.4%となっている。

タ 精神診断

精神診断の内訳は、表1-19のとおりである。精神診断なしが92.8%であり、精神障害のある者は4.7%である。精神障害の種類では、知的障害のある者が全体の1.3%である。

男女別、国籍別ともに、精神診断に大きな差は見られない。

チ 知能指数

知能指数の内訳は、表1-20のとおりである。知能指数90~99の者が27.9%と最も多く、次いで100~109（20.1%）、80~89（18.5%）、70~79（11.0%）となっている。

男女別に見ると、女子では知能指数90~99（26.1%）と80~89（24.9%）が最も多く、次いで70~79（16.2%）、100~109（13.8%）である。

国籍別に見ると、日本以外では90~99（19.8%）が最も多く、次いで80~89（15.9%）、70~79（14.9%）、100~109（13.2%）である。また、日本以外では知能指数不詳の者が19.5%と多い。

ツ 鑑別判定

鑑別判定の内訳は、表1-21のとおりである。在宅保護（保護観察）が41.1%と最も多く、次いで収容保護（中等・長期）が22.9%、収容保護（中等・一般短期）が12.1%となっている。

男女別では、鑑別判定に大きな差は見られない。

国籍別に見ると、日本以外では判定未了が12.2%と日本の6.6%と比べてやや多い。

テ 医療措置

医療措置の内訳は、表1-22のとおりである。医療措置不要の者が85.4%と大部分を占め、医療措置を要する者は12.5%である。

男女別に見ると、女子では医療措置を要する者が20.0%であり、男子の11.6%と

比べて多い。

国籍別では医療措置に大きな差は見られない。

ト 審判決定等

審判決定等の内訳は、表1-23のとおりである。保護観察が45.6%と最も多く、次いで少年院送致(中等)が21.6%、試験観察が12.1%、観護措置の取消しが10.5%となっている。

男女別に見ると、女子では試験観察が18.2%と、男子の11.3%と比べてやや多い。

国籍別では、日本以外では試験観察が5.4%と、日本の12.3%と比べてやや少ない。

(2) 平成19年少年鑑別所退所者の特質～年齢層ごとの比較

年齢による特質の違いを検討するため、15歳以下を「年少群」(3,716名)、16歳・17歳を「中間群」(6,139名)、18歳・19歳を「年長群」(5,360名)として、年齢層による集計を行った。

ア 性別

各群の性別の内訳は、表1-24のとおりである。

年少群では女子が16.1%であり、中間群(10.9%)、年長群(8.4%)と比べて多い。

イ 国籍

国籍の内訳は、表1-25のとおりである。

日本以外の者は2～4%であり、年齢層による大きな差は見られない。

ウ 事件種別

事件種別の内訳は、表1-26のとおりである。

交通事故の者は、年少群では3.7%であり、年長群(12.3%)、中間群(18.2%)と比べて最も少ない。

エ 非行名

非行名の内訳は、表1-27のとおりである。

年少群では、窃盗(39.0%)、傷害(21.8%)、ぐ犯(10.4%)が多い。

中間群では、窃盗(35.6%)、道路交通法違反(17.2%)、傷害(14.8%)が多い。

年長群では、窃盗(37.7%)、傷害(13.9%)、道路交通法違反(9.9%)が多い。

オ 入所回数

少年鑑別所入所回数の内訳は、表1-28のとおりである。

初回入所の者は、年少群(83.5%)、中間群(71.5%)、年長群(64.8%)の順に少なくなっている。

カ 非行時の身上

非行時の身上の内訳は、表1-29のとおりである。

該当なしの者は、年少群(81.2%)が多く、中間群(68.3%)、年長群(66.2%)

の順となっている。

年長群では、2号観察中の者が13.0%であり、年少群(1.3%)、中間群(6.3%)と比べてやや多い。

キ 保護処分歴

① 保護観察

保護観察歴の内訳は、表1-30のとおりである。

保護観察歴のない者は、年少群(85.5%)で最も多く、中間群(65.8%)、年長群(57.2%)の順に少なくなっている。

保護観察の回数は1回の者が多く、特に中間群(27.9%)、年長群(31.3%)では全体の約30%を占める。

② 児童自立支援施設等

児童自立支援施設等送致歴の内訳は、表1-31のとおりである。

児童自立支援施設等送致歴のない者は、年少群(86.3%)で最も多く、中間群(68.3%)、年長群(59.9%)の順に少なくなっている。

送致回数は1回の者が多く、特に中間群(25.6%)、年長群(29.2%)では全体の25%を超える。

③ 少年院送致

少年院送致歴の内訳は、表1-32のとおりである。

少年院送致歴のない者は年少群(96.9%)、中間群(91.9%)では90%を超えるが、年長群では82.3%と少なくなっている。

少年院送致回数が1回の者は、年長群では12.6%であり、年少群(1.5%)、中間群(7.2%)と比べて多くなっている。

ク 共犯関係

① 共犯数

共犯数の内訳は、表1-33のとおりである。

単独犯の者が、中間群では29.6%と、年少群(37.0%)、年長群(42.5%)と比べて少ない。

中間群では、共犯数が本人を含めて4人以上の者が28.5%と、年少群(20.7%)、年長群(18.3%)と比べて多くなっている。

② 共犯種類

共犯種類の内訳は、表1-34のとおりである。

学校仲間が共犯である者は年少群で19.5%であり、中間群(4.6%)、年長群(2.4%)と比べて多い。

一方、不良集団が共犯である者は多い順から中間群(14.8%)、年長群(9.9%)、年少群(4.0%)となっている。中間群では、遊び仲間が共犯である者が45.6%と、年少群(35.5%)、年長群(36.8%)と比べて多い。

ケ 不良集団関係

非行時の不良集団関係の内訳は、表1-35のとおりである。

不良集団関係なしの者が、年長群では63.9%と、年少群（52.0%）、中間群（50.8%）と比べて多い。

不良集団の種類では、年少群では、不良生徒・学生集団、地域不良集団が多く、中間群と年長群では、地域不良集団、暴走族の順に多い。

コ 薬物使用関係

非行時の薬物使用関係の内訳は、表1-36のとおりである。

何らかの薬物使用のある者が年長群では12.3%と、中間群（7.1%）、年少群（3.0%）と比べて多い。

サ 居住状況

居住状況の内訳は、表1-37のとおりである。

家族と同居の者は、年少群（90.0%）が最も多く、中間群（86.0%）、年長群（76.0%）と少なくなっている。

シ 保護者

保護者の内訳は、表1-38のとおりである。

保護者が実父母の者は、年少群で38.5%と、中間群（42.7%）、年長群（46.5%）と比べて少ない。

一方、保護者が実母の者は、年少群では38.4%と、保護者が実父母の者とほぼ同じ割合であり、中間群（32.9%）、年長群（29.1%）と比べて多くなっている。

ス 保護者の職業

保護者の職業の内訳は、表1-39のとおりである。

保護者の職業については、年齢層による大きな差は見られない。

セ 本人の職業

本人の職業の内訳は、表1-40のとおりである。

年少群では、無職者（学生・生徒）が83.7%と大部分を占める。

中間群では、無職者（その他）が31.9%、無職者（学生・生徒）が30.6%、有職者が36.7%である。有職者の職種は技能工等（建設関係）が多い。

年長群では、有職者が50.1%を占めるが、無職者（その他）も34.6%に上る。有職者の職種では技能工等（建設関係）が多い。

ソ 家庭の生活程度

家庭の生活程度の内訳は、表1-41のとおりである。

家庭の生活程度については、年齢層による大きな差は見られない。

タ 教育程度

教育程度の内訳は、表1-42のとおりである。

年少群では、中学在学（70.5%）が最も多く、次いで高校在学（12.6%）が多い。

中間群では、高校中退（35.2%）、高校在学（31.4%）、中学卒業（30.8%）がほぼ同じ割合となっている。

年長群では、高校中退（39.1%）が最も多く、次いで中学卒業（27.2%）、高校卒業（14.4%）、高校在学（11.4%）となっている。

チ 精神診断

精神診断の内訳は、表1-43のとおりである。

精神診断については90%以上が「なし」であり、年齢層による大きな差は見られない。

ツ 知能指数

知能指数の内訳は、表1-44のとおりである。

年少群では、90～99（24.4%）、80～89（22.9%）が最も多く、次いで70～79（17.4%）、100～109（14.2%）が多い。

中間群では、90～99（29.9%）、が最も多く、次いで100～109（20.2%）、80～89（18.5%）、70～79（10.0%）が多い。

年長群では、90～99（27.9%）、100～109（24.1%）が最も多く、次いで80～89（15.6%）が多い。

テ 鑑別判定

鑑別判定の内訳は、表1-45のとおりである。

最も多い判定は在宅保護（保護観察）で、年少群（42.2%）、中間群（42.0%）、年長群（39.2%）ともに40%程度を占める。

年少群では、次いで多いのが収容保護（初等・長期）（20.6%）であり、収容保護（児童自立支援施設等送致）（10.9%）、収容保護（初等・一般短期）（9.0%）と続いている。

中間群では、収容保護（中等・長期）が28.9%を占め、次いで収容保護（中等・一般短期）が17.3%となっている。

年長群では、収容保護（中等・長期）が29.6%を占め、次いで収容保護（中等・一般短期）が13.1%となっている。保護不適（検察官送致）は、3.7%に止まる。

ト 医療措置

医療措置の内訳は、表1-46のとおりである。

医療措置については、年齢層による大きな差は見られない。

ナ 審判決定等

審判決定等の内訳は、表1-47のとおりである。

最も多い決定は保護観察であり、年少群（42.7%）、中間群（47.5%）、年長群（45.6%）ともに40%を超えている。

年少群では、次いで多いのが少年院送致（初等）（17.1%）と試験観察（16.2%）であり、観護措置の取消し（10.5%）が続く。児童自立支援施設等送致は7.9%で

ある。

中間群では、少年院送致（中等）が28.1%を占め、次いで試験観察（12.1%）、観護措置の取消し（10.3%）と続く。

年長群では、少年院送致（中等）が27.0%を占め、次いで観護措置の取消し（10.7%）が多く、試験観察は9.2%である。検察官送致は3.8%である。

2 全数調査の結果

全国の少年鑑別所に少年鑑別所送致の決定により入所した者で、かつ、平成20年6～8月に施設間の移送以外の事由により退所した者のうち、鑑別を終了した者(3,544名)を調査対象とした。

回収した調査票のうち、回答に不備のあったもの（15名分）を除いた、3,529名分のデータを集計した。集計に当たっては、一部の項目に未記入や無効回答が認められるものも分析の対象とし、未記入・無効回答の箇所のみを集計から除外しているため、項目によって有効回答数が異なっている。

全体の集計に加えて、年齢による特質の違いを検討するため、15歳以下を「年少群」、16歳・17歳を「中間群」、18歳・19歳を「年長群」として、年齢層による集計を行った。

(1) 基本属性

ア 性別

性別の内訳は、表2-1のとおりである。

男子が3,151名と全体の89.3%を占め、女子は378名（10.7%）である。

年少群では女子が13.4%であり、中間群（10.8%）、年長群（8.7%）と比べてやや多い。

イ 年齢

年齢の内訳は、表2-2のとおりである。

17歳（21.7%）、16歳（20.4%）が最も多く、次いで19歳（17.4%）、18歳（16.9%）となっている。

年齢層ごとの人数は、年少群が834名（23.6%）、中間群が1,486名（42.1%）、年長群が1,209名（34.3%）である。

ウ 国籍

国籍の内訳は、表2-3のとおりである。

年齢層による大きな差は見られない。

(2) 非行の態様

ア 非行名

① 主非行名

主非行名の内訳は、表2-4のとおりである。

窃盗が34.0%と最も多く、次いで傷害（17.3%）、道路交通法違反（11.9%）、恐喝（6.6%）、ぐ犯（4.1%）となっている。

年少群では、窃盗（34.6%）、傷害（23.8%）、ぐ犯（9.7%）、恐喝（5.5%）、暴行（3.8%）の順に多い。

中間群では、窃盗（33.6%）、道路交通法違反（18.2%）、傷害（16.3%）、恐喝（7.1%）、ぐ犯（3.6%）の順に多い。

年長群では、窃盗（34.0%）、傷害（13.9%）、道路交通法違反（10.4%）、恐喝（6.8%）、覚せい剤取締法違反（4.0%）の順に多い。

② 主非行以外の非行名

主非行以外の非行名がある者は741名（21.0%）で、そのうち124名（3.5%）には主非行を含め3種以上の非行名があった。

第二の非行名の内訳は表2-5のとおりである。

住居侵入（25.1%）が最も多く、次いで道路交通法違反（13.6%）、恐喝（11.1%）となっている。

年少群では、恐喝（17.5%）、住居侵入（13.6%）、傷害（13.0%）、建造物損壊・器物損壊（11.7%）となっている。

中間群では、住居侵入（24.6%）、道路交通法違反（15.4%）、恐喝（12.1%）が多い。

年長群では、住居侵入（31.9%）、道路交通法違反（14.2%）が多い。

第三の非行名の内訳は表2-6のとおりである。

住居侵入（12.9%）、建造物損壊・器物損壊（12.9%）が多く、次いで道路交通法違反（11.3%）、窃盗（10.5%）となっている。

年少群では、窃盗（19.2%）、住居侵入（11.5%）、建造物損壊・器物損壊（11.5%）が多い。

中間群では、道路交通法違反（17.0%）、住居侵入（14.9%）、建造物損壊・器物損壊（12.8%）が多い。

年長群では、建造物損壊・器物損壊（13.7%）、住居侵入（11.8%）が多い。

イ 非行時の身上

非行時の身上の内訳は表2-7のとおりである。

該当なしが全体の73.2%を占め、次いで1号観察（17.9%）、2号観察（6.8%）となっている。

年少群では、該当なしの者が83.9%と、中間群（70.1%）、年長群（69.7%）と比べて多い。

年長群では、2号観察中の者が12.7%であり、年少群（0.5%）、中間群（5.5%）と比べてやや多い。

ウ 非行の動機

非行の動機の内訳は表2-8のとおりである。なお、複数の非行名がある場合、主非行について回答している。

「お金や物が欲しくて」が27.9%と最も多く、次いで「かっとなって」(17.9%)、「誘われて」(10.9%)、「乗りたくて」(10.8%)が多い。

年少群では、「かっとなって」(26.1%)が最も多く、次いで「お金や物が欲しくて」(22.3%)、「遊び」(10.7%)、「乗りたくて」(10.6%)と続いている。

中間群、年長群は、全体の傾向と同様である。

エ 被害の状況

複数の非行名がある場合、主非行による被害の状況について回答している。

① 身体的被害

身体的被害の内訳は表2-9のとおりである。

身体的被害のある者は887名(25.1%)である。被害の程度は1月未満の者が多い。

年少群では、身体的被害のある者が260名と年少群全体の31.2%を占めており、中間群(337名, 22.7%)、年長群(290名, 24.0%)よりも割合が高い。被害の程度の内訳を見ると、1月未満の者(84.2%)が中間群(74.8%)、年長群(73.1%)と比べてやや多い。

② 経済的被害

経済的被害の内訳は表2-10のとおりである。

経済的被害のある者は1745名(49.4%)である。被害金額の内訳を見ると、1万円以上10万円未満(44.1%)が多く、次いで10万円以上(27.6%)、千円以上1万円未満(24.5%)である。

年少群では、被害金額1万円以上10万円未満の者に次いで千円以上1万円未満の者が多く、10万円以上の者は少ない。

中間群、年長群は全体の傾向と同様である。

③ 被害者との関係

被害者との関係の内訳は表2-11のとおりである。

被害者のいる者は2,557名(72.5%)である。被害者との関係の内訳を見ると、その他(面識なし)が63.7%を占める。

年少群では、被害者と面識のない者が54.8%で中間群(66.6%)、年長群(67.0%)と比べて少なく、その他(面識あり)の者が32.4%と、中間群(19.7%)、年長群(19.6%)と比べて多い。

④ 被害者の年齢

被害者の年齢の内訳は表2-12のとおりである。

被害者が成人である者が59.2%を占め、少年の被害者は38.1%である。

年長群では、少年が被害者である者が31.3%と、年少群(41.0%)、中間群

(42.2%) と比べて少ない。

オ 共犯関係

複数の非行名がある場合、主非行の共犯関係について回答している。

① 共犯数

共犯数の内訳は表 2-13のとおりである。

単独犯が37.7%であり、共犯の数は4人以上(24.0%)、2人(16.2%)、3人(16.2%)の順に多い。

中間群では、単独犯が30.0%と年少群(40.4%)、年長群(44.7%)と比べて少なく、共犯数は4人以上が27.7%と年少群(22.4%)、年長群(20.6%)と比べてやや多くなっている。

② 共犯種類

共犯がいる者についての、共犯種類の内訳は表 2-14のとおりである。

遊び仲間が65.6%を占め、次いで不良集団(15.8%)、学校仲間(10.3%)が多い。

年少群では、学校仲間が24.4%と遊び仲間に次いで多い。

③ 共犯役割

共犯がいる者についての、共犯の中での本人の役割の内訳は表 2-15のとおりである。

同格が43.3%で最も多く、次いで従属(33.5%)、主導(22.3%)となっている。

年少群では、同格が50.3%と、中間群(42.1%)、年長群(39.8%)と比べて多くなっている。

④ 成人共犯

共犯がいる者についての、成人共犯の有無の内訳は表 2-16のとおりである。

成人共犯がいる者は全体の16.7%である。

年長群では、成人の共犯がいる者が35.5%を占め、年少群(4.6%)、中間群(10.3%)と比べてかなり多い。

(3) 本件非行別非行の態様

非行名で最も多かった窃盗、傷害、道路交通法違反について、非行名別に非行の態様を見ることとする。

ア 窃盗

本件が窃盗の者は、年少群288名、中間群499名、年長群410名の計1,197名である。

① 非行の動機

本件が窃盗の者の非行の動機の内訳は表 2-17のとおりである。

「お金や物が欲しくて」が56.2%を占めて最も多く、次いで「乗りたくて」

(13.0%)、「誘われて」(12.9%)となっている。

年少群では、「お金や物が欲しくて」が42.7%と他の年齢層と比べて少なく、「乗りたくて」が23.3%と中間群(14.1%)、年長群(4.4%)と比べて多くなっている。

年長群では、「お金や物が欲しくて」が70.1%を占めている。

② 経済的被害

本件が窃盗の者の経済的被害の内訳は表2-18のとおりである。

被害金額1万円以上10万円未満(45.5%)が最も多く、次いで10万円以上(26.6%)、千円以上1万円未満(22.9%)である。

年少群では、10万円以上が20.3%と、中間群(29.5%)、年長群(27.5%)と比べてやや少ない。

中間群、年長群は、全体の傾向と同様である。

③ 被害者との関係

本件が窃盗の者の被害者との関係の内訳は表2-19のとおりである。

その他(面識なし)が83.4%を占める。

年長群では、その他(面識なし)が77.3%と、年少群(87.2%)、中間群(86.4%)と比べてやや少なく、その他(面識あり)が17.4%と、年少群(8.8%)、中間群(9.4%)と比べてやや多くなっている。

④ 被害者の年齢

本件が窃盗の者の被害者の年齢の内訳は表2-20のとおりである。

被害者が成人である者が85.5%を占め、少年は12.0%と少ない。

年齢層による大きな差は見られない。

⑤ 共犯数

本件が窃盗の者の共犯数の内訳は表2-21のとおりである。

単独犯は26.8%と少ない。共犯数は、2人(25.9%)、3人(23.7%)、4人以上(21.1%)の順に多い。

年長群では、単独犯が37.6%と、年少群(19.8%)、中間群(22.1%)と比べて多い。

⑥ 共犯種類

本件が窃盗の者のうち共犯がいる者についての、共犯種類の内訳は表2-22のとおりである。

遊び仲間が74.9%を占め、次いで学校仲間(10.9%)、不良集団(5.6%)が多い。

年少群では、学校仲間が23.8%と、中間群(7.5%)、年長群(4.3%)と比べて多く、遊び仲間は66.2%と、中間群(79.8%)、年長群(75.2%)と比べて少なくなっている。

⑦ 共犯役割

本件が窃盗の者のうち共犯がいる者についての、共犯の中での本人の役割の内訳は表2-23のとおりである。

同格が43.3%で最も多く、次いで従属（33.2%）、主導（23.2%）となっている。

年少群では、同格が51.5%と、中間群（42.2%）、年長群（37.4%）と比べて多い。

年長群では、主導が27.6%と、年少群（19.9%）、中間群（22.3%）と比べてやや多い。

⑧ 成人共犯

本件が窃盗の者のうち共犯がいる者についての、成人共犯の有無の内訳は表2-24のとおりである。

成人共犯がいる者は全体の16.6%である。

年長群では、成人の共犯がいる者が34.4%を占め、年少群（6.1%）、中間群（11.4%）と比べてかなり多い。

イ 傷害

本件が傷害の者は、年少群198名、中間群242名、年長群168名の計608名である。

① 非行の動機

本件が傷害の者の非行の動機の内訳は表2-25のとおりである。

「かっとなって」が69.9%を占める。

年齢層による大きな差は見られない。

② 身体的被害

本件が傷害の者の身体的被害の内訳は表2-26のとおりである。

被害の程度が1月未満の者が77.3%を占めるが、1月以上の者も22.5%いる。

被害者が死亡した者は1名（0.2%）である。

年少群では、被害の程度が1月未満の者が83.9%と、中間群（74.1%）、年長群（74.2%）と比べて多い。

③ 被害者との関係

本件が傷害の者の被害者との関係の内訳は表2-27のとおりである。

被害者と面識のない者は30.7%である。被害者との関係はその他（面識あり）が41.5%を占め、遊び仲間も16.7%である。

被害者と面識のない者は年長群（44.8%）で最も多く、中間群では35.6%、年少群では12.8%に止まる。

年少群では、その他（面識あり）が61.5%と、中間群（33.0%）、年長群（29.7%）と比べてかなり多い。

④ 被害者の年齢

本件が傷害の者の被害者の年齢の内訳は表2-28のとおりである。

被害者が少年である者が72.6%，成人は25.5%である。

中間群では，被害者が少年である者が85.8%を占め，成人は12.1%に止まる。

一方，年少群，年長群では，被害者が成人である者が30%を超える。

⑤ 共犯数

本件が傷害の者の共犯数の内訳は表2-29のとおりである。

単独犯は36.7%であり，共犯数は4人以上(29.9%)，3人(16.4%)，2人(12.5%)の順に多い。

年少群では単独犯が46.5%と，中間群(29.8%)，年長群(35.1%)と比べて多く，4人以上(21.2%)が中間群(36.0%)，年長群(31.5%)と比べて少ない。

⑥ 共犯種類

本件が傷害の者のうち共犯がいる者についての，共犯種類の内訳は表2-30のとおりである。

遊び仲間が61.7%を占め，次いで不良集団(17.4%)，学校仲間(14.3%)が多い。

年少群では，学校仲間が30.5%と，中間群(11.2%)，年長群(3.7%)と比べて多く，遊び仲間は48.6%と，中間群(66.5%)，年長群(67.0%)と比べて少なくなっている。

⑦ 共犯役割

本件が傷害の者のうち共犯がいる者についての，共犯の中での本人の役割の内訳は表2-31のとおりである。

同格が48.4%で最も多く，次いで主導(27.3%)，従属(23.7%)となっている。

年齢層による大きな差は見られない。

⑧ 成人共犯

本件が傷害の者のうち共犯がいる者についての，成人共犯の有無の内訳は表2-32のとおりである。

成人共犯がいる者は全体の9.9%に止まる。

年長群では，成人の共犯がいる者が25.7%を占め，年少群(1.0%)，中間群(5.3%)と比べてかなり多い。

ウ 道路交通法違反

本件が道路交通法違反の者は，年少群24名，中間群270名，年長群126名の計420名である。

① 非行の動機

本件が道路交通法違反の者の非行の動機の内訳は表2-33のとおりである。

「乗りたくて」が45.3%を占めて最も多く、次いで「遊び」(17.2%)、「誘われて」(16.5%)となっている。

「遊び」が動機の者の割合は、年少群(25.0%)、中間群(18.9%)、年長群(12.0%)の順に少なくなっている。

② 共犯数

本件が道路交通法違反の者の共犯数の内訳は表2-34のとおりである。

単独犯は24.5%と少なく、共犯数は4人以上(43.6%)、不特定多数(29.3%)の順に多い。

年少群では単独犯が41.7%と、中間群(21.1%)、年長群(28.6%)と比べて多い。

中間群では、4人以上が48.9%と、年少群(25.0%)、年長群(35.7%)と比べて多い。

③ 共犯種類

本件が道路交通法違反の者のうち共犯がいる者についての、共犯種類の内訳は表2-35のとおりである。

不良集団が55.7%を占め、次いで遊び仲間(40.5%)が多い。

年少群では、遊び仲間が28.6%と少なく、不良集団が71.4%と多くなっている。

④ 共犯役割

本件が道路交通法違反の者のうち共犯がいる者についての、共犯の中での本人の役割の内訳は表2-36のとおりである。

従属が45.2%で最も多く、次いで同格(37.5%)、主導(16.0%)の順である。

年少群では、同格が50.0%と、中間群(36.6%)、年長群(37.6%)と比べて多い。

年長群では、主導が24.7%と、年少群(7.1%)、中間群(13.1%)と比べて多い。

⑤ 成人共犯

本件が道路交通法違反の者のうち共犯がいる者についての、成人共犯の有無の内訳は表2-37のとおりである。

成人共犯がいる者は全体の12.4%である。

年長群では、成人の共犯がいる者が26.7%を占め、年少群(14.3%)、中間群(6.2%)と比べて多い。

(4) 処分歴

ア 保護処分歴

① 少年鑑別所入所回数

少年鑑別所入所回数の内訳は表2-38のとおりである。

初回入所の者が72.5%を占める。

初回入所の者の割合は、年少群 (85.7%)、中間群 (70.3%)、年長群 (66.1%) の順に少なくなっている。

② 審判不開始歴

審判不開始歴の内訳は表 2-39のとおりである。

審判不開始歴のない者が87.1%を占める。

年少群では、審判不開始歴のない者が93.6%を占め、中間群 (86.2%)、年長群 (83.8%) よりも多い。

③ 不処分歴

不処分歴の内訳は表 2-40のとおりである。

不処分歴のない者が82.5%を占める。

年少群では、不処分歴のない者が92.9%を占め、中間群 (80.2%)、年長群 (78.3%) よりも多い。

④ 試験観察 (在宅) 歴

試験観察 (在宅) 歴の内訳は表 2-41のとおりである。

試験観察 (在宅) 歴のない者が94.4%を占め、年齢層による大きな差は見られない。

⑤ 試験観察 (補導委託) 歴

試験観察 (補導委託) 歴の内訳は表 2-42のとおりである。

試験観察 (補導委託) 歴のない者が99.1%を占め、年少群では試験観察 (補導委託) 歴のある者はいない。

⑥ 保護観察歴

保護観察歴の内訳は表 2-43のとおりである。

保護観察歴のある者は全体の30.9%である。

年長群では、保護観察歴のある者が40.2%に上り、中間群 (33.9%)、年少群 (12.2%) よりも多い。

保護観察の回数は1回の者が多く、年長群 (31.2%)、中間群 (29.7%) では全体の約30%を占める。

⑦ 児童自立支援施設送致歴

児童自立支援施設送致歴の内訳は表 2-44のとおりである。

児童自立支援施設送致歴のない者が96.8%を占め、年齢層による大きな差は見られない。

⑧ 少年院送致歴

少年院送致歴の内訳は表 2-45のとおりである。

少年院送致歴のある者は全体の8.3%に止まり、その回数は1回の者が大部分を占める。

年長群では、少年院送致歴のある者は15.2%と、年少群 (0.8%)、中間群

(6.8%) と比べて多く、送致回数は1回の者が11.8%に上る。

⑨ 知事・児童相談所長等送致歴

知事・児童相談所長等送致歴の内訳は表2-46のとおりである。

知事・児童相談所長等送致歴のない者が98.8%を占め、年齢層による大きな差は見られない。

イ 刑事処分歴

① 罰金刑

罰金刑の内訳は表2-47のとおりである。

罰金刑の処分を受けたことのない者が98.3%を占める。

② 猶予刑

猶予刑の内訳は表2-48のとおりである。

猶予刑の処分を受けたことのない者が99.9%を占め、猶予刑の処分を受けたことのある者は中間群、年長群で各1名に止まる。

③ 服役刑

服役刑の内訳は表2-49のとおりである。

服役刑の処分を受けたことのある者はいない。

④ その他の刑事処分

その他の刑事処分の内訳は表2-50のとおりである。

その他の刑事処分を受けたことのある者は、年長群で1名のみである。

ウ 再非行期間

再非行期間の内訳は表2-51のとおりである。

前回処分なしの者が53.4%と半数を占め、次いで1年以内(10.7%)、6月以内(7.7%)、2年を超える(6.7%)、1年6月以内(6.4%)の順に多い。

年少群では、前回処分なしが75.5%と最も多く、再非行期間は3月以内、6月以内がそれぞれ約6%となっている。

中間群では、前回処分なしが48.5%であり、再非行期間は1年以内(12.2%)、6月以内(9.3%)が多い。

年長群では、前回処分なしが44.2%であり、再非行期間は2年を超える(13.1%)、1年以内(12.7%)が多い。

エ 非行初発年齢

非行初発年齢の内訳は表2-52のとおりである。

14歳が26.8%と最も多く、次いで15歳(19.0%)、13歳(14.3%)、16歳(13.0%)となっている。最も早い者では初発非行年齢が5歳である。

年少群では、14歳が38.9%と最も多く、次いで13歳(24.4%)、15歳(18.9%)、12歳(10.2%)となっている。

中間群では、14歳が25.7%と最も多く、次いで15歳(21.5%)、16歳(20.2%)、13

歳（12.7%）となっている。

年長群では、14歳が19.7%と最も多く、次いで15歳（15.9%）、18歳（15.4%）、16歳（13.1%）となっている。

オ 非行の範囲

財産犯、凶悪犯、粗暴犯、性犯罪、薬物犯、交通犯罪、その他の犯罪について、これまで警察補導以上の取扱いを受けたことがある者の数をまとめたものが表2-53である。

① 財産犯

財産犯により警察補導以上の取扱いを受けたことがある者は75.0%に上る。

年少群・年長群で74.3%、中間群で75.8%と、年齢層による大きな差は見られない。

② 凶悪犯

凶悪犯により警察補導以上の取扱いを受けたことがある者は5.4%である。

年長群では8.1%と、年少群（4.1%）、中間群（4.0%）と比べてやや多い。

③ 粗暴犯

粗暴犯により警察補導以上の取扱いを受けたことがある者は45.6%と半数近い。

年少群では53.0%と、中間群（45.3%）、年長群（40.9%）と比べて多い。

④ 性犯罪

性犯罪により警察補導以上の取扱いを受けたことがある者は4.5%である。

中間群で3.1%、年少群で4.7%、年長群で6.0%と、年齢層による大きな差は見られない。

⑤ 薬物犯

薬物犯により警察補導以上の取扱いを受けたことがある者は9.7%である。

年長群では14.7%と、年少群（4.3%）、中間群（8.5%）と比べてやや多い。

⑥ 交通犯罪

交通犯罪により警察補導以上の取扱いを受けたことがある者は49.2%である。

中間群では56.1%、年長群では50.0%と半数を占めるが、年少群では35.9%に止まる。

⑦ その他の犯罪

その他の犯罪により警察補導以上の取扱いを受けたことがある者は8.9%である。

年少群（9.9%）、中間群（7.6%）、年長群（9.8%）で、大きな差は見られない。

(5) 問題行動歴

ア 不良集団関係

不良集団所属状況をまとめたものが表2-54である。

① 不良生徒・学生集団

不良生徒・学生集団所属歴のある者は34.2%を占め、13.5%は半年以内に所属している。

年少群では、不良生徒・学生集団所属歴のある者が48.7%、半年以内に所属しているのは37.7%と、他の年齢層と比べて多い。

② 地域不良集団

地域不良集団所属歴のある者は34.3%で、28.5%は半年以内に所属している。

中間群では、所属歴のある者は38.4%、33.1%は半年以内に所属しており、他の年齢層と比べてやや多い。

③ 暴走族

暴走族所属歴のある者は13.9%で、7.8%は半年以内に所属している。

年少群では、所属歴のある者が5.3%、半年以内に所属している者が3.6%と、他の年齢層と比べて少ない。

中間群では、所属歴のある者が18.2%、半年以内に所属している者が12.0%であり、いずれも他の年齢層と比べて多い。

年長群では、所属歴のある者は14.4%であるが、半年以内に所属している者は5.6%に止まる。

④ 暴力団

暴力団所属歴のある者は1.9%、半年以内に所属している者は1.2%といずれも少ない。

年長群では、所属歴のある者が3.9%、半年以内に所属している者が2.5%と、他の年齢層と比べると多くなっている。

⑤ その他の不良集団

その他の不良集団に所属歴のある者は1.6%、半年以内に所属している者は1.1%である。

年長群では、所属歴のある者が2.2%、半年以内に所属している者が1.3%と、他の年齢層と比べると多くなっている。

⑥ 不良集団所属

何らかの不良集団に半年以内に所属している者は、全体の42.3%を占める。

年少群では、その割合は54.3%と、半数を超える。一方、年長群では、29.5%となっている。

⑦ 不良集団内の立場

不良集団に半年以内に所属している者の不良集団内の立場の内訳は表2-55のとおりである。

不良集団内の立場は、周辺的である者が60.9%と最も多く、中心的である者は33.6%に止まる。

不良集団内の立場には、年齢層による大きな差は見られない。

イ 薬物使用歴

薬物使用状況をまとめたものが表 2-56である。

① 麻薬

麻薬使用歴があるのは全体の1.3%で、0.6%は半年以内に使用している。

使用歴のある者、半年以内に使用している者ともに年齢層が上がるほど多いが、その割合は低く、年長群でも、使用歴のある者が2.6%、半年以内に使用している者が1.4%である。

② あへん

あへん使用歴があるのは全体の0.1%と少ない。

③ 大麻

大麻使用歴があるのは全体の4.8%で、2.2%は半年以内に使用している。

使用歴のある者、半年以内に使用している者ともに年齢層が上がるほど多く、年長群では、使用歴のある者が8.8%、半年以内に使用している者が3.8%である。

④ 覚せい剤

覚せい剤使用歴があるのは全体の3.6%で、2.7%は半年以内に使用している。

使用歴のある者、半年以内に使用している者ともに年齢層が上がるほど多く、年長群では、使用歴のある者が6.9%、半年以内に使用している者が4.9%である。

⑤ 有機溶剤

有機溶剤使用歴があるのは8.2%で、3.4%は半年以内に使用している。

使用歴のある者は年齢層が上がるほど多く、年長群では10.8%に使用歴がある。半年以内に使用している者は、年少群で2.9%、中間群で3.6%、年長群で3.4%と、年齢層によって大きな差は見られない。

⑥ その他の薬物

その他の薬物の使用歴があるのは3.8%で、1.3%は半年以内に使用している。

使用歴のある者、半年以内に使用している者ともに年齢層が上がるほど多いが、その割合は低く、年長群でも、使用歴のある者が4.5%、半年以内に使用している者が1.6%である。

⑦ 薬物使用歴

何らかの薬物を使用したことのある者は13.6%、半年以内に使用しているのは7.5%である。

使用歴のある者、半年以内に使用している者ともに年齢層が上がるほど多く、年長群では19.3%に何らかの薬物使用歴があり、10.8%は半年以内に使用している。

ウ 問題行動歴

17項目の問題行動について経験の有無をまとめたものが表 2-57である。

① 無免許運転歴

無免許運転歴のある者は59.9%を占め、35.9%は半年以内に行っている。

中間群では、無免許運転歴のある者が65.9%と他の年齢層と比べて多い。

年長群では、無免許運転歴のある者は55.5%であるが、半年以内に行っている者は23.7%と、他の年齢層と比べて少なくなっている。

② 暴走行為歴

暴走行為歴のある者は25.2%であり、15.5%は半年以内に行っている。

中間群では、暴走行為歴のある者が32.1%、半年以内に行っている者が23.5%と、ともに他の年齢層よりも多い。

年少群では、暴走行為歴のある者が12.1%と、他の年齢層よりも少ない。

③ 万引き歴

万引き歴のある者は61.7%を占め、22.5%は半年以内に行っている。

年齢層が下がるほどその割合は高く、年長群では56.8%に万引き歴があり、13.7%が半年以内に行っているのに対して、年少群では66.1%に万引き歴があり、38.8%は半年以内に行っている。

④ 恐喝歴

恐喝歴のある者は16.5%であり、9.9%は半年以内に行っている。

恐喝歴のある者、半年以内に行っている者ともに年齢層によって大きな差は見られない。

⑤ 喫煙歴

喫煙歴のある者は80.8%に上り、77.5%は半年以内に行っている。

喫煙歴のある者、半年以内に喫煙している者ともに年齢層によって大きな差は見られない。

⑥ 飲酒歴

飲酒歴のある者は65.6%を占め、62.3%は半年以内に行っている。

年少群では、飲酒歴のある者が50.7%、半年以内に行っている者が47.3%と、他の年齢層と比べて少ない。

⑦ 深夜徘徊歴

深夜徘徊歴のある者は81.2%に上り、73.9%は半年以内に行っている。

深夜徘徊歴のある者、半年以内に行っている者ともに年齢層によって大きな差は見られない。

⑧ 自傷歴

自傷歴のある者は10.6%であり、4.5%は半年以内に行っている。

自傷歴のある者、半年以内に行っている者ともに年齢層によって大きな差は見られない。

⑨ 自殺企図歴

自殺企図歴のある者は4.2%であり、1.5%は半年以内に行っている。

自殺企図歴のある者、半年以内に行っている者ともに年齢層が上がるほど多いが、その割合は低く、年長群でも、自殺企図歴のある者が5.5%、半年以内に行っている者が2.2%である。

⑩ 校内暴力歴

校内暴力歴のある者が17.9%であり、5.7%は半年以内に行っている。

年少群では、校内暴力歴のある者が28.1%、半年以内に行っている者が19.4%と、他の年齢層と比べて多い。

⑪ いじめ加害歴

いじめ加害歴のある者は15.0%、半年以内に行っている者は2.9%である。

年少群では、いじめ加害歴のある者は17.5%と他の年齢層と大きな差はないが、半年以内に行っている者は7.9%と、他の年齢層と比べてやや多くなっている。

⑫ いじめ被害歴

いじめ被害歴のある者は23.0%であり、2.7%は半年以内に被害を受けている。

いじめ被害歴のある者は年少群で25.1%、中間群で22.2%、年長群で22.5%と、年齢層によって大きな差は見られない。

半年以内にいじめ被害を受けている者は年少群でやや多く、5.0%となっている。

⑬ 不登校歴

不登校歴のある者は43.3%であり、11.1%は半年以内に不登校の経験がある。

不登校歴のある者、半年以内に不登校の経験がある者ともに年齢層が下がるほど多く、年少群では不登校歴のある者が55.9%を占め、半年以内に不登校の経験がある者が35.8%となっている。

⑭ 家庭内暴力歴

家庭内暴力歴のある者は8.6%であり、4.3%は半年以内に行っている。

家庭内暴力歴のある者の割合は年齢層によって大きな差は見られないが、半年以内に行っている者は年少群で6.2%と、中間群(3.8%)、年長群(3.4%)と比べてやや多い。

⑮ 家財持ち出し歴

家財持ち出し歴のある者は15.7%であり、3.3%は半年以内に行っている。

家財持ち出し歴のある者の割合は年齢層によって大きな差は見られないが、半年以内に行っている者は年少群で4.7%と、中間群(3.1%)、年長群(2.7%)と比べてやや多い。

⑯ 家出歴

家出歴のある者は34.6%であり、16.5%は半年以内に行っている。

家出歴のある者、半年以内に行った者ともに年齢層が下がるほど多く、年少群

では家出歴のある者が39.4%、半年以内に行った者が24.1%となっている。

⑰ 文身

文身のある者は26.5%であり、21.1%はいたずら程度のもの、5.4%は本格的なものである。

文身のある者は、年少群が19.2%と少なく、中間群(28.0%)、年長群(29.7%)が多い。

本格的な文身のある者は、年長群が11.1%と、年少群(0.5%)、中間群(3.4%)と比べて多くなっている。

(6) 家族関係

ア 居住状況

居住状況の内訳は、表2-58のとおりである。

居住状況は家族と同居の者が83.6%を占める。

年長群では、家族と同居の者が72.5%と、年少群(91.6%)、中間群(88.3%)と比べて少なく、アパート・下宿・間借り・寮(8.9%)と、同棲(5.1%)が他の年齢層と比べてやや多くなっている。

イ 保護者

保護者の内訳は、表2-59のとおりである。

保護者が実父母の者が42.0%と最も多く、次いで実母(34.1%)、実父(9.7%)となっている。

年少群では実母が41.2%と最も多く、次いで実父母が36.7%となっている。

ウ 保護者の職業

保護者の職業の内訳は、表2-60のとおりである。

無職者は10.1%である。職業の種類では技能工、採掘・製造・建設作業及び労務作業が26.0%と最も多く、次いでサービス職業が21.1%となっている。

保護者の職業については、年齢層による大きな差は見られない。

エ 家庭の生活程度

家庭の生活程度の内訳は、表2-61のとおりである。

家庭の生活程度については、普通が69.3%と最も多く、次いで貧困が26.7%を占める。

家庭の生活程度については、年齢層による大きな差は見られない。

オ 父との関係

父との関係の内訳は、表2-62のとおりである。

父との関係に何らかの問題がある者は42.7%であり、問題なしは30.8%、該当なしが26.5%である。問題の種類では、疎遠が全体の21.1%で最も多い。

父との関係に問題がある者の割合とその種類には年齢層ごとに大きな差は見られない。ただし、年少群では該当なしが31.6%と、問題なしの25.0%を超えている。

カ 母との関係

母との関係の内訳は、表2-63のとおりである。

母との関係に何らかの問題がある者は51.8%を占め、問題なしは40.1%、該当なしが8.1%である。問題の種類では、その他の問題が14.5%、依存が14.3%と多い。

年少群では、母との関係に何らかの問題がある者が60.5%に上る。問題の種類では、依存が19.4%と最も多い。

年長群では、母との関係に何らかの問題がある者は48.4%である。問題の種類では、疎遠が14.5%で最も多くなっている。

キ 家族の特徴

以下に挙げる家族の特徴について、該当する者の数を示したものが表2-64である。

① 親の離婚

親の離婚がある者は53.9%である。

年少群では61.7%と、他の年齢層と比べて多い。

② 離散

家族の離散がある者は12.5%である。

離散の有無については、年齢層による大きな差は見られない。

③ 経済的困窮

家族に経済的困窮のある者は25.1%である。

経済的困窮の有無については、年齢層による大きな差は見られない。

④ 酒乱者

家族に酒乱者がいる者は6.2%である。

酒乱者の有無については、年齢層による大きな差は見られない。

⑤ 被虐待

家族からの虐待がある者は11.1%である。

虐待のある者が年少群では15.4%であり、他の年齢層と比べてやや多い。

⑥ 犯罪・非行者

家族に犯罪・非行者のある者は18.3%である。

犯罪・非行者のある者が年少群では22.8%と、他の年齢層と比べて多い。

⑦ 自殺者

家族に自殺者のある者は1.3%である。

自殺者の有無については、年齢層による大きな差は見られない。

⑧ 精神障害者

家族に精神障害者のある者は5.7%である。

精神障害者の有無については、年齢層による大きな差は見られない。

⑨ 家族間葛藤

家族間葛藤がある者は38.7%である。

家族間葛藤の有無については、年齢層による大きな差は見られない。

⑩ 指導力欠如

家族の指導力が欠如している者は60.5%を占める。

年少群では、家族の指導力が欠如している者が67.7%と、他の年齢層と比べて多い。

⑪ その他の問題

家族にその他の問題がある者は8.9%である。

その他の問題の有無については、年齢層による大きな差は見られない。

⑫ 家族の特徴

①から⑩までの家族の特徴のうちいずれかの項目に該当する者が87.1%を占める。

年少群では、いずれかの項目に該当する者が90.5%に上り、他の年齢層と比べて多い。さらに、複数の項目に該当する者は年少群で71.6%と、年長群(61.0%)、中間群(63.1%)と比べて多い。

ク 保護者との面会

保護者との面会回数の内訳は、表2-65のとおりである。

5回以上が25.0%と最も多く、次いで2回(21.1%)、1回(18.7%)となっている。

年少群では、5回以上が36.3%を占め、次いで2回(17.4%)、3回(14.1%)である。

中間群では、2回が23.4%、5回が23.3%と最も多く、次いで1回(18.9%)が多い。

年長群では、1回が22.4%と最も多く、次いで2回(20.9%)、5回以上(19.3%)となっている。

ケ 保護者からの受信

保護者からの受信回数の内訳は、表2-66のとおりである。

0回が55.4%を占め、次いで1回(20.3%)、2回(11.2%)となっている。

年長群では、0回が58.5%と、年少群(51.0%)、中間群(55.3%)と比べてやや多い。

保護者との面会、保護者からの受信ともに0回の者は全体の8.6%である。

保護者との面会、保護者からの受信ともに0回の者が全体のうちに占める割合は低いが、年少群(6.6%)、中間群(7.4%)、年長群(11.6%)と、年齢層が上がるほど多くなっている。

コ 保護者への発信

保護者への発信回数の内訳は、表2-67のとおりである。

0回が39.6%と最も多く、次いで1回(27.4%)、2回(15.6%)となっている。
保護者への発信回数については、年齢層による大きな差は見られない。

(7) 適応状況等

ア 教育程度

教育程度の内訳は、表2-68のとおりである。

高校中退が29.2%と最も多く、次いで中学卒業(26.0%)、高校在学(21.1%)となっている。

年少群では、中学在学(60.3%)が最も多く、次いで高校在学(20.4%)、中学卒業(16.2%)が多い。

中間群では、高校中退(34.6%)、高校在学(31.6%)、中学卒業(31.5%)がほぼ同じ割合となっている。

年長群では、高校中退(40.9%)が最も多く、次いで中学卒業(25.8%)、高校卒業(16.4%)となっている。

イ 学校適応

中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学、大学に在学中の者の学校適応の状況は以下のとおりである。学校在学中の者は、年少群で674名、中間群で485名、年長群で174名の計1,333名である。

① 学校生活への意欲

学校生活への意欲の内訳は、表2-69のとおりである。

学校生活への意欲がある者は50.8%である。

年少群では40.9%、中間群では56.5%、年長群73.4%と、年齢層が上がるにつれて意欲のある者が多くなっている。

② 怠学の有無

怠学の内訳は、表2-70のとおりである。

怠学のある者は67.1%である。

年少群では78.6%、中間群では57.6%、年長群では48.2%と、年齢層が上がるにつれて怠学のある者は少なくなっている。

③ 学業成績

学業成績の内訳は、表2-71のとおりである。

学業成績は、下位の者が77.1%を占め、中位が20.8%、上位は2.1%である。

学業成績下位の者は年少群で89.0%、中間群で69.5%、年長群で50.3%と年齢層が上がるにつれて少なくなり、学業成績中位の者は年少群で10.6%、中間群で27.2%、年長群で44.2%と、年齢層が上がるにつれて多くなっている。

④ 同級生との関係

同級生との関係の内訳は、表2-72のとおりである。

同級生との関係は、問題ありの者が35.0%である。

年少群では問題ありの者が50.1%であり、中間群(20.1%)、年長群(17.3%)と比べて多い。

⑤ 教師との関係

教師との関係の内訳は、表2-73のとおりである。

教師との関係は、問題ありの者が32.9%である。

年少群では問題ありの者が52.4%を占め、中間群(14.9%)、年長群(6.5%)と比べて多い。

⑥ 校内での問題行動

校内での問題行動の内訳は、表2-74のとおりである。

校内で問題行動のある者は、42.6%である。

年少群では62.4%を占めるが、中間群では25.7%、年長群では11.9%に止まる。

⑦ 校内での非行

校内での非行の内訳は、表2-75のとおりである。

校内で非行のある者は、19.3%である。

年少群では30.0%であるが、中間群・年長群では8.3%に止まる。

⑧ 進路の明確さ

進路の明確さの内訳は、表2-76のとおりである。

進路の明確さは、どちらかといえば不明確である者が40.8%と最も多く、次いで、不明確である者が33.8%、どちらかといえば明確である者が21.3%である。

年少群では、進路が不明確である者が40.3%と最も多く、中間群(30.4%)、年長群(17.1%)と比べても多くなっている。

年長群では、どちらかといえば不明確である者(37.2%)に次いで、どちらかといえば明確である者が34.8%を占め、年少群(17.8%)、中間群(21.5%)と比べても多くなっている。

ウ 職業

職業の内訳は、表2-77のとおりである。

無職者(学生・生徒)が37.2%、有職者が35.9%、無職者(その他)が26.8%である。有職者の職種は技能工等(建設関係)が最も多い。

年少群では無職者(学生・生徒)が81.6%と大部分を占め、無職者(その他)が10.4%である。

中間群では、有職者が38.7%、無職者(学生・生徒)が31.4%、無職者(その他)が30.0%である。有職者の職種では技能工等(建設関係)が最も多い。

年長群では、有職者が52.0%と半数を超えるが、無職者(その他)も34.5%と多く、無職者(学生・生徒)は13.5%である。有職者の職種は技能工等(建設関係)が最も多い。

エ 職場適応

有職者の職場適応の状況は以下のとおりである。有職者は、年少群で66名、中間群で568名、年長群で613名の計1,247名である。

① 就労意欲

就労意欲の内訳は、表2-78のとおりである。

就労意欲がある者は、全体の87.1%を占める。

就労意欲には、年齢層による大きな差は見られない。

② 就業状況

就業状況の内訳は、表2-79のとおりである。

就業状況では、問題ありの者が24.5%である。

就業状況には、年齢層による大きな差は見られない。

③ 就業期間

就業期間の内訳は、表2-80のとおりである。

就業期間は、1月以上3月以内の者が28.4%で最も多く、次いで3月以上6月以内が20.0%、1月以内が17.6%、6月以上1年以内が17.3%である。

中間群・年長群の就業期間は全体の傾向と同様であるが、年少群では、1月以上3月以内が53.8%と半数を占め、次いで1月以内が35.4%となっている。

④ 同僚との関係

同僚との関係の内訳は、表2-81のとおりである。

同僚との関係は、問題ありの者は6.5%に止まる。

同僚との関係に問題がある者は、いずれの年齢層においても少ない。

⑤ 上司との関係

上司との関係の内訳は、表2-82のとおりである。

上司との関係は、問題ありの者は9.9%である。

上司との関係に問題がある者は、いずれの年齢層においても少ない。

⑥ 犯罪性のある同僚との関係

犯罪性のある同僚との関係の内訳は、表2-83のとおりである。

犯罪性のある同僚との関係がある者は、16.1%である。

年長群では18.2%に犯罪性のある同僚との関係があり、年少群（13.6%）、中間群（14.2%）と比べてやや多い。

⑦ 職場内での犯罪

職場内での犯罪の内訳は、表2-84のとおりである。

職場内での犯罪経験がある者は、2.7%に止まる。

年少群では0名であり、中間群で1.6%、年長群で4.0%と年齢層が上がるにつれてやや多くなっているものの、職場内で犯罪経験のある者の割合は低い。

⑧ 就労目標・計画の明確さ

就労目標・計画の明確さの内訳は、表2-85のとおりである。

就労目標・計画の明確さは、どちらかといえば不明確である者が39.1%と最も多いが、次いで、どちらかといえば明確である者が36.3%、不明確である者が17.4%である。

就労目標・計画の明確さについては、年齢層による大きな差は見られない。

オ 親しい友人グループ

親しい友人グループの内訳は、表2-86のとおりである。

親しい友人グループの種類は、遊び仲間が63.7%を占め、次いで、不良集団(13.4%)、学校仲間(13.1%)である。

年少群では、学校仲間が29.5%であり、中間群(8.1%)、年長群(7.9%)と比べて多い。

中間群では、不良集団が16.3%であり、年少群(11.3%)、年長群(11.4%)と比べてやや多い。

(8) 精神状況・身体状況

ア 精神診断

精神診断の内訳は、表2-87のとおりである。

精神障害がある者は6.4%である。

精神障害については、年齢層による大きな差は見られない。

精神科診断(疑いを含む)のある者について、診断名の数を示したものが表2-88である。

診断名ごとに人数を示したものが表2-89である。なお、複数の診断名がある場合は、それぞれに1名ずつ計上している。

診断名別に見ると、知的障害との診断が最も多く、全体の1.3%となっている。次いで多いのが注意欠陥/多動性障害(1.2%)、広汎性発達障害(0.7%)である。

年少群では、注意欠陥/多動性障害(1.6%)が最も多く、次いで知的障害(1.3%)、広汎性発達障害(1.3%)が多い。

中間群では、注意欠陥/多動性障害(1.4%)が最も多く、次いで知的障害(0.7%)、広汎性発達障害(0.6%)が多い。

年長群では、知的障害(2.0%)が最も多く、次いでてんかん(0.7%)、パーソナリティ障害(0.7%)、気分障害(0.7%)が多い。

イ 知能指数

① 新田中B式知能検査

新田中B式知能検査による知能指数の内訳は、表2-90のとおりである。

新田中B式知能検査による知能指数は、90~99(29.5%)の者が最も多く、次いで100~109(21.5%)、80~89(21.0%)、70~79(12.6%)の者が多い。

年少群では、80~89(25.4%)、90~99(25.0%)の者が最も多く、次いで70~79(21.4%)、100~109(14.1%)の者が多い。

中間群では、90～99 (30.6%) の者が最も多く、次いで100～109 (22.0%)、80～89 (21.7%)、70～79 (11.1%) の者が多い。

年長群では、90～99 (31.3%)、100～109 (26.1%) の者が最も多く、次いで80～89 (17.0%) の者が多い。

② 個別式知能検査

個別式知能検査による知能指数の内訳は、表2-91のとおりである。

個別式知能検査を実施された者は、年少群で204名、中間群で198名、年長群で150名の計552名である。

個別式知能検査による知能指数は、80～89 (25.4%)、70～79 (25.2%) の者が最も多く、次いで60～69 (20.5%)、90～99 (13.4%) の者が多い。

年少群では、70～79 (29.9%)、80～89 (27.9%) の者が最も多く、次いで90～99 (17.2%)、60～69 (14.2%) の者が多い。

中間群では、80～89 (29.3%) の者が最も多く、次いで70～79 (22.7%)、60～69 (22.2%)、90～99 (12.1%) の者が多い。

年長群では、60～69 (26.7%) の者が最も多く、次いで70～79 (22.0%)、80～89 (16.7%)、59以下 (11.3%)、90～99 (10.0%) が多い。

ウ 医療措置の要否

医療措置の要否の内訳は、表2-92のとおりである。

医療措置が必要である者は、15.0%である。

医療措置の要否については、年齢層による大きな差は見られない。

(9) 鑑別判定等

ア 特別更新の有無

特別更新の有無の内訳は、表2-93のとおりである。

特別更新ありの者は0.3%とわずかであり、年長群では0.6%、中間群では0.3%であるが、年少群では該当する者がいない。

イ 鑑別判定

鑑別判定の内訳は、表2-94のとおりである。

在宅保護(保護観察)が44.3%と最も多く、次いで収容保護(中等・長期)が26.4%、収容保護(中等・一般短期)が12.5%となっている。

年齢層ごとに見ると、在宅保護(保護観察)は、年少群(45.4%)、中間群(45.0%)、年長群(42.6%)でいずれも40%を超えて最も多い。

年少群では、次いで多いのが収容保護(初等・長期)(20.5%)であり、収容保護(児童自立支援施設等送致)(16.5%)、収容保護(初等・一般短期)(8.6%)と続いている。

中間群では、収容保護(中等・長期)が33.5%を占め、次いで収容保護(中等・一般短期)が18.1%となっている。

年長群では、収容保護（中等・長期）が33.4%を占め、次いで収容保護（中等・一般短期）が12.9%となっている。保護不適（検察官送致）は3.2%に止まる。

ウ 審判決定等

審判決定等の内訳は、表2-95のとおりである。

保護観察が49.7%と半数近く、次いで中等少年院（長期）送致（16.2%）、試験観察（在宅）（11.7%）、中等少年院（一般短期）送致（6.5%）の順に多い。

年齢層ごとに見ると、保護観察は、年少群（47.7%）、中間群（52.4%）、年長群（47.7%）ともに半数近く、最も多い。

年少群では、次いで多いのが試験観察（在宅）（16.2%）であり、初等少年院（長期）送致（11.3%）、児童自立支援施設等送致（10.6%）が続く。

中間群では、中等少年院（長期）送致が20.3%を占め、次いで試験観察（在宅）（11.4%）、中等少年院（一般短期）送致（9.1%）と続く。

年長群では、中等少年院（長期）送致が21.1%を占め、次いで試験観察（在宅）（9.0%）、中等少年院（一般短期）送致（7.3%）と続く。検察官送致は4.0%である。

エ 鑑別判定と審判決定等の関係

鑑別判定と審判決定等の関係は、表2-96のとおりである。

鑑別判定と審判決定等の関係を見ると、保護観察判定の者のうち85.5%が保護観察決定となっている。

児童自立支援施設等送致判定の者のうち、児童自立支援施設送致となった者は51.8%であり、それ以外の者は、保護観察（14.4%）、試験観察（在宅）（20.1%）となっている。

初等・長期判定の者のうち、初等・長期決定となった者は49.7%であり、それ以外の者は保護観察（13.3%）、試験観察（在宅）（12.7%）、初等・一般短期決定（11.0%）となっている。

中等・長期判定の者のうち、中等・長期決定となった者は58.4%であり、それ以外の者は保護観察（13.8%）、試験観察（在宅）（12.4%）、中等・一般短期決定（8.5%）となっている。

初等・一般短期判定の者のうち、初等・一般短期決定となった者は31.9%に止まり、保護観察となった者が30.6%、試験観察（在宅）となった者が29.2%である。

中等・一般短期判定の者のうち、中等・一般短期決定となった者は32.1%であり、保護観察となった者が38.3%、試験観察（在宅）となった者が21.4%である。

収容保護（特別）では70.0%、収容保護（医療）では83.3%が判定と決定が一致している。

オ 前回鑑別判定

前回入所時の鑑別判定の内訳は、表2-97のとおりである。

該当なしが最も多く、73.7%である。鑑別判定では、在宅保護（保護観察）が9.3%と最も多く、次いで収容保護（中等・長期）（6.1%）、収容保護（初等・長期）（3.0%）である。

年齢層ごとに見ると、該当なしは年少群で87.0%と、中間群（71.1%）、年長群（67.6%）と比べて多い。

年少群では、次いで在宅保護（保護観察）が4.3%、収容保護（児童自立支援施設等送致）が3.2%、収容保護（初等・長期）が2.5%となっている。

中間群では、在宅保護（保護観察）が10.9%、次いで収容保護（中等・長期）が5.0%、収容保護（初等・長期）が3.6%となっている。

年長群では、収容保護（中等・長期）が11.5%、次いで在宅保護（保護観察）が11.0%、収容保護（中等・一般短期）が4.1%となっている。

カ 前回審判決定等

前回入所時の審判決定等の内訳は、表2-98のとおりである。

該当なしが最も多く、73.7%である。審判決定等では、保護観察が11.0%と最も多く、次いで試験観察（在宅）が3.5%、中等少年院（長期）送致が2.9%となっている。

年齢層ごとに見ると、該当なしは年少群で87.0%と、中間群（71.1%）、年長群（67.6%）と比べて多い。

年少群では、次いで保護観察が4.8%、児童自立支援施設等送致が2.4%、試験観察（在宅）が2.3%である。

中間群では、在宅保護（保護観察）が12.6%、次いで試験観察（在宅）が4.9%、初等少年院（長期）送致が2.2%、観護措置取消が2.2%となっている。

年長群では、在宅保護（保護観察）が13.4%、次いで中等少年院（長期）送致が7.3%、中等少年院（一般短期）送致が3.3%、試験観察（在宅）が2.6%となっている。

3 14歳未満入所者調査の結果

全国の少年鑑別所に少年鑑別所送致の決定により入所した者で、かつ、平成19年に施設間の移送以外の事由により退所した者（113名）を調査対象とした。

集計に当たっては、一部の項目に未記入や無効回答が認められるものも分析の対象とし、未記入・無効回答の箇所のみを集計から除外しているため、項目によって有効回答数が異なっている。

(1) 基本属性

性別の内訳は、表3-1のとおりである。

男子が92名と全体の81.4%を占め、女子は21名（18.6%）である。

年齢の内訳は、表3-2のとおりである。

13歳の者が96名で全体の85.0%を占め、12歳が12名(10.6%)、11歳が5名(4.4%)となっている。

国籍の内訳は、表3-3のとおりである。

日本の者が108名(95.6%)、日本以外の者は5名(4.4%)である。

(2) 非行の態様

ア 非行名

非行名の内訳は、表3-4のとおりである。

ぐ犯が47名(41.6%)と最も多く、次いで窃盗(23.0%)、傷害(15.9%)が多い。

イ 非行時の身上

非行時の身上の内訳は表3-5のとおりである。

該当なしが93名で82.3%を占め、次いで施設在所中(15.0%)の者が多い。

ウ 非行の動機

非行の動機の内訳は表3-6のとおりである。

「お金や物が欲しくて」(21.2%)が最も多く、次いで「いやなことから逃げたくて」(13.3%)、「かっとなって」(13.3%)、「遊び」(13.3%)が多い。

エ 被害の状況

① 身体的被害

身体的被害の内訳は表3-7のとおりである。

身体的被害のある者は28名(24.8%)であり、被害の程度は全治1月未満がほとんどである。全治1月以上、死亡は各1名である。

② 経済的被害

経済的被害の内訳は表3-8のとおりである。

経済的被害のある者は44名(38.9%)であり、被害金額は1万円以上10万円未満が半数を超える。

③ 被害者との関係

被害者との関係の内訳は表3-9のとおりである。

被害者のいる者は83名(73.5%)であり、そのうち被害者と面識のない者は40%程度である。

④ 被害者の年齢

被害者の年齢の内訳は表3-10のとおりである。

被害者が成人である者は半数で、被害者が少年である者が約40%である。

オ 共犯関係

① 共犯数

共犯数の内訳は表3-11のとおりである。

単独犯が約60%を占め、共犯のある者では3人、2人、4人以上の順に多い。

② 共犯種類

共犯がいる者についての、共犯種類の内訳は表3-12のとおりである。
遊び仲間が半数近く、次いで学校仲間が多い。

③ 共犯役割

共犯がいる者についての、共犯の中での本人の役割の内訳は表3-13のとおりである。

同格と従属が同数（17名，37.0%）である。

④ 成人共犯

共犯がいる者についての、成人共犯の有無の内訳は表3-14のとおりである。
成人共犯がいる者は1名のみである。

(3) 処分歴

ア 保護処分歴

① 少年鑑別所入所回数

少年鑑別所入所回数の内訳は表3-15のとおりである。
初回入所の者が90%を超えるが、入所回数が2回，3回の者もいる。

② 審判不開始歴

審判不開始歴の内訳は表3-16のとおりである。
審判不開始歴のある者は1名（0.9%）のみであるが、その者には3回の審判不開始歴がある。

③ 不処分歴

不処分歴のある者はいない。

④ 試験観察（在宅）歴

試験観察（在宅）歴の内訳は表3-17のとおりである。
試験観察（在宅）歴のある者は3名（2.7%）のみである。

⑤ 試験観察（補導委託）歴

試験観察（補導委託）歴の内訳は表3-18のとおりである。
試験観察（補導委託）歴のある者は1名（0.9%）のみである。

⑥ 保護観察歴

保護観察歴のある者はいない。

⑦ 児童自立支援施設送致歴

児童自立支援施設送致歴の内訳は表3-19のとおりである。
児童自立支援施設送致歴のある者は12名（10.7%）である。送致回数は1回の者が多い。

⑧ 少年院送致歴

少年院送致歴のある者はいない。

⑨ 知事・児童相談所長等送致歴

知事・児童相談所長等送致歴の内訳は表3-20のとおりである。知事・児童相談所長等送致歴のない者が92.0%を占める。送致回数は1回の者が5.4%である。

イ 再非行期間

再非行期間の内訳は表3-21のとおりである。

前回処分なしの者が90%を占める。再非行期間は1月以内が多く、最も長い者で6月以内である。

ウ 非行初発年齢

非行初発年齢の内訳は表3-22のとおりである。

12歳が41名(36.6%)、13歳が33名(29.5%)で最も多く、次いで10歳、11歳となっている。非行初発年齢が10歳未満の者も13名(11.6%)おり、最も早い者は6歳である。

エ 非行の範囲

財産犯、凶悪犯、粗暴犯、性犯罪、薬物犯、交通犯罪、その他の犯罪について、これまで警察補導以上の取扱いを受けたことがある者の数をまとめたものが表3-23である。

財産犯で警察補導以上の取扱いを受けた者は60%を超え、粗暴犯も全体の半数を超える。

次いで多いのが交通犯罪とその他の犯罪で、約20%の者が該当する。

約10%の者が性犯罪によって警察補導以上の取扱いを受けたことがある。

薬物犯、凶悪犯で警察補導以上の取扱いを受けたことのある者は少ない。

(4) 問題行動歴

ア 不良集団関係

不良集団所属状況をまとめたものが表3-24である。

不良生徒・学生集団所属歴のある者は約半数を占め、次いで多いのが地域不良集団である。暴走族所属歴のある者は少なく、暴力団及びその他の不良集団に所属歴のある者はいない。

いずれの不良集団についても、所属歴のある者はそのほとんどが半年以内に所属しており、何らかの不良集団に半年以内に所属している者は、62名(54.9%)に上る。

半年以内に不良集団に所属している者の不良集団内の立場の内訳は表3-25のとおりである。

不良集団内の立場は、周辺的である者が約半数で中心的である者よりも多い。

イ 薬物使用状況

薬物の使用状況をまとめたものが表3-26である。

有機溶剤使用歴がある者(10名, 8.8%)が最も多く、その半数は半年以内に使用している。

次いで、その他の薬物の使用歴がある者（9名，8.0%）が多く、大麻使用歴のある者は4名（3.5%）である。あへん、覚せい剤については使用歴がある者はいない。

これまでに何らかの薬物を使用したことのある者は18名（15.9%）であり、8名（7.1%）は半年以内に薬物を使用している。

ウ 問題行動歴

17項目の問題行動について、経験の有無をまとめたものが表3-27である。

万引き歴のある者は約70%に上り、その半数以上が半年以内に行っている。

無免許運転歴のある者は半数近く、そのほとんどは半年以内に行っている。暴走行為歴のある者は少ない。

恐喝歴のある者は約25%で、その半数以上が半年以内に行っている。

喫煙歴のある者は70%近く、深夜徘徊歴のある者は70%を超える。飲酒歴のある者は30%超と、他と比べて少ない。

自傷歴のある者は20%近く、その半数は半年以内に行っており、さらに、自殺企図歴がある者も8名（7.1%）いる。

校内での問題行動歴を見ると、半年以内に不登校の経験がある者は全体の半数を超え、不登校歴のあった者を含めると60%を超える。校内暴力、いじめ（加害）を行ったことのある者は30%を占め、いじめ被害のある者も20%を超えるが、いずれも半年以内に行っている者は少ない。

家庭内での問題行動歴を見ると、家出歴のある者が60%近く、その大半は半年以内に家出をしている。家庭内暴力歴のある者は26名（23.0%）であり、その多くは半年以内に行っている。家財持ち出しについては約25%の者に経験があるが、半年以内に行っている者は少ない。

文身のある者は26名（23.0%）であり、いずれもいたずら程度のものである。

(5) 家族関係

ア 居住状況

居住状況の内訳は、表3-28のとおりである。

居住状況は家族と同居の者が88名（77.9%）と最も多く、次いで多いのが施設在所の者（20名，17.7%）である。

イ 保護者

保護者の内訳は、表3-29のとおりである。

保護者が実母の者が61名と半数を超え、実父母が保護者である者は25名（22.1%）に止まる。

ウ 保護者の職業

保護者の職業の内訳は、表3-30のとおりである。

無職者が25名（23.1%）と多い。

エ 家庭の生活程度

家庭の生活程度の内訳は、表3-31のとおりである。

貧困家庭が39名で、34.5%に上る。

オ 父との関係

父との関係の内訳は、表3-32のとおりである。

父との関係に何らかの問題のある者が65名(58.0%)であり、問題の種類は疎遠(27名, 24.1%)、その他の問題(26名, 23.2%)が多い。

カ 母との関係

母との関係の内訳は、表3-33のとおりである。

母との関係に何らかの問題のある者が88名(77.9%)に上る。問題の種類では、その他の問題(31名, 27.4%)、疎遠(28名, 24.8%)が多く、対立、依存もそれぞれ10%を超える。

キ 家族の特徴

家族の特徴について、該当する者の数を示したものが表3-34である。

家族の指導力欠如、親の離婚は70%以上の者に該当している。

次いで多くの者に該当しているのが、家族間葛藤、犯罪者・非行者の存在、被虐待で、いずれも30%以上を占める。

家族の離散、酒乱者の存在も10%以上の者に該当する。

106名(93.8%)の者が家族の特徴のうちいずれかの項目に該当しており、複数の項目に該当する者がほとんどである。

ク 保護者の面会

保護者の面会回数の内訳は、表3-35のとおりである。

5回以上が最も多く、次いで3回、2回、1回となっている。

ケ 保護者からの受信

保護者からの受信回数の内訳は、表3-36のとおりである。

0回が半数近くを占め、次いで1回が多い。

コ 保護者への発信

保護者への発信回数の内訳は、表3-37のとおりである。

0回が最も多く、次いで1回、2回となっている。

(6) 適応状況等

ア 教育程度

教育程度の内訳は、表3-38のとおりである。中学在学が102名で90.3%を占め、小学在学が10名(8.8%)、その他が1名(0.9%)である。

イ 学校適応

学校適応の状況は、以下のとおりである。

① 学校生活への意欲

学校生活への意欲の内訳は、表3-39のとおりである。

学校生活への意欲がない者が80%を超える。

② 怠学の有無

怠学の内訳は、表3-40のとおりである。

80%を超える者が怠学している。

③ 学業成績

学業成績の内訳は、表3-41のとおりである。

学業成績下位の者が90%を超える。

④ 同級生との関係

同級生との関係の内訳は、表3-42のとおりである。

同級生との関係に問題がある者は60%を超える。

⑤ 教師との関係

教師との関係の内訳は、表3-43のとおりである。

教師との関係に問題がある者は60%を超える。

⑥ 校内での問題行動

校内での問題行動の内訳は、表3-44のとおりである。

校内で問題行動がある者が75%に上る。

⑦ 校内での非行

校内での非行の内訳は、表3-45のとおりである。

30%の者に校内での非行が見られる。

⑧ 進路の明確さ

進路の明確さの内訳は、表3-46のとおりである。

進路が不明確である者が85%を占める。

エ 親しい友人グループ

親しい友人グループの内訳は、表3-47のとおりである。

親しい友人グループの種類は遊び仲間が最も多く、次いで学校仲間、不良集団が多い。

(7) 精神状況・身体状況

ア 精神診断

精神診断の内訳は、表3-48のとおりである。

精神障害がある者は12名(10.6%)である。

精神科診断(疑いを含む)のある者について、診断名の数を示したものが表3-49である。

診断名ごとに人数と、全体(113名)のうちに占める割合を示したものが表3-50である。なお、複数の診断名がある場合は、それぞれに1名ずつ計上している。

診断名別に見ると、広汎性発達障害との診断が最も多く、次いで多いのが注意欠

陥／多動性障害；行為障害である。

イ 知能指数

① 新田中B式知能検査

新田中B式知能検査による知能指数の内訳は、表3-51のとおりである。

新田中B式知能検査による知能指数は、70～79の者が最も多く、次いで80～89、60～69、90～99の者が多い。

② 個別式知能検査

個別式知能検査による知能指数の内訳は、表3-52のとおりである。

個別式知能検査を実施された者は56名で、約半数である。

個別式知能検査による知能指数は、80～89の者が最も多く、次いで70～79、90～99の者が多い。

ウ 医療措置の要否

医療措置の要否の内訳は、表3-53のとおりである。

医療措置が必要である者は20名（17.7%）である。

(8) 鑑別判定等

ア 特別更新の有無

観護措置の特別更新をされた者はいない。

イ 鑑別判定

鑑別判定の内訳は、表3-54のとおりである。

収容保護（児童自立支援施設等送致）が99名で87.6%を占める。次いで、在宅保護（その他）、在宅保護（保護観察）となっている。収容保護（初等・長期）の判定は1名（0.9%）である。

ウ 審判決定等

審判決定等の内訳は、表3-55のとおりである。

児童自立支援施設等送致が81名（71.7%）で最も多く、次いで、試験観察（在宅）が14名（12.4%）である。その他は、保護観察、知事・児童相談所長送致、観護措置の取消しの順に多い。少年院送致の者はない。

鑑別判定と審判決定等の関係は、表3-56のとおりである。

収容保護（児童自立支援施設等送致）とされた99名のうち77名（77.8%）は児童自立支援施設等送致の審判決定であり、残る22名のうち13名は試験観察（在宅）となっている。

エ 前回鑑別判定

前回入所時の鑑別判定の内訳は、表3-57のとおりである。

該当なしが105名（92.9%）である。前回鑑別を実施している8名の鑑別判定は、全て収容保護（児童自立支援施設等送致）である。

オ 前回審判決定等

前回入所時の審判決定等の内訳は、表3-58のとおりである。

前回審判決定等は、児童自立支援施設等送致が6名、試験観察（在宅）が2名である。

(9) 鑑別判定・審判決定等による群別集計

調査対象者113名のうち99名は児童自立支援施設送致の鑑別判定である。そのうち審判決定が児童自立支援施設送致となった者は77名であり、残る22名は児童自立支援施設送致以外の決定となっている。

鑑別判定で児童自立支援施設送致とされた者のうち、実際に児童自立支援施設送致決定となった者とそうでない者について、その特質にどのような違いがあるのかを明らかにすることは、鑑別実施上も有意義なことであると考えられる。

そこで、鑑別判定で児童自立支援施設送致とされ、実際に児童自立支援施設送致決定となった者77名を「児童自立支援施設送致群」、鑑別判定で児童自立支援施設送致とされ、審判決定で児童自立支援施設送致とならなかった者22名を「その他決定群」、鑑別判定で児童自立支援施設送致とされなかった者14名を「その他判定群」として、群別の集計を行った。なお、「その他決定群」の審判決定等の内訳は、試験観察13名、保護観察4名、知事・児童相談所長送致4名、審判不開始・不処分1名である。

集計に当たっては、一部の項目に未記入や無効回答が認められるものも分析の対象とし、未記入・無効回答の箇所のみを集計から除外しているため、項目によって有効回答数が異なっている。また、ここでは児童自立支援施設送致群とその他決定群の比較を中心に分析を行う。

ア 基本属性

① 性別

性別の内訳は、表3-1のとおりである。

児童自立支援施設送致群では女子が19.5%と、その他決定群（13.6%）と比べてやや多い。

② 年齢

年齢の内訳は、表3-2のとおりである。

13歳の者の割合が児童自立支援施設送致群では87.0%で、その他決定群の81.8%と比べてやや多い。一方、12歳の者の割合では、児童自立支援施設送致群が9.1%、その他決定群が13.6%と、その他決定群の方がやや多くなっている。

③ 国籍

国籍の内訳は、表3-3のとおりである。

両群間で大きな差は見られない。

イ 非行の態様

① 非行名

非行名の内訳は、表3-4のとおりである。

児童自立支援施設送致群ではく犯が44.2%と最も多く、次いで窃盗（27.3%）が多い。

その他決定群では傷害、く犯がそれぞれ27.3%を占めて最も多く、次いで窃盗（22.7%）が多い。

② 非行時の身上

非行時の身上の内訳は表3-5のとおりである。

両群間で大きな差は見られない。

③ 非行の動機

非行の動機の内訳は表3-6のとおりである。

児童自立支援施設送致群で、「お金や物が欲しくて」が24.7%と、その他決定群（18.2%）と比べて多い。

④ 被害の状況

身体的被害の内訳は表3-7のとおりである。

児童自立支援施設送致群では17名（22.1%）に身体的被害があり、その他決定群では7名（31.8%）に身体的被害がある。その他決定群では身体的被害のある者がやや多いが、被害の程度はいずれも1月未満と軽い。

経済的被害の内訳は表3-8のとおりである。

経済的被害のある者は児童自立支援施設送致群で33名（42.9%）、その他決定群で8名（36.4%）といずれも40%程度である。被害金額は両群とも1万円以上10万円未満の者が多い。児童自立支援施設送致群では次いで被害金額10万円以上の者が多いが、その他決定群では被害金額1万円未満の者が多く、児童自立支援施設送致群で被害金額が高い。

被害者との関係の内訳は表3-9のとおりである。

被害者のある者は児童自立支援施設送致群で56名（72.7%）、その他決定群で17名（77.3%）といずれも70%を超えている。被害者との関係を見ると、両群とも面識のない者が被害者となっているケースは少ない。その他決定群では面識のある者の割合が高いが、児童自立支援施設送致群では、遊び仲間、親族といった、より近い関係の者が被害者となっていることが多い。

被害者の年齢の内訳は表3-10のとおりである。

被害者の年齢は、児童自立支援施設送致群では成人が多く、その他決定群では少年が多い。

⑤ 共犯関係

共犯数の内訳は表3-11のとおりである。

児童自立支援施設送致群では単独犯が64.9%で最も多いが、その他決定群では単独犯は36.4%に止まり、3人共犯の者が50.0%で最も多い。

共犯がいる者についての、共犯種類の内訳は表3-12のとおりである。

その他決定群では学校仲間と遊び仲間が半数ずつである。児童自立支援施設送致群では、遊び仲間（51.9%）が半数を占めるが、次いで学校仲間（18.5%）、不良集団（14.8%）も多い。

共犯がいる者についての、共犯の中での本人の役割の内訳は表3-13のとおりである。

その他決定群では主導が28.6%であり、児童自立支援施設送致群（18.5%）と比べて多い。

共犯がいる者についての、成人共犯の有無の内訳は表3-14のとおりである。

その他決定群では成人共犯のいる者はなく、児童自立支援施設送致群でも1名（3.7%）のみである。

ウ 処分歴

① 保護処分歴

少年鑑別所入所回数の内訳は表3-15のとおりである。

児童自立支援施設送致群では、初回入所が93.5%を占め、その他決定群（86.4%）と比べて多い。

審判不開始歴の内訳は表3-16のとおりである。

審判不開始歴のある者は、児童自立支援施設送致群の1名（1.3%）のみである。

試験観察（在宅）歴の内訳は表3-17のとおりである。

両群間で大きな差は見られない。

試験観察（補導委託）歴の内訳は表3-18のとおりである。

試験観察（補導委託）歴のある者は児童自立支援施設送致群の1名（1.3%）のみである。

児童自立支援施設送致歴の内訳は表3-19のとおりである。

その他決定群では送致歴のある者が18.2%であり、児童自立支援施設送致群の10.5%と比べてやや多い。

知事・児童相談所長等送致歴の内訳は表3-20のとおりである。

児童自立支援施設送致群では送致歴のある者が10.5%と、その他決定群の4.5%と比べてやや多い。

② 再非行期間

再非行期間の内訳は表3-21のとおりである。

両群間で大きな差は見られない。

③ 非行初発年齢

非行初発年齢の内訳は表3-22のとおりである。

児童自立支援施設送致群では、13歳が30.3%を占め、その他決定群（18.2%）と比べて多い。

④ 非行の範囲

財産犯、凶悪犯、粗暴犯、性犯罪、薬物犯、交通犯罪、その他の犯罪について、これまで警察補導以上の取扱いを受けたことがある者の数をまとめたものが表3-23である。

両群とも、約70%の者が財産犯で、約50%の者が粗暴犯で、警察補導以上の取扱いを受けている。

その他決定群では、次いで性犯罪が22.7%を占め、児童自立支援施設送致群の5.2%と比べてかなり多い。一方、児童自立支援施設送致群では、交通犯罪が26.0%を占めている。

両群とも、薬物犯、凶悪犯は少ない。

その他の犯罪により警察補導以上の取扱いを受けたことがある者は、児童自立支援施設送致群で23.4%、その他決定群で31.8%である。

エ 問題行動歴

① 不良集団関係

不良集団所属状況をまとめたものが表3-24である。

両群とも、約半数の者に不良生徒・学生集団所属歴があり、そのほとんどが半年以内に所属している。

地域不良集団所属歴のある者は児童自立支援施設送致群では27.6%であり、その他決定群（13.6%）と比べて多い。

何らかの不良集団に半年以内に所属している者は、児童自立支援施設送致群で61.0%と、その他決定群で45.5%と比べて多い。

半年以内に不良集団に所属している者の不良集団内の立場の内訳は表3-25のとおりである。

不良集団内の立場は、中心的である者がその他決定群では50.0%を占め、児童自立支援施設送致群（43.5%）と比べてやや多い。

② 薬物使用状況

薬物の使用状況をまとめたものが表3-26である。

児童自立支援施設送致群では何らかの薬物を使用したことのある者が19.5%に上り、9.1%は半年以内に何らかの薬物を使用している。その他決定群では薬物を使用したことのある者が13.6%、半年以内に使用している者が4.5%と、児童自立支援施設送致群よりもやや少ない。薬物の種類による使用状況には両群間で大きな差は見られない。

③ 問題行動歴

17項目の問題行動について、経験の有無をまとめたものが表3-27である。

無免許運転歴、万引き歴については、両群で大きな差は見られない。

暴走行為歴のある者は児童自立支援施設送致群で13.0%と、その他決定群

(4.5%)と比べて多い。ただし、児童自立支援施設送致群においても半年以内に暴走行為を行っている者は5.2%に止まる。

恐喝歴のある者はその他決定群で40.9%を占め、27.3%は半年以内に行っており、児童自立支援施設送致群(23.4%, 15.6%)と比べて多い。

喫煙歴、深夜徘徊歴については、両群で大きな差は見られない。

飲酒歴のある者は、その他決定群で42.1%と児童自立支援施設送致群(34.8%)と比べてやや多い。

自傷歴のある者は児童自立支援施設送致群で23.4%に上り、その他決定群(13.6%)と比べて多い。児童自立支援施設送致群では9.1%の者に自殺企図歴があるが、半年以内に行っている者は2.6%である。

校内での問題行動歴を見ると、児童自立支援施設送致群では不登校歴のある者が67.5%に上り、57.1%は半年以内に不登校の経験があり、その他決定群(59.1%, 50.0%)と比べてやや多い。

その他の項目では、両群間で大きな差は見られない。

家庭内での問題行動歴を見ると、問題行動のある者は、児童自立支援施設送致群の方がその他決定群よりも多い。児童自立支援施設送致群では、24.7%に家庭内暴力歴があり、63.6%に家出歴がある。

文身のある者は両群とも20%を超えている。

オ 家族関係

① 居住状況

居住状況の内訳は、表3-28のとおりである。

両群とも家族と同居の者が最も多いが、その他決定群では施設に在所している者が27.3%で児童自立支援施設送致群(15.6%)と比べて多い。児童自立支援施設送致群では浮浪、不定といった居住状況の不安定な者がいる。

② 保護者

保護者の内訳は、表3-29のとおりである。

両群とも実母のみの者が最も多いが、その他決定群では実母が63.6%を占め、児童自立支援施設送致群(53.2%)よりも多くなっている。

③ 保護者の職業

保護者の職業の内訳は、表3-30のとおりである。

両群とも、無職者が20%を超えて最も多い。その他決定群ではサービス職業が23.8%であり、児童自立支援施設送致群(15.1%)と比べて多い。

④ 家庭の生活程度

家庭の生活程度の内訳は、表3-31のとおりである。

児童自立支援施設送致群では貧困が41.6%を占め、その他決定群(22.7%)と比べて多くなっている。

⑤ 父との関係

父との関係の内訳は、表 3-32のとおりである。

何らかの問題のある者が両群ともに約60%を占める。問題の種類では、その他決定群では疎遠(36.4%)、児童自立支援施設送致群ではその他の問題(30.3%)と疎遠(21.1%)が多い。

⑥ 母との関係

母との関係の内訳は、表 3-33のとおりである。

問題なしはその他決定群で18.2%と、児童自立支援施設送致群(10.4%)と比べてやや多いが、それでも、何らかの問題のある者が両群とも80%を占める。

問題の種類は、その他決定群では依存、疎遠、その他の問題がそれぞれ27.3%であるが、児童自立支援施設送致群では依存は9.1%に止まり、その他の問題(31.2%)、疎遠(26.0%)が多い。

⑦ 家族の特徴

家族の特徴について、該当する者の数を示したものが表 3-34である。

指導力欠如、親の離婚は両群とも70%以上の者に該当している。

児童自立支援施設送致群では、経済的困窮(44.2%)、家族間葛藤(41.6%)、犯罪者・非行者(40.3%)、被虐待(39.0%)がいずれもおおむね40%の者に該当しており、その他決定群と比べて多い。

両群とも、90%を超える者がいずれかの項目に該当している。

その他決定群では、1項目のみに該当する者が22.7%であり、児童自立支援施設送致群の10.4%と比べて多い。児童自立支援施設送致群では、複数の項目に該当する者が85.7%に上る。

⑧ 保護者の面会

保護者の面会回数の内訳は、表 3-35のとおりである。

児童自立支援施設送致群では、0回の者が11.7%であり、その他決定群(4.5%)と比べてやや多い。その他決定群では、5回以上の者が50.0%を占め、児童自立支援施設送致群(29.9%)と比べて多い。

⑨ 保護者からの受信

保護者からの受信回数の内訳は、表 3-36のとおりである。

両群間で大きな差は見られない。

⑩ 保護者への発信

保護者への発信回数の内訳は、表 3-37のとおりである。

両群間で大きな差は見られない。

カ 適応状況等

① 教育程度

教育程度の内訳は、表 3-38のとおりである。

児童自立支援施設送致群では、小学在学の者が10.4%を占める。

② 学校適応

学校生活への意欲の内訳は、表3-39のとおりである。

学校生活への意欲がない者が児童自立支援施設送致群では90.8%に上り、その他決定群（81.8%）と比べて多い。

怠学、学業成績の内訳は、表3-40、表3-41のとおりである。

怠学の有無、学業成績については両群間で大きな差は見られない。

同級生との関係の内訳は、表3-42のとおりである。

同級生との関係は両群間で大きな差は見られない。

教師との関係の内訳は、表3-43のとおりである。

教師との関係は、児童自立支援施設送致群の67.1%に問題があり、その他決定群（52.4%）と比べて多い。

校内での問題行動、校内での非行の内訳は、表3-44、表3-45のとおりである。

校内で問題行動のある者は児童自立支援施設送致群で76.7%に上り、その他決定群（66.7%）と比べて多い。校内での非行は、両群とも20%を超えている。

進路の明確さの内訳は、表3-46のとおりである。

進路の明確さについては、両群間で大きな差は見られない。

③ 親しい友人グループ

親しい友人グループの内訳は、表3-47のとおりである。

親しい友人グループの種類は、児童自立支援施設送致群では、遊び仲間（46.7%）に次いで不良集団（20.0%）が多い。その他決定群では、遊び仲間（38.1%）に次いで学校仲間（28.6%）が多くなっている。

キ 精神状況・身体状況

① 精神診断

精神診断の内訳は、表3-48のとおりである。

児童自立支援施設送致群では、知的障害のある者が1.3%、その他の精神障害のある者が13.0%である。その他決定群では精神障害のある者はいない。

表3-50の診断名を見ると、児童自立支援施設送致群では広汎性発達障害との診断が最も多く、次いで多いのが注意欠陥／多動性障害、行為障害である。

② 知能指数

新田中B式知能検査による知能指数の内訳は、表3-51のとおりである。

児童自立支援施設送致群では、知能指数が80～89（26.0%）、70～79（26.0%）、60～69（24.7%）の者が多い。

その他決定群では、知能指数が70～79の者が40.0%を占める。

個別式知能検査による知能指数の内訳は、表3-52のとおりである。

個別式知能検査を実施された者は、児童自立支援施設送致群で40名（51.9%）、

その他決定群で12名（54.5%）である。

児童自立支援施設送致群では、知能指数が80～89（35.7%）の者が最も多く、次いで70～79（25.0%）、90～99（22.5%）の者が多い。

その他決定群では、知能指数が80～89（33.3%）、70～79（33.3%）の者が最も多く、次いで90～99（25.0%）の者が多い。

③ 医療措置の要否

医療措置の要否の内訳は、表3-53のとおりである。

医療措置が必要である者は、児童自立支援施設送致群で23.4%に上り、その他決定群（4.5%）と比べて多い。

ク 鑑別判定等

① 前回鑑別判定

前回入所時の鑑別判定の内訳は、表3-57のとおりである。

児童自立支援施設送致群では94.8%が該当なしであり、その他決定群の86.4%と比べてやや多い。前回鑑別を実施している者の鑑別判定は、全て収容保護（児童自立支援施設等送致）である。

② 前回審判決定等

前回入所時の審判決定等の内訳は、表3-58のとおりである。

前回審判判定は、両群とも該当なしが多い。前回審判決定のある者については、児童自立支援施設送致群は児童自立支援施設等送致が5.2%であり、その他決定群では、児童自立支援施設送致が9.1%、試験観察（在宅）が4.5%である。

IV 結果のまとめ

1 鑑別統計資料の分析結果

平成19年に全国の少年鑑別所を退所した15,215名に関する鑑別統計資料の分析から、少年鑑別所入所少年の特質について以下のことが明らかになった。

(1) 平成19年少年鑑別所退所者の特質

ア 基本属性

性別は男子が88.7%を占め、国籍は日本である者がほとんどである。

平均年齢は16.7歳であり、16歳、17歳の者の割合が高い。

イ 非行の態様

非行名は窃盗が37.2%を占め、次いで傷害、道路交通法が多く、交通事件の者は全体の12.6%に止まる。

単独で非行を行った者は36.0%と少なく、共犯者は遊び仲間である者が多い。

ウ 処分歴

少年鑑別所に初回入所の者が72.1%を占める。

保護観察，児童自立支援施設送致の処分を受けたことのある者は30%程度であり，少年院送致歴のある者は10%に満たない。

エ 問題行動歴

不良集団に所属している者は41.5%であり，その半数は地域不良集団に所属している。

非行時に薬物を使用していた者は10%に満たない。

オ 家族関係

全体の83.5%の者が家族と同居している。

保護者は実父母の者が43.0%，実母の者が32.9%である。保護者の職業は，技能工，採掘・製造・建設作業及び労務作業が多い。親が無職者である者は9.7%であるが，22.4%の者が貧困家庭に育っている。

カ 適応状況等

職業は学生が37.8%を占め，無職者は27.5%，有職者が33.9%である。

教育程度は高校中退の者が28.9%，次いで中学卒業の者が24.7%となっている。

キ 精神状況・身体状況

知能指数は90～99の者が多い。精神障害のある者は4.7%，そのうち知的障害のある者は全体の1.3%である。

ク 鑑別判定等

鑑別判定は在宅保護（保護観察）の者が41.1%であり，審判決定等では保護観察の者が45.6%を占める。

鑑別判定では中等少年院送致が35.4%（長期22.9%，一般短期12.1%，特修短期0.4%）を占めるが，審判決定では21.6%と，10ポイント以上の差がある。

ケ 女子の特徴

女子は1,722名（11.3%）である。その特徴として，以下の点が挙げられる。

女子は年少少年の割合が高く，平均年齢が16.3歳と低い。

非行名では窃盗に次いでぐ犯が多く，交通事故の者は少ない。非行名でぐ犯が多いことも関係して単独犯の者が多い。

少年鑑別所に初回入所の者が80.4%を占め，少年院送致歴，保護観察歴，児童自立支援施設送致歴のある者も男子と比べて少ない。

不良集団に所属している者は男子と比べて少なく，特に暴走族に所属する者はわずか1.5%である。

非行時に薬物を使用していた者が男子と比べて多く，使用薬物は覚せい剤が多い。家族関係を見ると，保護者が実父母である者と実母のみである者が同程度の割合であり，実父母率が低い。

職業は男子と比べると無職者の割合が高く，36.5%を占める。

知能指数は男子と比べてやや低い方に偏っている。また，医療措置を要する者が

多い。

鑑別判定には男子と比べて大きな差は見られないが、審判決定等では男子と比べて試験観察がやや多い。

コ 国籍が日本以外の者の特徴

国籍が日本以外の者は410名（2.7%）である。その特徴として、以下の点が挙げられる。

日本以外の者では、年長少年が約半数であり、平均年齢が17.2歳と高い。

処分歴では、入所回数、少年院送致歴、保護観察歴に日本の者と日本以外の者に大きな差は見られないが、日本以外で児童自立支援施設送致歴のある者は1.4%とわずかである。また、不良集団に所属している者もやや少ない。

非行名や共犯関係に日本の者との大きな差は見られないが、日本以外の者では非行時に薬物を使用していた者が多い。

家族関係を見ると、日本以外の者は保護者が実母のみである割合が低い。保護者の職業は技能工、採掘・製造・建設作業及び労務作業の割合が高い。家族と同居している者は少ない。

職業では日本の者と比べて無職者の割合が高く、学生の割合が低い。教育程度では、高校中退、高校在学の割合が少なく、不就学の者もいる。

知能指数は日本の者と比べてやや低い方に偏っている。

鑑別判定では、判定未了がやや多い。審判決定等では、試験観察の割合がやや低い。

(2) 平成19年少年鑑別所退所者の特質～年齢層ごとの比較

対象者を年齢によって年少少年（15歳以下）、中間少年（16歳・17歳）、年長少年（18歳・19歳）に分けたところ、各年齢層について以下の特徴が明らかになった。

ア 年少少年の特質

15歳以下の年少少年は3,716名（24.4%）である。

年少少年では女子の割合が高く、16.1%を占める。

非行名では、窃盗、傷害に次いでぐ犯が多く、交通事故の者は少ない。

共犯者のいる者が60%を超え、その内訳は遊び仲間次いで学校仲間の者が多い。また、不良生徒・学生集団に所属している者が25.6%であり、学校内での不良交友が非行の背景となっていることがうかがえる。

少年鑑別所に初回入所の者が83.5%であり、保護観察歴、児童自立支援施設送致歴のない者が80%を超え、少年院送致歴のない者が96.9%を占めており、処分歴のない者がほとんどである。

家族関係を見ると、保護者が実父母である者と実母のみである者の数が拮抗しており、実父母率が低い。

教育程度は中学在学が70.5%を占め、83.7%の者は学生である。

知能指数は他の年齢層と比べてやや低い方に偏っている。

鑑別判定では、在宅保護（保護観察）が42.2%と最も多いが、収容保護（初等・長期）（20.6%）と収容保護（初等・一般短期）（9.0%）を合わせると約30%が初等少年院送致の判定であり、収容保護（児童自立支援施設等送致）（10.9%）と合わせて約40%が収容保護の判定となっている。審判決定等は、保護観察が42.7%、少年院送致（初等）が17.1%であり、他の年齢層と比べて少年院送致決定の割合は低い。

イ 中間少年の特質

16歳・17歳の中間少年は6,139名（40.3%）で、他の年齢層と比べて最も多い。

非行名では、窃盗に次いで道路交通法違反の者が多く、交通事件の者の割合も最も高い。

共犯者のいる者が68.9%と他の年齢層と比べて多く、特に4人以上の集団で非行に及んだ者が多い。また、全体の半数近くが不良集団に所属しており、共犯者の種類が不良集団である者の割合も他の年齢層と比べて高い。

処分歴を見ると、少年鑑別所に再入所している者は28.5%で、保護観察歴のある者、児童自立支援施設送致歴のある者は30%を超えるが、少年院送致歴のある者は7.5%に止まる。

教育程度は高校中退、高校在学、中学卒業がそれぞれ3分の1を占め、無職者、学生、有職者の割合もそれぞれ3分の1程度である。

鑑別判定では、在宅保護（保護観察）（42.0%）に次いで収容保護（中等・長期）が28.9%、収容保護（中等・一般短期）が17.3%となっており、少年院送致の判定が半数近いが、審判決定等では少年院送致（中等）は28.1%、試験観察が12.1%となっている。

ウ 年長少年の特質

18歳・19歳の年長少年は5,360名（35.2%）である。

非行名は、窃盗、傷害、道路交通法の順に多く、単独犯の者が40%を超える。

処分歴を見ると、少年鑑別所に再入所している者が35.1%に上り、保護観察歴のある者、児童自立支援施設送致歴のある者が約40%、少年院送致歴のある者が16.2%と、他の年齢層と比べて処分歴のある者が多い。

不良集団関係のない者が60%を超え、非行時に薬物を使用していた者は12.3%である。

職業は、有職者が50.1%、無職者が34.6%、学生が14.2%であり、有職者が半数であるが、中間少年と同様、無職者が3分の1を占める。

家族と同居している者は76.0%であり、家庭から独立している者が多いと考えられる。

鑑別判定では在宅保護（保護観察）（39.2%）に次いで収容保護（中等・長期）

が29.6%，収容保護（中等・一般短期）が13.1%となっており，少年院送致の判定が40%を超えるが，審判決定では少年院送致（中等）は27.0%である。

2 全数調査の分析結果

平成20年6～8月に少年鑑別所を退所し鑑別を終了した者3,529名について，非行の態様，処分歴，問題行動歴，家族関係，適応状況，精神状況・身体状況，鑑別判定等を調査した結果，少年鑑別所入所少年の特質について以下のことが明らかになった。

(1) 平成20年少年鑑別所退所者の特質

ア 基本属性

性別は男子が89.3%を占め，国籍は日本である者がほとんどである。

平均年齢は16.7歳であり，16歳，17歳の者の割合が高い。

イ 非行の態様

① 非行の態様（全体）

主非行名は，窃盗が34.0%を占め，次いで傷害，道路交通法違反，恐喝，く犯が多い。主非行以外に非行名のある者は21.0%であり，その25.1%は住居侵入である。

非行時の身上は，1号観察中の者が17.9%，2号観察中の者が6.8%と少ない。

非行の動機は，「お金や物が欲しくて」が最も多く，次いで「かっとなって」，「乗りたくて」となっており，非行名の窃盗，傷害，道路交通法違反と対応している。

非行による被害の状況を見ると，身体的被害は1月未満の者が多く，経済的被害は1万円以上10万円未満が多い。

被害者との関係では面識のない者が半数近く，面識のある者は16.6%に止まる。被害者の年齢は，成人が多い。

共犯関係は単独犯が37.7%で，次いで4人以上の者が多い。共犯の種類では遊び仲間が60%を超え，成人の共犯者がいる者は16.7%である。

② 非行の態様（窃盗）

本件非行が窃盗である者（1,197名）の非行の態様について詳しく調べた。

非行の動機は「お金や物が欲しくて」が半数を超え，次いで「乗りたくて」，「誘われて」が多い。

経済的被害は，1万円以上10万円未満が40%を超え，次いで10万円以上，千円以上1万円未満がそれぞれ20%を超える。

被害者との関係は面識のない者が，被害者の年齢は成人が大部分を占める。

共犯関係では，単独犯，2人，3人，4人以上の順に多く，少人数で行っている者が多い。共犯の種類では遊び仲間が大部分を占め，共犯の中での役割は，同格が最も多く，次いで従属，主導となっている。

本件が窃盗の者の非行の態様としては、遊び仲間と刺激しあって、また、遊び仲間誘われて非行に及んだ者が多いと考えられる。また、被害者とは面識のない者が大部分であり、被害金額は高額である。乗り物盗も一定の割合を占めていることがうかがえる。

③ 非行の態様（傷害）

本件非行が傷害である者（608名）の非行の態様について詳しく調べた。

非行の動機は「かっとなって」が70%を占める。

身体的被害の程度は1月未満の者が大部分であり、被害者との関係では、面識のある者が最も多く、遊び仲間も16.3%を占める。被害者の年齢は、少年が72.2%と大部分を占める。

共犯関係では、単独犯が36.7%、次いで4人以上が29.9%を占める。共犯の種類では遊び仲間が大部分を占め、共犯の中での役割は、同格が最も多い。成人共犯のいる者は少ない。

本件が傷害の者の非行の態様としては、以前から面識のある少年に対してかっとなって非行に及んだ者が多く、仲間と一緒に非行に及んでいる者も多い。

④ 非行の態様（道路交通法違反）

本件非行が道路交通法違反である者（420名）の非行の態様について詳しく調べた。

非行の動機では、「乗りたくて」が半数近くであり、次いで「遊び」、「誘われて」が多い。

共犯関係では、4人以上、不特定多数の者が多く、単独犯は24.5%に止まる。共犯の種類は不良集団が半数以上を占め、共犯の中の役割では従属の者が半数近い。

道路交通法違反の者の非行の態様としては、バイクや車に乗りたいという思いから比較的軽い気持ちで、暴走族等の不良集団の中で非行に及んでいる者が多いと考えられる。

ウ 処分歴

少年鑑別所には初回入所である者が72.5%を占める。

審判不開始歴、不処分歴のない者が80%を超え、試験観察歴、児童自立支援施設送致歴、知事・児童相談所長等送致歴のない者も90%を超える。また、刑事処分歴のない者がほとんどである。保護観察歴のある者は30.9%であり、その回数は1回の者が大部分を占める。少年院送致のある者は8.3%に止まる。

非行の初発年齢では、14歳が最も多く、次いで15歳、13歳となっており、中学生時代に非行が始まっている者が多い。

非行の範囲を見ると、財産犯により警察補導以上の処分を受けたことがある者が75.0%と最も多く、次いで交通犯罪、粗暴犯のある者が半数近い。

エ 問題行動歴

① 不良集団関係

半年以内に不良集団に所属している者は全体の42.3%に上るが、不良集団内の立場は周皮的である者が多い。不良集団の種類を見ると、地域不良集団に所属している者が最も多い。

② 薬物使用関係

薬物使用歴のある者は全体の13.6%であり、7.5%は半年以内に使用している。使用薬物の種類を見ると、有機溶剤使用歴のある者が最も多い。

③ 問題行動歴

約80%の者に喫煙、深夜徘徊の経験があり、そのほとんどが半年以内に行っている。

約60%の者に万引き、無免許運転の経験があるが、半年以内に万引きを行っている者は22.5%、無免許運転を行っている者は35.9%に止まる。

自傷歴のある者が10%を超え、自殺企図歴のある者も4.2%と一定数いる。

学校内での問題行動歴を見ると、約40%の者に不登校歴があり、校内暴力歴のある者は17.9%である。いじめ加害の経験がある者は15.0%であるが、いじめ被害の経験がある者は23.0%と多い。

家出歴のある者は34.6%に上るが、家庭内暴力歴のある者は8.6%に止まる。

文身のある者は26.1%に上るが、そのほとんどはいたずら程度のものである。

オ 家族関係

保護者は実父母の者が42.0%、実母の者が34.1%である。

貧困家庭が26.7%に上り、保護者が無職である者も10.1%いる。

父との関係に問題がある者が40%を超え、特に父とは疎遠である者が多い。母との関係に問題がある者は半数を超え、特に母に依存している者が多い。

家族の特徴として、家族の指導力が欠如している者が60%を超え、親の離婚がある者は半数、家族間葛藤のある者が約40%、家族からの虐待のある者が10%を超えるなど、問題を抱える家庭が多く、中でも複数の問題を抱える家庭が多い。

保護者との面会・通信の状況では、通信よりも面会の方が盛んに行われており、約90%の者は保護者との面会が少なくとも1回あり、5回以上面会のある者も多い。一方、面会・受信とも0回の者も8.6%いる。

カ 適応状況等

教育程度では、高校中退の者が約30%を占める。

職業は、学生が37.2%、有職者が35.9%、無職者が26.8%である。

学校に在学中の者（1,333名）の学校適応の状況を見ると、怠学のある者、学業成績が下位のものが大部分であり、学校生活への意欲がある者は半数に止まる。

約30%の者は同級生や教師との関係に問題があり、学校内での問題行動が見られ

る者が42.6%、校内で非行のある者も19.3%を占める。また、ほとんどの者が進路については不明確である。

有職者(1,247名)の職場適応の状況を見ると、87.1%の者は就労意欲があり、就業状況に問題のある者は24.5%に止まる。同僚や上司との関係に問題のある者は10%を切り、職場内での犯罪経験がある者はごくわずかであるが、犯罪性のある同僚との関係がある者も16.1%と一定数いる。就業期間は半年以下の者が全体の66.1%を占め、就労目標・計画は不明確である者が多い。

親しい友人グループは遊び仲間である者が多いが、不良集団である者も10%を超える。

学生は学校適応に問題のある者が多く、進路も不明確である。有職者の職場適応は良いものの、就業期間が短く、就労目標・計画も不明確であり、安定した就労生活を送っているとは言い難い。

キ 精神状況・身体状況

精神障害がある者は6.4%であり、診断名は知的障害のほか、発達障害の者が多い。医療措置が必要である者は15.0%である。

知能指数は90~99が最も多く、分布はやや低い方に偏っている。

個別式知能検査を実施された者は552名であり、知能指数は80~89の者が多い。

ク 鑑別判定等

鑑別判定は、在宅保護(保護観察)が44.3%を占め、次いで収容保護(中等・長期)(26.4%)、収容保護(中等・一般短期)(12.5%)の順に多い。

審判決定等は、保護観察が49.7%と半数近く、次いで中等少年院(長期)送致(16.2%)、試験観察(在宅)(11.3%)、中等少年院(一般短期)送致(6.5%)の順に多い。

鑑別判定と審判決定等を比べると、保護観察については判定と決定の一致率が高い。

しかし、収容保護判定については決定との一致率が低く、特に少年院送致(一般短期)判定の者は、少年院送致(一般短期)、保護観察、試験観察(在宅)の決定となる者がそれぞれ3分の1ずつである。また、少年院送致(長期)判定では、少年院送致(長期)となる者は約半数であり、残る半数は保護観察、試験観察(在宅)、少年院送致(一般短期)決定となっている。

ただし、特別少年院送致、医療少年院送致については判定と決定の一致率が高い。

前回鑑別判定を行った者では、保護観察判定の者が最も多く、次いで中等・長期、初等・長期となっている。前回の審判決定等は保護観察が最も多く、次いで試験観察(在宅)、中等・長期となっている。

(2) 平成20年少年鑑別所退所者の特質~年齢層ごとの比較

対象者を年齢によって年少少年(15歳以下)、中間少年(16歳・17歳)、年長少年(18

歳・19歳)に分けたところ、各年齢層について以下の特徴が明らかになった。

ア 年少少年の特質

① 基本属性

15歳以下の年少少年は834名(23.6%)である。

年少少年では女子が13.4%と、他の年齢層と比べてやや多い。

② 非行の態様

主非行名では、窃盗、傷害に次いでぐ犯、恐喝、暴行が多く、粗暴犯が多い。

非行の動機は、「かっとなって」、「お金や物が欲しくて」、「遊び」、「乗りたくて」の順に多く、衝動的に非行に及んでいる者が多いものと考えられる。

被害の状況では、身体的被害は1月未満が多く、経済的被害では10万円以下がほとんどである。

被害者と面識のある者が他の年齢層と比べて多い。共犯者の種類では遊び仲間
に次いで学校仲間が多く、共犯の中での役割は同格が半数を占める。

本件非行別に非行の態様を見ると、窃盗では動機が「お金や物が欲しくて」に
次いで「乗りたくて」が多く、乗り物盗の割合が高いものと見られる。

傷害では被害者と面識のある者がほとんどであり、その年齢は少年が多い。単
独で事件を起こしている者が多く、身体的被害の程度は1月未満の比較的軽い者
が多い。

非行名が道路交通法違反である者は24名と少ないが、その非行の態様を見ると、
他の年齢層と比べて単独犯が多く、共犯者とは同格の者が半数を占める。

③ 処分歴

少年鑑別所に初回入所の者が85.7%を占め、保護観察歴のある者は12.2%、少
年院送致歴のある者は0.8%に止まり、保護処分歴のある者は他の年齢層と比べ
て少ない。

処分歴のある者は少ないが、処分を受けている者については、再非行期間が短
いことが特徴である。

非行初発年齢は14歳、13歳、15歳であり、非行が始まって間もない者が多い。

非行の範囲は、財産犯が74.3%、粗暴犯が53.0%の者にあるが、交通犯罪は他
の年齢層と比べて少ない。

④ 問題行動歴

不良集団関係を見ると、不良集団に所属している者が半数を超える。不良生
徒・学生集団に所属したことがある者は半数近く、37.7%は半年以内に所属して
いる。次いで地域不良集団に所属している者が多いが、暴走族に所属している者
は少ない。

薬物使用状況を見ると、全般的に薬物使用歴のある者は他の年齢層と比べて少
ないが、有機溶剤に限っては、半年以内に使用している者の割合が他の年齢層と

同程度である。

問題行動歴を見ると、万引き歴のある者が他の年齢層と比べて多く、その大部分が半年以内に行っている。暴走行為歴のある者は少なく、暴走族所属率の低さと関連しているものと思われる。

不登校歴のある者が半数を超え、35.8%は半年以内に不登校の経験がある。また、校内暴力のある者も他の年齢層と比べて多く、学校内での問題行動が目立つ。

家出歴のある者は40%近く、半年以内に行った者が24.1%を占めること、家庭内暴力のある者が6.2%であることから、他の年齢層と比べて半年以内に家庭内で問題を起こしている者が多いと言える。

⑤ 家族関係

家族と同居している者が90%を超えている。保護者は実母のみの者が最も多く、実父母の割合は低い。母との関係に何らかの問題がある者が60.5%に上り、問題の種類では依存が多い。

家族の特徴では、複数の項目に該当する者が多いが、中でも、家族の指導力が欠如している者が67.7%に上り、親の離婚がある者も61.7%を占める。また、家族からの虐待のある者が15.4%と他の年齢層と比べてやや多い。

保護者の面会回数は5回以上である者が多い。

家族関係では、指導力の欠如した家庭に育っている者が多く、保護者との関係に問題がある者も多いなど、家庭の問題が大きいことがうかがえる。

⑥ 適応状況等

教育程度では中学在学が最も多く、次いで高校在学、中学卒業となっている。

中学・高校に在学している者の学校適応の状況を見ると、学校生活への意欲がある者は40.9%に止まり、怠学のある者、学業成績が下位である者がほとんどである。

同級生との関係、教師との関係に問題がある者は半数を超え、校内で問題行動のある者、校内で非行のある者も多い。進路は不明確な者が多い。

学校では問題行動が多く、同級生や教師との関係にも問題があるなど、学校内で不適応となっている者が半数以上である。

職業は学生の者が81.6%を占め、無職者が10.4%、有職者は8.0%と少ない。

有職者の職場での適応状況を見ると、就労意欲がある者が多く、職場の人間関係にも問題がなく、適応状況は良いと言える。ただし、中学卒業後間もないことから、就業期間は3月以内の者がほとんどであり、長期的な適応状況は不明である。

⑦ 精神状況・身体状況

精神障害ありとされた者の精神科診断名では、注意欠陥／多動性障害、知的障害、広汎性発達障害との診断が多い。

新田中B式知能検査による知能指数の分布を見ると、他の年齢層と比べてやや低い方に偏っている。

⑧ 鑑別判定等

鑑別判定は在宅保護が最も多く、次いで収容保護（初等・長期）、収容保護（児童自立支援施設等送致）、収容保護（初等・一般短期）となっている。

審判決定等は保護観察が最も多く、次いで試験観察（在宅）、初等少年院（長期）送致、児童自立支援施設送致となっている。

イ 中間少年の特質

① 基本属性

16歳・17歳の中間少年は1,486名（42.1%）である。

② 非行の態様

主非行名では、窃盗、道路交通法違反、傷害が多く、他の年齢層と比べて道路交通法違反の割合が高い。

共犯関係では、単独犯の者が少なく、4人以上の集団非行が多くなっている。

本件非行別に非行の態様を見ると、傷害では被害者が少年である者の割合が高く、道路交通法違反では、共犯が4人以上の集団非行が他の年齢層と比べて多い。

③ 処分歴

保護処分歴、刑事処分歴では目立った特徴は見られない。

前回処分のある者は全体の半数であり、再非行期間は1年以内、6月以内が多い。

非行初発年齢は14歳、15歳、16歳の順に多く、中学時代から非行が始まった者が多い。

非行の範囲では、交通犯罪により警察補導以上の処分を受けた者が半数を超え、他の年齢層と比べて多い。

④ 問題行動歴

不良集団関係では、地域不良集団、暴走族に所属歴のある者が他の年齢層と比べて多く、そのほとんどは半年以内に所属している。

薬物使用歴のある者は12.4%に上り、6.9%は半年以内に薬物を使用している。いずれの薬物についても、年少少年よりは使用率が高いが、年長少年よりは使用率が低い。

問題行動歴を見ると、無免許運転歴のある者が他の年齢層と比べて多く、暴走行為歴のある者、半年以内に行っている者も多い。

⑤ 家族関係

家族関係については、全体の傾向とおおむね一致しており、目立つ特徴はない。

⑥ 適応状況等

教育程度では、高校中退、高校在学、中学卒業がほぼ同じ割合となっている。

学校に在学中の者の学校適応の状況を見ると、学校生活に意欲のある者が半数を超えるが、怠学のある者も半数を超える。学業成績下位の者が約70%を占める。同級生との関係に問題のある者は20.1%いるが、教師との関係に問題のある者は14.9%である。校内で問題行動のある者は25.7%と少なく、校内で非行のある者は8.3%に止まる。

職業では有職者、学生、無職者がほぼ同じ割合となっている。

有職者の職場適応を見ると、就労意欲のある者、就業状況に問題のない者が多く、職場内での犯罪は少なく、職場の人間関係にも問題のない者がほとんどである。就業期間は半年以内の者が多いものの、有職者の3分の1は半年以上同じ職場で稼働している。

親しい友人グループは、不良集団である者の割合が他の年齢層と比べて高い。

⑦ 精神状況・身体状況

精神障害ありとされた者の精神科診断名では注意欠陥／多動性障害が最も多く、次いで知的障害、広汎性発達障害が多い。

知能指数は、90～99をピークとして、おおむね左右にバランス良く分布している。

⑧ 鑑別判定等

鑑別判定は在宅保護（保護観察）が最も多く、収容保護（中等・長期）が全体の3分の1を占め、次いで収容保護（中等・一般短期）が多い。

審判決定等は保護観察が半数を超え、次いで中等少年院（長期）送致が20.3%、試験観察（在宅）が11.4%である。

ウ 年長少年の特質

① 基本属性

18歳・19歳の年長少年は1,209名（34.3%）である。

② 非行の態様

主非行名では、窃盗、傷害、道路交通法違反に次いで恐喝、覚せい剤取締法違反が多い。

非行の態様では、被害者の年齢が少年である者が他の年齢層と比べてやや少なく、共犯者に成人が含まれる者が多い。

非行名別に非行の態様を見ると、窃盗では非行の動機は「お金や物が欲しくて」が大部分で、「乗りたくて」はごく少数であり、他の年齢層と比べて乗り物盗の割合が低い。被害者関係では被害者と面識のある者が他の年齢層と比べて多い。共犯関係では単独犯が多く、共犯者に成人を含む者が3分の1を占め、共犯内では主導的な役割である者が他の年齢層と比べてやや多い。

傷害では被害者と面識のない者が多く、被害者の年齢は成人である者が30%を超える。また、共犯のいる者のうち4分の1には、成人の共犯がいる。

道路交通法違反では共犯数が4人以上、不特定多数といった集団での非行が多い。共犯内の役割では主導的である者が他の年齢層と比べて多く、成人の共犯がいる者も多い。

③ 処分歴

初回入所の者が66.1%であり、残る3分の1は再入所である。処分歴はいずれも他の年齢層と比べて多く、保護観察歴のある者は40.2%、少年院送致歴のある者は15.2%に上る。ただし、再非行期間は2年を超える者や、6月を超え1年以内である者が多く、多くの者は前回処分から一定期間経っている。

非行初発年齢は14歳、15歳、18歳の者が多く、中学時代に非行が始まった者と、年長になってから非行が始まった者とに分かれる。

非行の範囲では、凶悪犯、薬物犯により警察補導以上の処分を受けたことがある者が他の年齢層と比べて多い。

④ 問題行動歴

不良集団関係では、暴力団、その他の不良集団に所属している者が他の年齢層と比べて多いものの、半年以内に不良集団に所属している者は30%を切り、特に暴走族については所属歴はあるが半年以内には所属していない者の割合が高い。

薬物使用歴のある者、半年以内に使用している者は薬物の種類を問わず他の年齢層と比べて多いが、有機溶剤を半年以内に使用している者の割合は他の年齢層と同程度である。

問題行動歴を見ると、無免許運転歴のある者は半数を超えるが、半年以内に行っている者は少ない。他の問題行動についても、経験のある者の割合は中間少年と同程度かそれよりも低い項目がほとんどである。また、不登校、校内暴力等の学校内での問題行動があった者は他の年齢層と比べて少なく、学校適応は良好であった者が多いことがうかがえる。一方で、本格的な文身のある者が11.1%おり、不良文化の取り入れの進んだ者もいる。

⑤ 家族関係

家族と同居している者が他の年齢層と比べて少なく、アパート・下宿・間借り・寮で生活している者、同棲している者が多くなっている。

親との関係では、母との関係に問題がある者が半数であり、特に母と疎遠である者が多い。

家族の特徴については他の年齢層と比べて大きな差は見られない。

保護者の面会は1回の者が多く、他の年齢層と比べて面会回数が少ない。また、面会・通信ともに0回の者も11.6%いる。

⑥ 適応状況等

教育程度は高校中退が40.9%を占める。

学生は174名と少なく、高校に在学している者がほとんどである。

学校適応の状況を見ると、学校生活に意欲を持っている者が73.4%、怠学のある者は48.2%と、他の年齢層と比べて学校生活に意欲的に取り組んでいる者が多い。学校内の人間関係も問題のない者が多く、特に教師との関係に問題のある者は6.5%に止まる。進路についても、どちらかといえば明確である者が3分の1を占め、他の年齢層と比べて進路が明確な者が多くなっている。

職業は有職者が半数であるが、次いで無職者が多く、全体の3分の1を超える。

職場適応の状況はおおむね良好であるが、18.2%の者に犯罪性のある同僚との付き合いがあり、職場内での犯罪経験がある者も4.0%いるなど、他の年齢層と比べて職場での関係が非行に結びつく者が多いと言える。また、就業期間は中間少年と変わらず3月以内、半年以内の者が多い。

⑦ 精神状況・身体状況

精神障害ありとされた者の精神科診断名では知的障害が最も多く、他の年齢層と比べて発達障害との診断が少ない。

新田中B式知能検査による知能指数は90～99の者が多く、他の年齢層と比べると高い方に偏った分布である。

⑧ 鑑別判定等

鑑別判定は在宅保護（保護観察）が最も多く、収容保護（中等・長期）が全体の3分の1を占め、次いで収容保護（中等・一般短期）が多い。

審判決定等は保護観察が半数近く、次いで中等少年院（長期）送致が21.1%、試験観察（在宅）が9.0%である。

鑑別判定、審判決定等では中間少年と大きく異なるところはなく、保護不適（検察官送致）判定の者、検察官送致決定の者はいずれもわずかである。

3 低年齢少年調査の分析結果

平成19年に少年鑑別所を退所した14歳未満の者113名について、非行の態様、処分歴、問題行動歴、家族関係、適応状況、精神状況・身体状況、鑑別判定等を詳しく調査した結果、14歳未満の低年齢少年の特質について以下のことが明らかになった。

(1) 低年齢少年の特質

ア 基本属性

性別は男子が92名、女子が21名である。

年齢は11歳から13歳であり、13歳の者が85.0%を占める。

イ 非行の態様

非行名はぐ犯が41.6%を占める。

非行の動機は「お金や物が欲しくて」、「いやなことから逃げたくて」、「かっとなって」、「遊び」といった衝動的なものが多い。

被害の状況を見ると、身体的被害は1月未満の軽傷の者がほとんどであり、経済

的被害は1万円以上10万円未満が半数を超えており、比較的被害の程度が軽い者が多い。ただし、傷害致死で被害者が死亡している者も1名いる。

被害者との関係では面識のある者が多い。

共犯関係は単独犯の者が60%を占め、共犯数も2人、3人といった少人数の者が主である。共犯の種類では遊び仲間や学校仲間が多く、共犯の中での役割は同格、従属が多い。

ウ 処分歴

少年鑑別所には初回入所の者が90%を超え、保護観察歴、少年院送致歴のある者はおらず、処分歴のない者がほとんどである。しかし、児童自立支援施設送致歴のある者、知事・児童相談所長等送致歴のある者は10%近くいる。

非行初発年齢は12歳、13歳が主であり非行歴の短い者が多いが、財産犯、粗暴犯により警察補導以上の取扱いを受けたことのある者は半数を超えており、短期間のうちに非行が進んでいる者が多いと考えられる。

エ 問題行動歴

不良集団に所属している者は全体の半数を超え、そのほとんどは不良学生・生徒集団に所属している。不良集団内の立場は、周光的である者が多い。

薬物使用歴のある者は15.9%であり、有機溶剤使用歴のある者が多い。

問題行動歴では約70%の者に万引き、喫煙、深夜徘徊の経験があり、その多くは半年以内に行っている。

半数を超える者が半年以内に不登校の経験があり、いじめや校内暴力のあった者も30%を占めるなど、学校内での問題行動は多い。

家庭においても、家出経験のある者が60%近く、家庭内暴力歴のある者が20%を超えるなど、多くの者が問題行動を起こしている。

オ 家族関係

保護者は実母のみの者が半数を超え、実父母率は低い。

保護者が無職である者が20%を超え、貧困家庭が30%を超えている。

母との関係に問題のある者は80%近く、父との関係に問題のある者も半数を超える。問題の種類では疎遠と並んで「その他の問題」が多く、対立・依存・疎遠という区分には当てはまらない複雑な問題を抱える者が多いものと推察される。

家族の特徴を見ると、指導力欠如、離婚は大半の者に該当しており、家族間葛藤のある者、家族に犯罪者・非行者がいる者も多い。また、家族からの虐待のある者は30%を超える高い割合である。少なくとも1項目に該当する者は90%を超えており、家庭環境に問題を抱える者が多いと言える。

保護者との面会・通信の状況では、面会が盛んに行われており、5回以上面会を実施している者が多い。

カ 適応状況等

教育程度は中学在学がほとんどであるが、小学在学の者も10名(8.8%)いる。

学校適応の状況では、学校生活への意欲がない者、怠学のある者、学業成績が下位の者がほとんどであり、校内で問題行動を起こしている者も75%に上る。60%を超える者は同級生や教師との関係に問題があり、行動面においても対人関係面においても、低年齢少年の学校適応は悪い。

キ 精神状況・身体状況

精神障害ありとされた者は12名(10.6%)と多い。診断名では広汎性発達障害、注意欠陥/多動性障害、行為障害が多い。

新田中B式知能検査による知能指数は70~79が中心である。全体の約半数が個別式知能検査を実施されており、個別式知能検査の結果は80~89を中心に分布している。個別の査定によって知能指数の上がる者は多いものの、全般的には平均以下の知的能力の者が多いと考えられる。

医療措置の必要な者は20名(17.7%)に上る。

ク 鑑別判定等

鑑別判定は収容保護(児童自立支援施設等送致)が99名で87.6%を占める。

審判決定等は児童自立支援施設送致が81名(71.7%)で最も多い。

鑑別判定で児童自立支援施設送致とされた者のうち77名(77.8%)は児童自立支援施設等送致決定であるが、13名(13.1%)は試験観察(在宅)となっている。

(2) 低年齢少年の特質~児童自立支援施設送致判定者に関する分析

鑑別判定で児童自立支援施設送致とされた者のうち、実際に児童自立支援施設送致決定となった者とそうでない者の特質にどのような違いがあるのかを明らかにするため、鑑別判定で児童自立支援施設送致とされ、実際に児童自立支援施設送致決定となった者77名(児童自立支援施設送致群)と、鑑別判定で児童自立支援施設送致とされ、審判決定で児童自立支援施設送致とならなかった者22名(その他決定群)について群別に集計を行ったところ、両者について以下の特徴が明らかになった。

ア 基本属性

性別は、児童自立支援施設送致群で女子が多い。

年齢は、その他決定群の方がやや低い。

イ 非行の態様

児童自立支援施設送致群の非行名はく犯の者の割合が高く、次いで窃盗が多い。被害の状況では、被害金額が高く、被害者は親族、遊び仲間、不良仲間といった親しい者が多い。

その他決定群の非行名は傷害の者が多いが、身体的被害の程度はいずれも軽い。

共犯関係では、児童自立支援施設送致群では単独犯が多く、その他決定群では共犯のある者が多い。

ウ 処分歴

その他決定群は児童自立支援施設送致群と比べて少年鑑別所に再入所の者が多く、児童自立支援施設送致歴のある者も多い。

両群とも財産犯、粗暴犯により警察補導以上の取扱いを受けた者が多いほか、児童自立支援施設送致群では交通事犯により、その他決定群では性犯罪により警察補導以上の取扱いを受けた者が多い。

エ 問題行動歴

不良集団関係では、児童自立支援施設送致群で不良集団に所属している者が多く、特に地域不良集団へ所属する者の割合で、その他決定群との差が大きい。児童自立支援施設送致群では暴走行為歴のある者が多いことも特徴的であり、交通事犯により警察補導以上の取扱いを受けた者が多いことと一致している。

薬物使用関係では、児童自立支援施設送致群で、薬物使用歴のある者、半年以内の薬物使用がある者が多い。

児童自立支援施設送致群では自傷歴のある者が多い。

不登校歴のある者、半年以内に不登校の経験がある者ともに、児童自立支援施設送致群の方がその他決定群よりも多い。

家庭内での問題行動（家庭内暴力、家財持ち出し、家出）のある者はいずれも児童自立支援施設送致群で多い。

オ 家族関係

児童自立支援施設送致群では、家庭の生活程度が貧困である者が多い。また、父との関係、母との関係ともに問題のある者が多く、問題の種類は疎遠、その他が多い。保護者との面会回数が0回という者も10%を超える。家族の特徴では、経済的困窮、家族間葛藤、犯罪・非行者の存在、虐待といった問題のある者が多く、これらの問題を複数抱える者も多い。

その他決定群では、保護者が実母のみである者が多く、施設に在所している者も多い。そのため、父との関係は疎遠である者が多い。一方、母との関係では疎遠、対立、依存の問題のある者がそれぞれ同程度いる。

カ 適応状況等

児童自立支援施設送致群では、学校内での問題行動がある者、学校生活への意欲がない者、教師との関係に問題がある者が多く、学校適応の状況は悪い。また、その他決定群と比べて学校仲間と親しい者の割合が低く、不良集団と親しい者が多い。

キ 精神状況・身体状況

児童自立支援施設送致群では、知的障害や発達障害のある者がその他決定群と比べて多く、医療措置を必要とする者の割合も高い。

V 考察

本研究では、鑑別統計資料の分析を実施するとともに、少年鑑別所入所者に関する大規模な調査を実施し、少年鑑別所入所少年の年齢層ごとの特質を明らかにした。また、少年鑑別所に入所した14歳未満の少年に関して調査を実施し、その実態を把握した。

1 少年鑑別所入所少年の年齢層ごとの特徴

(1) 年少少年の特質

鑑別統計資料の分析から、15歳以下の年少少年については、年齢が低いため処分歴のない者がほとんどであり、不良交友の範囲も学校内に止まっている者が多いことが分かった。一方で、家庭環境では実父母率が低く、鑑別判定で収容保護の者が多いことから、年少少年には要保護性の高い者の多いことがうかがえる。

調査結果からは、年少少年は処分歴のない者が多く、非行が始まって間もない者が多いことが分かった。衝動的に非行に及んでいる者が多く、顔見知りの相手に対してかっとなって起こした傷害事件が特徴的である。また、実父母率の低さに加えて、多くの少年において家庭の指導力の欠如や保護者との関係不良が見られ、家庭環境に恵まれない者が多い。年少少年の非行の範囲は狭く、不良交友も学校内に止まる者が多いものの、学校や家庭において問題行動を頻発させており、その背景には家庭の問題があると考えられる。

(2) 中間少年の特質

鑑別統計資料の分析から、16歳・17歳の中間少年では、約半数が不良集団に所属していること、共犯者のいる者が約70%を占めることが明らかになっており、不良仲間の影響を受けて非行に及んだ者が多いことが推察される。

調査結果では、中間少年は有職者、無職者、学生の割合がほぼ同じであり、その適応状況を見ると、学生の学校適応、有職者の職場適応ともに目立った問題はないと判断されている。ただし、有職者では就業期間が短い者が多いことから、今後も良好な適応状況を維持し、職場に定着できるかどうか重要な問題であると思われる。また、中間少年の特徴として、地域不良集団や暴走族に所属する者が多く、集団で非行に及ぶ者が多いこと、無免許運転や暴走行為といった交通犯罪を行う者が多いことも挙げられる。

なお、中間少年は、処分歴や問題行動歴については全体の傾向とおおむね一致していた。中間少年は全体の40%を占めていることに加え、処分歴や問題行動歴は年少、中間、年長の順に増えていることから、中間少年の値が平均値に近くなったものと考えられる。

(3) 年長少年の特質

鑑別統計資料の分析から、18歳・19歳の年長少年では、処分歴のある者が多いことが分かった。ただし、中間少年と比べると処分歴のある者は多いものの、鑑別判定・審判決定で少年院送致となる者の割合は中間少年と変わらないことから、年長少年の中には非行を繰り返し、公的な処分を何度も受けるような非行性の進んだ者が一定数いる一方で、それほど非行性が進んでおらず社会内処遇の可能な者も多いものと考えられる。

調査結果からも、年長少年は他の年齢層と比べて処分歴のある者が多く、非行初発年齢は14歳、15歳の者が多いことが明らかになった。また、暴力団に所属する者、本格的な文身のある者など、非行性のかなり進んだ一群の者もいて、年長少年は一見すると、早くから非行を繰り返している、非行性の進んだ者のようにも思われる。

しかし、詳しく問題行動歴を見ると、年長少年の問題行動の経験率は中間少年と同程度であり、中間少年と比べると半年以内に問題行動が多発している者は少ない。また、再非行期間が比較的長く、前回処分から今回の非行まで2年以上が経過している者も多いことから、年長少年は初発以来非行を繰り返しているというよりも、中学以降に非行が始まり、処分を受けてしばらく沈静化していたが今回再発したという者が多いと考えられる。さらに、学校適応が比較的良好であった者も多く、非行初発年齢が18歳、19歳という遅発型の者も一定数いる。

ここで年長少年の社会内の適応状況を見ると、有職者では現在の職場において目立った問題はないものの就業期間が短い者が多いことから、高校を中退して仕事を始めたばかりの者や職場を転々としている者が多いものと推察される。

これらの結果から、中学以降に非行が始まり、処分を受けてしばらく非行が収まっていたものの、中学校や高校といった枠組みがなくなり不安定な就労生活を送る中で再び非行に及ぶという年長少年の一群も浮かんでくる。

年長少年については、本件非行において成人の被害者や共犯者のいる者が多いこと、家族関係では両親と同居している者が少なく、少年鑑別所中での面会・通信も頻繁には行われないうように、家庭・家族からは自立して生活している者が多いことなど、年長少年が大人であることを示す指標もあったが、今回の調査では、多くの項目について年長少年と中間少年の間の質的な差は認められなかった。

2 低年齢少年の特徴

14歳未満の低年齢少年に関する調査の結果から、下記の特徴が明らかになった。

非行の態様は、面識のある被害者に対する衝動的な非行が多く、生活・行動空間が狭い段階に止まっていることを示している。処分歴のない者がほとんどであり、非行が初発してから間もないが、その一方で、財産犯や粗暴犯により警察補導以上の取扱いを受けたことがある者が多いこと、非行名にぐ犯が多いことから、短期間のうちに急激に非

行が進んでいると考えられる。また、低年齢少年の多くは家庭においても学校においても問題行動を起こしているが、その背景には資質面の問題と、環境面の問題があると推察される。

資質面においては、精神面に何らかの障害を有している者が多いことが特徴的であり、医療措置が必要な者も多いなど、その養育に当たっては精神面、身体面において特別な配慮が求められる者が多い。また、知能指数が低い者も多いが、これは資質面の問題だけでなく、周囲からの適切な方向付けが不足しているための知的開発の遅れという側面も考えられる。

家庭の状況を見ると、保護者の実父母率が低く、保護者は実母のみという者が多い中で、父母との関係に問題がある者が多い。さらに、家族の指導力の欠如、家族間葛藤、家族からの虐待といった問題を抱える者も多い。こうした困難な家庭環境や資質面の問題を背景として家庭や学校において問題行動に及び、それに対して適切な指導が得られないために非行が進んでいる可能性も指摘できる。そして、こうした資質面の特徴と家庭環境、学校適応等を勘案し、低年齢少年に対する処分として児童自立支援施設送致が選択されているものと考えられる。

また、鑑別判定において児童自立支援施設等送致となった者のうち、児童自立支援施設送致の審判決定となった者とそれ以外の審判決定となった者を比較したところ、児童自立支援施設送致決定となった者は、そうでない者と比べて家庭環境に多くの問題があり、本人自身も家庭内で問題行動を起こしていることが分かった。また、児童自立支援施設送致となった者は学校での適応状況が悪く、不良集団との関わりを持ち、親しく交わる中で非行の範囲を広げている者が多いと言える。

これらの特徴を踏まえると、低年齢少年に対しては、精神面に何らかの障害を有している可能性も視野に入れた精密な資質鑑別が求められる。また、被虐待をはじめとして家族との関係に問題のある者については、少年鑑別所においても情緒面に十分に配慮した処遇が必要と考えられる。

VI 展望

本研究により、少年鑑別所入所少年の特質について年齢層ごとに何点かの特徴を明らかにすることができた。特に、年長少年の特質についてはこれまであまり注目されていなかっただけに、年齢層ごとの比較は資料として価値があるものと考えられる。本研究においては、年長少年と中間少年の間に大きな質的差異は認められなかったが、そもそも年齢は連続的なものであるため、年長少年の特徴をより明確にするためには、年長少年と20歳・21歳の若年成人との比較を行い、年長少年の特質が中間少年と若年成人のどちらに近いかといった観点から検討することも必要があり、今後の課題としたい。

付 記

本研究の実施に当たり、調査研究に御協力を賜った法務省矯正局をはじめ矯正施設の各位に対し、心から謝意を表します。

参考文献

- 向野里子 2007 低年齢少年の特性及び処遇の在り方について 平成18年度法務研究
法務総合研究所 2001 年少少年の非行 研究部報告13

表1-1 年齢（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
11	4 0.0%	1 0.1%	5 0.0%	0 0.0%	5 0.0%
12	10 0.1%	2 0.1%	10 0.1%	2 0.5%	12 0.1%
13	78 0.6%	18 1.0%	93 0.6%	3 0.7%	96 0.6%
14	1,135 8.4%	233 13.5%	1,343 9.1%	25 6.1%	1,368 9.0%
15	1,890 14.0%	345 20.0%	2,188 14.8%	47 11.5%	2,235 14.7%
16	2,641 19.6%	363 21.1%	2,942 19.9%	62 15.1%	3,004 19.7%
17	2,827 21.0%	308 17.9%	3,073 20.8%	62 15.1%	3,135 20.6%
18	2,503 18.6%	234 13.6%	2,640 17.8%	97 23.7%	2,737 18.0%
19	2,405 17.8%	218 12.7%	2,511 17.0%	112 27.3%	2,623 17.2%
合計	13,493 100.0%	1,722 100.0%	14,805 100.0%	410 100.0%	15,215 100.0%
平均	16.79	16.32	16.72	17.17	16.73

表1-2 事件種別（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
一般	11,637 86.2%	1,660 96.4%	12,927 87.3%	370 90.2%	13,297 87.4%
交通	1,856 13.8%	62 3.6%	1,878 12.7%	40 9.8%	1,918 12.6%
合計	13,493 100.0%	1,722 100.0%	14,805 100.0%	410 100.0%	15,215 100.0%

表1-3 非行名（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
窃盗	5,235 38.8%	425 24.7%	5,501 37.2%	159 38.8%	5,660 37.2%
傷害	2,180 16.2%	288 16.7%	2,421 16.4%	47 11.5%	2,468 16.2%
道路交通法	1,657 12.3%	53 3.1%	1,679 11.3%	31 7.6%	1,710 11.2%
恐喝	864 6.4%	74 4.3%	921 6.2%	17 4.1%	938 6.2%
ぐ犯	330 2.4%	363 21.1%	682 4.6%	11 2.7%	693 4.6%
強盗致死傷	420 3.1%	24 1.4%	430 2.9%	14 3.4%	444 2.9%
その他の特別法犯	319 2.4%	37 2.1%	338 2.3%	18 4.4%	356 2.3%
その他の刑法犯	318 2.4%	30 1.7%	346 2.3%	2 0.5%	348 2.3%
覚せい剤取締法	98 0.7%	152 8.8%	227 1.5%	23 5.6%	250 1.6%
強盗	205 1.5%	15 0.9%	205 1.4%	15 3.7%	220 1.4%
暴力行為等処罰に関する法律	192 1.4%	20 1.2%	209 1.4%	3 0.7%	212 1.4%
住居侵入	203 1.5%	8 0.5%	208 1.4%	3 0.7%	211 1.4%
暴行	199 1.5%	10 0.6%	203 1.4%	6 1.5%	209 1.4%
詐欺	164 1.2%	35 2.0%	199 1.3%	0 0.0%	199 1.3%
毒物及び劇物取締法	104 0.8%	78 4.5%	180 1.2%	2 0.5%	182 1.2%
強制わいせつ・同致死傷	169 1.3%	0 0.0%	166 1.1%	3 0.7%	169 1.1%
業務上過失致死傷	128 0.9%	4 0.2%	125 0.8%	7 1.7%	132 0.9%
公務執行妨害	123 0.9%	7 0.4%	129 0.9%	1 0.2%	130 0.9%
強姦・同致死傷	89 0.7%	4 0.2%	90 0.6%	3 0.7%	93 0.6%
放火	69 0.5%	9 0.5%	76 0.5%	2 0.5%	78 0.5%
横領・背任	62 0.5%	9 0.5%	70 0.5%	1 0.2%	71 0.5%
盗品等関係	52 0.4%	1 0.1%	51 0.3%	2 0.5%	53 0.3%
銃砲刀剣類所持等取締法	47 0.3%	3 0.2%	48 0.3%	2 0.5%	50 0.3%
殺人	38 0.3%	8 0.5%	45 0.3%	1 0.2%	46 0.3%
自動車運転過失致死傷	44 0.3%	2 0.1%	45 0.3%	1 0.2%	46 0.3%

麻薬及び向精神薬取締法	19	14	32	1	33
	0.1%	0.8%	0.2%	0.2%	0.2%
傷害致死	21	5	25	1	26
	0.2%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%
脅迫	21	5	26	0	26
	0.2%	0.3%	0.2%	0.0%	0.2%
わいせつ・わいせつ文書頒布等	20	3	22	1	23
	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%
出入国管理及び難民認定法	10	12	0	22	22
	0.1%	0.7%	0.0%	5.4%	0.1%
文書偽造・有価証券偽造等	16	3	15	4	19
	0.1%	0.2%	0.1%	1.0%	0.1%
児童福祉法	13	5	18	0	18
	0.1%	0.3%	0.1%	0.0%	0.1%
危険運転致死傷	14	1	14	1	15
	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%
売春防止法	3	11	14	0	14
	0.0%	0.6%	0.1%	0.0%	0.1%
犯人蔵匿・証拠隠滅	12	1	12	1	13
	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%
略取・誘拐	9	0	9	0	9
	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
決闘罪に関する件	8	0	4	4	8
	0.1%	0.0%	0.0%	1.0%	0.1%
重過失致死傷	4	1	4	1	5
	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%
強盗強姦・同致死	5	0	5	0	5
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
軽犯罪法	4	0	4	0	4
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職業安定法	2	1	3	0	3
	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
通貨偽造	2	0	2	0	2
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
逃走	1	0	1	0	1
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
賭博・富くじ	0	1	1	0	1
	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	13,493	1,722	14,805	410	15,215
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表1-4 入所回数（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
1	9,579 71.0%	1,385 80.4%	10,665 72.0%	299 72.9%	10,964 72.1%
2	2,515 18.6%	241 14.0%	2,679 18.1%	77 18.8%	2,756 18.1%
3	851 6.3%	68 3.9%	895 6.0%	24 5.9%	919 6.0%
4	318 2.4%	22 1.3%	332 2.2%	8 2.0%	340 2.2%
5	130 1.0%	5 0.3%	134 0.9%	1 0.2%	135 0.9%
6	49 0.4%	1 0.1%	50 0.3%	0 0.0%	50 0.3%
7	31 0.2%	0 0.0%	31 0.2%	0 0.0%	31 0.2%
8	15 0.1%	0 0.0%	15 0.1%	0 0.0%	15 0.1%
9	5 0.0%	0 0.0%	4 0.0%	1 0.2%	5 0.0%
合計	13,493 100.0%	1,722 100.0%	14,805 100.0%	410 100.0%	15,215 100.0%
平均	1.46	1.27	1.44	1.39	1.44

表1-5 非行時の身上（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
該当なし	9,405 69.7%	1,352 78.5%	10,452 70.6%	305 74.4%	10,757 70.7%
1号観察中	2,495 18.5%	214 12.4%	2,658 18.0%	51 12.4%	2,709 17.8%
2号観察中	1,061 7.9%	69 4.0%	1,097 7.4%	33 8.0%	1,130 7.4%
試験観察中（補導委託）	33 0.2%	9 0.5%	42 0.3%	0 0.0%	42 0.3%
試験観察中（在宅）	204 1.5%	41 2.4%	239 1.6%	6 1.5%	245 1.6%
刑執行猶予中	3 0.0%	0 0.0%	3 0.0%	0 0.0%	3 0.0%
施設在所中	78 0.6%	23 1.3%	99 0.7%	2 0.5%	101 0.7%
不詳	214 1.6%	14 0.8%	215 1.5%	13 3.2%	228 1.5%
合計	13,493 100.0%	1,722 100.0%	14,805 100.0%	410 100.0%	15,215 100.0%

表1-6 保護観察歴（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
なし	8,886 65.9%	1,398 81.2%	9,984 67.4%	300 73.2%	10,284 67.6%
1回	3,575 26.5%	272 15.8%	3,759 25.4%	88 21.5%	3,847 25.3%
2回	720 5.3%	35 2.0%	746 5.0%	9 2.2%	755 5.0%
3回以上	92 0.7%	2 0.1%	94 0.6%	0 0.0%	94 0.6%
不詳	220 1.6%	15 0.9%	222 1.5%	13 3.2%	235 1.5%
合計	13,493 100.0%	1,722 100.0%	14,805 100.0%	410 100.0%	15,215 100.0%

表1-7 児童自立支援施設等送致歴（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
なし	8,962 66.4%	1,649 95.8%	10,220 69.0%	391 95.4%	10,611 69.7%
1回	3,505 26.0%	56 3.3%	3,556 24.0%	5 1.2%	3,561 23.4%
2回	714 5.3%	2 0.1%	715 4.8%	1 0.2%	716 4.7%
3回以上	92 0.7%	0 0.0%	92 0.6%	0 0.0%	92 0.6%
不詳	220 1.6%	15 0.9%	222 1.5%	13 3.2%	235 1.5%
合計	13,493 100.0%	1,722 100.0%	14,805 100.0%	410 100.0%	15,215 100.0%

表1-8 少年院送致歴（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
なし	11,977 88.8%	1,629 94.6%	13,247 89.5%	359 87.6%	13,606 89.4%
1回	1,103 8.2%	74 4.3%	1,142 7.7%	35 8.5%	1,177 7.7%
2回	176 1.3%	4 0.2%	177 1.2%	3 0.7%	180 1.2%
3回以上	28 0.2%	0 0.0%	28 0.2%	0 0.0%	28 0.2%
不詳	209 1.5%	15 0.9%	211 1.4%	13 3.2%	224 1.5%
合計	13,493 100.0%	1,722 100.0%	14,805 100.0%	410 100.0%	15,215 100.0%

表1-9 共犯数（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
単独	4,680	792	5,305	167	5,472
	34.7%	46.0%	35.8%	40.7%	36.0%
2人	3,012	424	3,351	85	3,436
	22.3%	24.6%	22.6%	20.7%	22.6%
3人	1,983	197	2,122	58	2,180
	14.7%	11.4%	14.3%	14.1%	14.3%
4人以上	3,225	275	3,424	76	3,500
	23.9%	16.0%	23.1%	18.5%	23.0%
不特定多数	366	15	371	10	381
	2.7%	0.9%	2.5%	2.4%	2.5%
不詳	227	19	232	14	246
	1.7%	1.1%	1.6%	3.4%	1.6%
合計	13,493	1,722	14,805	410	15,215
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表1-10 共犯種類（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
なし	4,680	792	5,305	167	5,472
	34.7%	46.0%	35.8%	40.7%	36.0%
学校仲間	1,030	104	1,117	17	1,134
	7.6%	6.0%	7.5%	4.1%	7.5%
遊び仲間	5,507	587	5,941	153	6,094
	40.8%	34.1%	40.1%	37.3%	40.1%
職場仲間	100	16	109	7	116
	0.7%	0.9%	0.7%	1.7%	0.8%
施設仲間	154	4	156	2	158
	1.1%	0.2%	1.1%	0.5%	1.0%
親族	117	40	149	8	157
	0.9%	2.3%	1.0%	2.0%	1.0%
行きずり	40	19	57	2	59
	0.3%	1.1%	0.4%	0.5%	0.4%
不良集団	1,519	67	1,556	30	1,586
	11.3%	3.9%	10.5%	7.3%	10.4%
その他	89	70	151	8	159
	0.7%	4.1%	1.0%	2.0%	1.0%
不詳	257	23	264	16	280
	1.9%	1.3%	1.8%	3.9%	1.8%
合計	13,493	1,722	14,805	410	15,215
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表1-11 不良集団関係（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
なし	7,409	1,066	8,217	258	8,475
	54.9%	61.9%	55.5%	62.9%	55.7%
不良生徒・学生集団	1,104	143	1,230	17	1,247
	8.2%	8.3%	8.3%	4.1%	8.2%
地域不良集団	3,164	390	3,481	73	3,554
	23.4%	22.6%	23.5%	17.8%	23.4%
暴走族	1,234	26	1,235	25	1,260
	9.1%	1.5%	8.3%	6.1%	8.3%
暴力団	199	49	242	6	248
	1.5%	2.8%	1.6%	1.5%	1.6%
不詳	383	48	400	31	431
	2.8%	2.8%	2.7%	7.6%	2.8%
合計	13,493	1,722	14,805	410	15,215
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表1-12 薬物使用関係（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
なし	12,320	1,373	13,367	326	13,693
	91.3%	79.7%	90.3%	79.5%	90.0%
麻薬・あへん	52	14	66	0	66
	0.4%	0.8%	0.4%	0.0%	0.4%
大麻	157	19	163	13	176
	1.2%	1.1%	1.1%	3.2%	1.2%
覚せい剤	135	156	260	31	291
	1.0%	9.1%	1.8%	7.6%	1.9%
有機溶剤	420	121	529	12	541
	3.1%	7.0%	3.6%	2.9%	3.6%
その他	111	19	125	5	130
	0.8%	1.1%	0.8%	1.2%	0.9%
不詳	298	20	295	23	318
	2.2%	1.2%	2.0%	5.6%	2.1%
合計	13,493	1,722	14,805	410	15,215
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表1-13 居住状況（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
家族と同居	11,454 84.9%	1,245 72.3%	12,419 83.9%	280 68.3%	12,699 83.5%
同棲	213 1.6%	85 4.9%	285 1.9%	13 3.2%	298 2.0%
アパート・下宿・間借り・寮	571 4.2%	79 4.6%	609 4.1%	41 10.0%	650 4.3%
住込み	83 0.6%	3 0.2%	82 0.6%	4 1.0%	86 0.6%
作業員宿舎	30 0.2%	2 0.1%	31 0.2%	1 0.2%	32 0.2%
知人宅	263 1.9%	80 4.6%	320 2.2%	23 5.6%	343 2.3%
施設	117 0.9%	49 2.8%	162 1.1%	4 1.0%	166 1.1%
不良者の居所	88 0.7%	33 1.9%	118 0.8%	3 0.7%	121 0.8%
浮浪	141 1.0%	43 2.5%	181 1.2%	3 0.7%	184 1.2%
旅館・ホテル	11 0.1%	7 0.4%	17 0.1%	1 0.2%	18 0.1%
不定	216 1.6%	67 3.9%	270 1.8%	13 3.2%	283 1.9%
その他	46 0.3%	8 0.5%	48 0.3%	6 1.5%	54 0.4%
不詳	260 1.9%	21 1.2%	263 1.8%	18 4.4%	281 1.8%
合計	13,493 100.0%	1,722 100.0%	14,805 100.0%	410 100.0%	15,215 100.0%

表1-14 保護者（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
なし	38 0.3%	4 0.2%	41 0.3%	1 0.2%	42 0.3%
実父母	5,892 43.7%	649 37.7%	6,377 43.1%	164 40.0%	6,541 43.0%
実父	1,313 9.7%	151 8.8%	1,421 9.6%	43 10.5%	1,464 9.6%
実母	4,368 32.4%	640 37.2%	4,908 33.2%	100 24.4%	5,008 32.9%
実父義母	289 2.1%	24 1.4%	296 2.0%	17 4.1%	313 2.1%
義父実母	964 7.1%	165 9.6%	1,076 7.3%	53 12.9%	1,129 7.4%
養父（母）	82 0.6%	19 1.1%	101 0.7%	0 0.0%	101 0.7%
その他	282 2.1%	49 2.8%	317 2.1%	14 3.4%	331 2.2%
不詳	265 2.0%	21 1.2%	268 1.8%	18 4.4%	286 1.9%
合計	13,493 100.0%	1,722 100.0%	14,805 100.0%	410 100.0%	15,215 100.0%

表1-15 保護者の職業（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
無職者	1,254	226	1,436	44	1,480
	9.3%	13.1%	9.7%	10.7%	9.7%
専門的・技術的職業	1,169	132	1,287	14	1,301
	8.7%	7.7%	8.7%	3.4%	8.6%
管理的職業	548	88	623	13	636
	4.1%	5.1%	4.2%	3.2%	4.2%
事務	1,024	125	1,136	13	1,149
	7.6%	7.3%	7.7%	3.2%	7.6%
販売	844	109	937	16	953
	6.3%	6.3%	6.3%	3.9%	6.3%
サービス職業	2,543	360	2,852	51	2,903
	18.8%	20.9%	19.3%	12.4%	19.1%
保安職業	132	14	145	1	146
	1.0%	0.8%	1.0%	0.2%	1.0%
農林漁業	179	8	186	1	187
	1.3%	0.5%	1.3%	0.2%	1.2%
運輸・通信	1,238	125	1,347	16	1,363
	9.2%	7.3%	9.1%	3.9%	9.0%
技能工、採掘・製造・建設 作業及び労務作業	3,664	412	3,886	190	4,076
	27.2%	23.9%	26.2%	46.3%	26.8%
不詳	898	123	970	51	1,021
	6.7%	7.1%	6.6%	12.4%	6.7%
合計	13,493	1,722	14,805	410	15,215
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表1-16 本人の職業（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
無職者（その他）	3,551 26.3%	628 36.5%	4,020 27.2%	159 38.8%	4,179 27.5%
事務	39 0.3%	8 0.5%	46 0.3%	1 0.2%	47 0.3%
販売	111 0.8%	11 0.6%	120 0.8%	2 0.5%	122 0.8%
サービス職業（調理関係）	130 1.0%	18 1.0%	142 1.0%	6 1.5%	148 1.0%
サービス職業（接客関係）	382 2.8%	178 10.3%	545 3.7%	15 3.7%	560 3.7%
サービス職業（その他）	194 1.4%	58 3.4%	245 1.7%	7 1.7%	252 1.7%
農林漁業	39 0.3%	1 0.1%	40 0.3%	0 0.0%	40 0.3%
運輸・通信	71 0.5%	0 0.0%	69 0.5%	2 0.5%	71 0.5%
技能工等（製造関係）	174 1.3%	3 0.2%	160 1.1%	17 4.1%	177 1.2%
技能工等（建設関係）	1,667 12.4%	6 0.3%	1,644 11.1%	29 7.1%	1,673 11.0%
技能工等（労務関係）	550 4.1%	10 0.6%	543 3.7%	17 4.1%	560 3.7%
技能工等（その他）	1,118 8.3%	11 0.6%	1,093 7.4%	36 8.8%	1,129 7.4%
その他の職業	346 2.6%	33 1.9%	363 2.5%	16 3.9%	379 2.5%
無職者（学生・生徒）	5,008 37.1%	743 43.1%	5,662 38.2%	89 21.7%	5,751 37.8%
不詳	113 0.8%	14 0.8%	113 0.8%	14 3.4%	127 0.8%
合計	13,493 100.0%	1,722 100.0%	14,805 100.0%	410 100.0%	15,215 100.0%

表1-17 家庭の生活程度（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
富裕	388 2.9%	60 3.5%	433 2.9%	15 3.7%	448 2.9%
普通	9,738 72.2%	1,173 68.1%	10,645 71.9%	266 64.9%	10,911 71.7%
貧困	2,979 22.1%	436 25.3%	3,324 22.5%	91 22.2%	3,415 22.4%
不詳	388 2.9%	53 3.1%	403 2.7%	38 9.3%	441 2.9%
合計	13,493 100.0%	1,722 100.0%	14,805 100.0%	410 100.0%	15,215 100.0%

表1-18 教育程度（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
小学在学	8 0.1%	2 0.1%	10 0.1%	0 0.0%	10 0.1%
小学中退	6 0.0%	0 0.0%	1 0.0%	5 1.2%	6 0.0%
小学卒業	10 0.1%	4 0.2%	1 0.0%	13 3.2%	14 0.1%
中学在学	2,183 16.2%	444 25.8%	2,577 17.4%	50 12.2%	2,627 17.3%
中学中退	44 0.3%	1 0.1%	6 0.0%	39 9.5%	45 0.3%
中学卒業	3,380 25.1%	373 21.7%	3,650 24.7%	103 25.1%	3,753 24.7%
中学その他	9 0.1%	5 0.3%	2 0.0%	12 2.9%	14 0.1%
中学不詳	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.5%	2 0.0%
高校在学	2,724 20.2%	287 16.7%	2,974 20.1%	37 9.0%	3,011 19.8%
高校中退	3,918 29.0%	476 27.6%	4,309 29.1%	85 20.7%	4,394 28.9%
高校卒業	694 5.1%	87 5.1%	757 5.1%	24 5.9%	781 5.1%
高校不詳	4 0.0%	1 0.1%	5 0.0%	0 0.0%	5 0.0%
高専在学	30 0.2%	1 0.1%	29 0.2%	2 0.5%	31 0.2%
高専中退	28 0.2%	3 0.2%	29 0.2%	2 0.5%	31 0.2%
高専卒業	5 0.0%	1 0.1%	6 0.0%	0 0.0%	6 0.0%
短大在学	12 0.1%	4 0.2%	15 0.1%	1 0.2%	16 0.1%
短大中退	2 0.0%	3 0.2%	5 0.0%	0 0.0%	5 0.0%
短大卒業	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.0%
大学在学	178 1.3%	9 0.5%	185 1.2%	2 0.5%	187 1.2%
大学中退	25 0.2%	2 0.1%	22 0.1%	5 1.2%	27 0.2%
不就学	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.5%	2 0.0%
不詳	229 1.7%	18 1.0%	222 1.5%	25 6.1%	247 1.6%
合計	13,493 100.0%	1,722 100.0%	14,805 100.0%	410 100.0%	15,215 100.0%

表1-19 精神診断（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
なし	12,564 93.1%	1,554 90.2%	13,760 92.9%	358 87.3%	14,118 92.8%
知的障害	164 1.2%	29 1.7%	191 1.3%	2 0.5%	193 1.3%
精神病質	13 0.1%	3 0.2%	16 0.1%	0 0.0%	16 0.1%
神経症	11 0.1%	10 0.6%	21 0.1%	0 0.0%	21 0.1%
その他の精神障害	386 2.9%	93 5.4%	467 3.2%	12 2.9%	479 3.1%
不詳	355 2.6%	33 1.9%	350 2.4%	38 9.3%	388 2.6%
合計	13,493 100.0%	1,722 100.0%	14,805 100.0%	410 100.0%	15,215 100.0%

表1-20 知能指数（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
59以下	139 1.0%	28 1.6%	157 1.1%	10 2.4%	167 1.1%
60～69	429 3.2%	97 5.6%	499 3.4%	27 6.6%	526 3.5%
70～79	1,388 10.3%	279 16.2%	1,606 10.8%	61 14.9%	1,667 11.0%
80～89	2,389 17.7%	428 24.9%	2,752 18.6%	65 15.9%	2,817 18.5%
90～99	3,788 28.1%	450 26.1%	4,157 28.1%	81 19.8%	4,238 27.9%
100～109	2,821 20.9%	238 13.8%	3,005 20.3%	54 13.2%	3,059 20.1%
110～119	1,023 7.6%	64 3.7%	1,067 7.2%	20 4.9%	1,087 7.1%
120以上	438 3.2%	15 0.9%	441 3.0%	12 2.9%	453 3.0%
不詳	1,078 8.0%	123 7.1%	1,121 7.6%	80 19.5%	1,201 7.9%
合計	13,493 100.0%	1,722 100.0%	14,805 100.0%	410 100.0%	15,215 100.0%

表1-21 鑑別判定（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
保護不要	36 0.3%	2 0.1%	35 0.2%	3 0.7%	38 0.2%
在宅保護（保護観察）	5,549 41.1%	697 40.5%	6,101 41.2%	145 35.4%	6,246 41.1%
在宅保護（その他）	46 0.3%	27 1.6%	71 0.5%	2 0.5%	73 0.5%
収容保護（初等・長期）	657 4.9%	109 6.3%	741 5.0%	25 6.1%	766 5.0%
収容保護（初等・一般短期）	295 2.2%	40 2.3%	333 2.2%	2 0.5%	335 2.2%
収容保護（初等・特修短期）	11 0.1%	1 0.1%	12 0.1%	0 0.0%	12 0.1%
収容保護（中等・長期）	3,073 22.8%	412 23.9%	3,387 22.9%	98 23.9%	3,485 22.9%
収容保護（中等・一般短期）	1,698 12.6%	139 8.1%	1,810 12.2%	27 6.6%	1,837 12.1%
収容保護（中等・特修短期）	59 0.4%	2 0.1%	61 0.4%	0 0.0%	61 0.4%
収容保護（特別）	74 0.5%	2 0.1%	71 0.5%	5 1.2%	76 0.5%
収容保護（医療）	70 0.5%	35 2.0%	103 0.7%	2 0.5%	105 0.7%
収容保護（児童自立支援施設等送致）	302 2.2%	106 6.2%	403 2.7%	5 1.2%	408 2.7%
保護不適（検察官送致）	204 1.5%	6 0.3%	191 1.3%	19 4.6%	210 1.4%
保護不適（その他）	5 0.0%	0 0.0%	5 0.0%	0 0.0%	5 0.0%
保留	315 2.3%	32 1.9%	331 2.2%	16 3.9%	347 2.3%
未了	940 7.0%	91 5.3%	981 6.6%	50 12.2%	1,031 6.8%
その他	159 1.2%	21 1.2%	169 1.1%	11 2.7%	180 1.2%
合計	13,493 100.0%	1,722 100.0%	14,805 100.0%	410 100.0%	15,215 100.0%

表1-22 医療措置（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
要	1,560 11.6%	345 20.0%	1,851 12.5%	54 13.2%	1,905 12.5%
不要	11,649 86.3%	1,344 78.0%	12,649 85.4%	344 83.9%	12,993 85.4%
未了	284 2.1%	33 1.9%	305 2.1%	12 2.9%	317 2.1%
合計	13,493 100.0%	1,722 100.0%	14,805 100.0%	410 100.0%	15,215 100.0%

表1-23 審判決定等（性別・国籍別）

	性別		国籍		合計
	男	女	日本	日本以外	
保護観察	6,217	728	6,788	157	6,945
	46.1%	42.3%	45.8%	38.3%	45.6%
児童自立支援施設等送致	218	79	292	5	297
	1.6%	4.6%	2.0%	1.2%	2.0%
少年院送致（初等）	559	79	622	16	638
	4.1%	4.6%	4.2%	3.9%	4.2%
少年院送致（中等）	2,976	306	3,198	84	3,282
	22.1%	17.8%	21.6%	20.5%	21.6%
少年院送致（特別）	61	1	57	5	62
	0.5%	0.1%	0.4%	1.2%	0.4%
少年院送致（医療）	66	25	89	2	91
	0.5%	1.5%	0.6%	0.5%	0.6%
知事・児童相談所長送致	46	27	71	2	73
	0.3%	1.6%	0.5%	0.5%	0.5%
検察官送致	213	9	196	26	222
	1.6%	0.5%	1.3%	6.3%	1.5%
審判不開始・不処分	133	33	125	41	166
	1.0%	1.9%	0.8%	10.0%	1.1%
観護措置の取消し	1,475	122	1,547	50	1,597
	10.9%	7.1%	10.4%	12.2%	10.5%
試験観察	1,529	313	1,820	22	1,842
	11.3%	18.2%	12.3%	5.4%	12.1%
合計	13,493	1,722	14,805	410	15,215
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表1-24 性別（性別・国籍別）

	年少	中間	年長	合計
男	3,117	5,468	4,908	13,493
	83.9%	89.1%	91.6%	88.7%
女	599	671	452	1,722
	16.1%	10.9%	8.4%	11.3%
合計	3,716	6,139	5,360	15,215
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表1-25 国籍（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
日本	3,639	6,015	5,151	14,805
	97.9%	98.0%	96.1%	97.3%
日本以外	77	124	209	410
	2.1%	2.0%	3.9%	2.7%
合計	3,716	6,139	5,360	15,215
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表1-26 事件種別（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
一般	3,578	5,020	4,699	13,297
	96.3%	81.8%	87.7%	87.4%
交通	138	1,119	661	1,918
	3.7%	18.2%	12.3%	12.6%
合計	3,716	6,139	5,360	15,215
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表1-27 非行名（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
窃盗	1,450 39.0%	2,187 35.6%	2,023 37.7%	5,660 37.2%
傷害	811 21.8%	910 14.8%	747 13.9%	2,468 16.2%
道路交通法	122 3.3%	1,056 17.2%	532 9.9%	1,710 11.2%
恐喝	251 6.8%	387 6.3%	300 5.6%	938 6.2%
く犯	386 10.4%	239 3.9%	68 1.3%	693 4.6%
強盗致死傷	89 2.4%	222 3.6%	133 2.5%	444 2.9%
その他の特別法犯	23 0.6%	70 1.1%	263 4.9%	356 2.3%
その他の刑法犯	105 2.8%	128 2.1%	115 2.1%	348 2.3%
覚せい剤取締法	9 0.2%	77 1.3%	164 3.1%	250 1.6%
強盗	42 1.1%	71 1.2%	107 2.0%	220 1.4%
暴力行為等処罰に関する法律	81 2.2%	88 1.4%	43 0.8%	212 1.4%
住居侵入	50 1.3%	84 1.4%	77 1.4%	211 1.4%
暴行	62 1.7%	69 1.1%	78 1.5%	209 1.4%
詐欺	18 0.5%	66 1.1%	115 2.1%	199 1.3%
毒物及び劇物取締法	22 0.6%	81 1.3%	79 1.5%	182 1.2%
強制わいせつ・同致死傷	48 1.3%	42 0.7%	79 1.5%	169 1.1%
業務上過失致死傷	10 0.3%	36 0.6%	86 1.6%	132 0.9%
公務執行妨害	21 0.6%	72 1.2%	37 0.7%	130 0.9%
強姦・同致死傷	20 0.5%	33 0.5%	40 0.7%	93 0.6%
放火	24 0.6%	31 0.5%	23 0.4%	78 0.5%
横領・背任	22 0.6%	28 0.5%	21 0.4%	71 0.5%
盗品等関係	10 0.3%	21 0.3%	22 0.4%	53 0.3%
銃砲刀剣類所持等取締法	8 0.2%	21 0.3%	21 0.4%	50 0.3%
殺人	10 0.3%	14 0.2%	22 0.4%	46 0.3%
自動車運転過失致死傷	3 0.1%	18 0.3%	25 0.5%	46 0.3%
麻薬及び向精神薬取締法	1 0.0%	6 0.1%	26 0.5%	33 0.2%
脅迫	3 0.1%	10 0.2%	13 0.2%	26 0.2%
傷害致死	5 0.1%	16 0.3%	5 0.1%	25 0.2%

わいせつ・わいせつ文書頒布等	2 0.1%	5 0.1%	16 0.3%	23 0.2%
出入国管理及び難民認定法	1 0.0%	3 0.0%	18 0.3%	22 0.1%
文書偽造・有価証券偽造等	0 0.0%	8 0.1%	11 0.2%	19 0.1%
児童福祉法	0 0.0%	12 0.2%	6 0.1%	18 0.1%
危険運転致死傷	1 0.0%	5 0.1%	9 0.2%	15 0.1%
売春防止法	0 0.0%	5 0.1%	9 0.2%	14 0.1%
犯人蔵匿・証拠隠滅	0 0.0%	7 0.1%	6 0.1%	13 0.1%
略取・誘拐	0 0.0%	4 0.1%	5 0.1%	9 0.1%
決闘罪に関する件	3 0.1%	4 0.1%	1 0.0%	8 0.1%
重過失致死傷	2 0.1%	0 0.0%	3 0.1%	5 0.0%
強盗強姦・同致死	1 0.0%	2 0.0%	2 0.0%	5 0.0%
軽犯罪法	0 0.0%	0 0.0%	4 0.1%	4 0.0%
職業安定法	0 0.0%	0 0.0%	3 0.1%	3 0.0%
通貨偽造	0 0.0%	0 0.0%	2 0.0%	2 0.0%
逃走	0 0.0%	1 0.0%	0 0.0%	1 0.0%
賭博・富くじ	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%	1 0.0%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-28 入所回数（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
1	3,102 83.5%	4,389 71.5%	3,473 64.8%	10,964 72.1%
2	507 13.6%	1,211 19.7%	1,038 19.4%	2,756 18.1%
3	88 2.4%	368 6.0%	463 8.6%	919 6.0%
4	12 0.3%	119 1.9%	209 3.9%	340 2.2%
5	6 0.2%	38 0.6%	91 1.7%	135 0.9%
6	1 0.0%	9 0.1%	40 0.7%	50 0.3%
7	0 0.0%	4 0.1%	27 0.5%	31 0.2%
8	0 0.0%	1 0.0%	14 0.3%	15 0.1%
9	0 0.0%	0 0.0%	5 0.1%	5 0.0%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%
平均	1.20	1.41	1.64	1.44

表1-29 非行時の身上（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
該当なし	3,017 81.2%	4,193 68.3%	3,547 66.2%	10,757 70.7%
1号観察中	410 11.0%	1,351 22.0%	948 17.7%	2,709 17.8%
2号観察中	47 1.3%	386 6.3%	697 13.0%	1,130 7.4%
試験観察中（補導委託）	7 0.2%	22 0.4%	13 0.2%	42 0.3%
試験観察中（在宅）	97 2.6%	88 1.4%	60 1.1%	245 1.6%
刑執行猶予中	0 0.0%	0 0.0%	3 0.1%	3 0.0%
施設在所中	78 2.1%	14 0.2%	9 0.2%	101 0.7%
不詳	60 1.6%	85 1.4%	83 1.5%	228 1.5%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-30 保護観察歴（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
なし	3,178 85.5%	4,040 65.8%	3,066 57.2%	10,284 67.6%
1回	458 12.3%	1,710 27.9%	1,679 31.3%	3,847 25.3%
2回	18 0.5%	293 4.8%	444 8.3%	755 5.0%
3回以上	0 0.0%	13 0.2%	81 1.5%	94 0.6%
不詳	62 1.7%	83 1.4%	90 1.7%	235 1.5%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-31 児童自立支援施設等送致歴（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
なし	3,208 86.3%	4,195 68.3%	3,208 59.9%	10,611 69.7%
1回	426 11.5%	1,569 25.6%	1,566 29.2%	3,561 23.4%
2回	20 0.5%	280 4.6%	416 7.8%	716 4.7%
3回以上	0 0.0%	12 0.2%	80 1.5%	92 0.6%
不詳	62 1.7%	83 1.4%	90 1.7%	235 1.5%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-32 少年院送致歴（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
なし	3,599 96.9%	5,595 91.1%	4,412 82.3%	13,606 89.4%
1回	55 1.5%	444 7.2%	678 12.6%	1,177 7.7%
2回	1 0.0%	18 0.3%	161 3.0%	180 1.2%
3回以上	0 0.0%	1 0.0%	27 0.5%	28 0.2%
不詳	61 1.6%	81 1.3%	82 1.5%	224 1.5%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-33 共犯数（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
単独	1,374 37.0%	1,819 29.6%	2,279 42.5%	5,472 36.0%
2人	888 23.9%	1,371 22.3%	1,177 22.0%	3,436 22.6%
3人	599 16.1%	889 14.5%	692 12.9%	2,180 14.3%
4人以上	771 20.7%	1,748 28.5%	981 18.3%	3,500 23.0%
不特定多数	19 0.5%	219 3.6%	143 2.7%	381 2.5%
不詳	65 1.7%	93 1.5%	88 1.6%	246 1.6%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-34 共犯種類（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
なし	1,374 37.0%	1,819 29.6%	2,279 42.5%	5,472 36.0%
学校仲間	723 19.5%	283 4.6%	128 2.4%	1,134 7.5%
遊び仲間	1,319 35.5%	2,800 45.6%	1,975 36.8%	6,094 40.1%
職場仲間	5 0.1%	67 1.1%	44 0.8%	116 0.8%
施設仲間	27 0.7%	18 0.3%	113 2.1%	158 1.0%
親族	29 0.8%	60 1.0%	68 1.3%	157 1.0%
行きずり	6 0.2%	27 0.4%	26 0.5%	59 0.4%
不良集団	147 4.0%	906 14.8%	533 9.9%	1,586 10.4%
その他	15 0.4%	53 0.9%	91 1.7%	159 1.0%
不詳	71 1.9%	106 1.7%	103 1.9%	280 1.8%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-35 不良集団関係（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
なし	1,931 52.0%	3,118 50.8%	3,426 63.9%	8,475 55.7%
不良生徒・学生集団	951 25.6%	250 4.1%	46 0.9%	1,247 8.2%
地域不良集団	639 17.2%	1,764 28.7%	1,151 21.5%	3,554 23.4%
暴走族	92 2.5%	756 12.3%	412 7.7%	1,260 8.3%
暴力団	14 0.4%	90 1.5%	144 2.7%	248 1.6%
不詳	89 2.4%	161 2.6%	181 3.4%	431 2.8%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-36 薬物使用関係（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
なし	3,534 95.1%	5,584 91.0%	4,575 85.4%	13,693 90.0%
麻薬・あへん	6 0.2%	16 0.3%	44 0.8%	66 0.4%
大麻	9 0.2%	52 0.8%	115 2.1%	176 1.2%
覚せい剤	11 0.3%	86 1.4%	194 3.6%	291 1.9%
有機溶剤	69 1.9%	232 3.8%	240 4.5%	541 3.6%
その他	15 0.4%	48 0.8%	67 1.3%	130 0.9%
不詳	72 1.9%	121 2.0%	125 2.3%	318 2.1%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-37 居住状況（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
家族と同居	3,344 90.0%	5,282 86.0%	4,073 76.0%	12,699 83.5%
同棲	14 0.4%	86 1.4%	198 3.7%	298 2.0%
アパート・下宿・間借り・ 寮	18 0.5%	165 2.7%	467 8.7%	650 4.3%
住込み	4 0.1%	38 0.6%	44 0.8%	86 0.6%
作業員宿舎	0 0.0%	13 0.2%	19 0.4%	32 0.2%
知人宅	52 1.4%	136 2.2%	155 2.9%	343 2.3%
施設	107 2.9%	36 0.6%	23 0.4%	166 1.1%
不良者の居所	29 0.8%	54 0.9%	38 0.7%	121 0.8%
浮浪	37 1.0%	74 1.2%	73 1.4%	184 1.2%
旅館・ホテル	3 0.1%	6 0.1%	9 0.2%	18 0.1%
不定	37 1.0%	119 1.9%	127 2.4%	283 1.9%
その他	6 0.2%	25 0.4%	23 0.4%	54 0.4%
不詳	65 1.7%	105 1.7%	111 2.1%	281 1.8%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-38 保護者（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
なし	3 0.1%	16 0.3%	23 0.4%	42 0.3%
実父母	1,429 38.5%	2,620 42.7%	2,492 46.5%	6,541 43.0%
実父	345 9.3%	579 9.4%	540 10.1%	1,464 9.6%
実母	1,428 38.4%	2,022 32.9%	1,558 29.1%	5,008 32.9%
実父義母	61 1.6%	131 2.1%	121 2.3%	313 2.1%
義父実母	288 7.8%	498 8.1%	343 6.4%	1,129 7.4%
養父（母）	18 0.5%	43 0.7%	40 0.7%	101 0.7%
その他	76 2.0%	121 2.0%	134 2.5%	331 2.2%
不詳	68 1.8%	109 1.8%	109 2.0%	286 1.9%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-39 保護者の職業（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
無職者	454 12.2%	552 9.0%	474 8.8%	1,480 9.7%
専門的・技術的職業	269 7.2%	524 8.5%	508 9.5%	1,301 8.6%
管理的職業	114 3.1%	264 4.3%	258 4.8%	636 4.2%
事務	267 7.2%	473 7.7%	409 7.6%	1,149 7.6%
販売	234 6.3%	393 6.4%	326 6.1%	953 6.3%
サービス職業	741 19.9%	1,167 19.0%	995 18.6%	2,903 19.1%
保安職業	28 0.8%	67 1.1%	51 1.0%	146 1.0%
農林漁業	30 0.8%	77 1.3%	80 1.5%	187 1.2%
運輸・通信	344 9.3%	565 9.2%	454 8.5%	1,363 9.0%
技能工、採掘・製造・建設 作業及び労務作業	946 25.5%	1,697 27.6%	1,433 26.7%	4,076 26.8%
不詳	289 7.8%	360 5.9%	372 6.9%	1,021 6.7%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-40 本人の職業（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
無職者（その他）	366 9.8%	1,957 31.9%	1,856 34.6%	4,179 27.5%
事務	0 0.0%	18 0.3%	29 0.5%	47 0.3%
販売	6 0.2%	39 0.6%	77 1.4%	122 0.8%
サービス職業（調理関係）	8 0.2%	56 0.9%	84 1.6%	148 1.0%
サービス職業（接客関係）	10 0.3%	163 2.7%	387 7.2%	560 3.7%
サービス職業（その他）	8 0.2%	94 1.5%	150 2.8%	252 1.7%
農林漁業	1 0.0%	18 0.3%	21 0.4%	40 0.3%
運輸・通信	1 0.0%	22 0.4%	48 0.9%	71 0.5%
技能工等（製造関係）	7 0.2%	57 0.9%	113 2.1%	177 1.2%
技能工等（建設関係）	88 2.4%	814 13.3%	771 14.4%	1,673 11.0%
技能工等（労務関係）	22 0.6%	256 4.2%	282 5.3%	560 3.7%
技能工等（その他）	55 1.5%	554 9.0%	520 9.7%	1,129 7.4%
その他の職業	12 0.3%	164 2.7%	203 3.8%	379 2.5%
無職者（学生・生徒）	3,110 83.7%	1,880 30.6%	761 14.2%	5,751 37.8%
不詳	22 0.6%	47 0.8%	58 1.1%	127 0.8%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-41 家庭の生活程度（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
富裕	94 2.5%	183 3.0%	171 3.2%	448 2.9%
普通	2,627 70.7%	4,409 71.8%	3,875 72.3%	10,911 71.7%
貧困	896 24.1%	1,379 22.5%	1,140 21.3%	3,415 22.4%
不詳	99 2.7%	168 2.7%	174 3.2%	441 2.9%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-42 教育程度（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
小学在学	10 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	10 0.1%
小学中退	1 0.0%	2 0.0%	3 0.1%	6 0.0%
小学卒業	3 0.1%	3 0.0%	8 0.1%	14 0.1%
中学在学	2,618 70.5%	7 0.1%	2 0.0%	2,627 17.3%
中学中退	5 0.1%	17 0.3%	23 0.4%	45 0.3%
中学卒業	408 11.0%	1,889 30.8%	1,456 27.2%	3,753 24.7%
中学その他	4 0.1%	4 0.1%	6 0.1%	14 0.1%
中学不詳	0 0.0%	0 0.0%	2 0.0%	2 0.0%
高校在学	470 12.6%	1,930 31.4%	611 11.4%	3,011 19.8%
高校中退	139 3.7%	2,159 35.2%	2,096 39.1%	4,394 28.9%
高校卒業	3 0.1%	6 0.1%	772 14.4%	781 5.1%
高校不詳	1 0.0%	1 0.0%	3 0.1%	5 0.0%
高専在学	3 0.1%	10 0.2%	18 0.3%	31 0.2%
高専中退	2 0.1%	13 0.2%	16 0.3%	31 0.2%
高専卒業	0 0.0%	2 0.0%	4 0.1%	6 0.0%
短大在学	0 0.0%	0 0.0%	16 0.3%	16 0.1%
短大中退	0 0.0%	0 0.0%	5 0.1%	5 0.0%
短大卒業	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%	1 0.0%
大学在学	1 0.0%	0 0.0%	186 3.5%	187 1.2%
大学中退	0 0.0%	0 0.0%	27 0.5%	27 0.2%
不就学	0 0.0%	1 0.0%	1 0.0%	2 0.0%
不詳	48 1.3%	95 1.5%	104 1.9%	247 1.6%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-43 精神診断（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
なし	3,417 92.0%	5,755 93.7%	4,946 92.3%	14,118 92.8%
知的障害	58 1.6%	56 0.9%	79 1.5%	193 1.3%
精神病質	3 0.1%	4 0.1%	9 0.2%	16 0.1%
神経症	2 0.1%	9 0.1%	10 0.2%	21 0.1%
その他の精神障害	142 3.8%	167 2.7%	170 3.2%	479 3.1%
不詳	94 2.5%	148 2.4%	146 2.7%	388 2.6%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-44 知能指数（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
59以下	57 1.5%	50 0.8%	60 1.1%	167 1.1%
60～69	229 6.2%	171 2.8%	126 2.4%	526 3.5%
70～79	647 17.4%	616 10.0%	404 7.5%	1,667 11.0%
80～89	850 22.9%	1,133 18.5%	834 15.6%	2,817 18.5%
90～99	905 24.4%	1,835 29.9%	1,498 27.9%	4,238 27.9%
100～109	529 14.2%	1,239 20.2%	1,291 24.1%	3,059 20.1%
110～119	152 4.1%	459 7.5%	476 8.9%	1,087 7.1%
120以上	62 1.7%	147 2.4%	244 4.6%	453 3.0%
不詳	285 7.7%	489 8.0%	427 8.0%	1,201 7.9%
合計	3,716 100.0%	6,139 100.0%	5,360 100.0%	15,215 100.0%

表1-45 鑑別判定（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
保護不要	4	20	14	38
	0.1%	0.3%	0.3%	0.2%
在宅保護（保護観察）	1,568	2,579	2,099	6,246
	42.2%	42.0%	39.2%	41.1%
在宅保護（その他）	68	5	0	73
	1.8%	0.1%	0.0%	0.5%
收容保護（初等・長期）	765	1	0	766
	20.6%	0.0%	0.0%	5.0%
收容保護（初等・一般短期）	334	1	0	335
	9.0%	0.0%	0.0%	2.2%
收容保護（初等・特修短期）	12	0	0	12
	0.3%	0.0%	0.0%	0.1%
收容保護（中等・長期）	124	1,773	1,588	3,485
	3.3%	28.9%	29.6%	22.9%
收容保護（中等・一般短期）	75	1,061	701	1,837
	2.0%	17.3%	13.1%	12.1%
收容保護（中等・特修短期）	1	29	31	61
	0.0%	0.5%	0.6%	0.4%
收容保護（特別）	1	3	72	76
	0.0%	0.0%	1.3%	0.5%
收容保護（医療）	13	40	52	105
	0.3%	0.7%	1.0%	0.7%
收容保護（児童自立支援施設等送致）	406	1	1	408
	10.9%	0.0%	0.0%	2.7%
保護不適（検察官送致）	0	13	197	210
	0.0%	0.2%	3.7%	1.4%
保護不適（その他）	0	3	2	5
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保留	88	116	143	347
	2.4%	1.9%	2.7%	2.3%
未了	228	424	379	1,031
	6.1%	6.9%	7.1%	6.8%
その他	29	70	81	180
	0.8%	1.1%	1.5%	1.2%
合計	3,716	6,139	5,360	15,215
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表1-46 医療措置（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
要	452	704	749	1,905
	12.2%	11.5%	14.0%	12.5%
不要	3,195	5,300	4,498	12,993
	86.0%	86.3%	83.9%	85.4%
未了	69	135	113	317
	1.9%	2.2%	2.1%	2.1%
合計	3,716	6,139	5,360	15,215
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表1-47 審判決定等（年齢層別）

	年少	中間	年長	合計
保護観察	1,585	2,916	2,444	6,945
	42.7%	47.5%	45.6%	45.6%
児童自立支援施設等送致	295	2	0	297
	7.9%	0.0%	0.0%	2.0%
少年院送致（初等）	636	2	0	638
	17.1%	0.0%	0.0%	4.2%
少年院送致（中等）	111	1,722	1,449	3,282
	3.0%	28.1%	27.0%	21.6%
少年院送致（特別）	0	0	62	62
	0.0%	0.0%	1.2%	0.4%
少年院送致（医療）	7	34	50	91
	0.2%	0.6%	0.9%	0.6%
知事・児童相談所長送致	66	7	0	73
	1.8%	0.1%	0.0%	0.5%
検察官送致	1	15	206	222
	0.0%	0.2%	3.8%	1.5%
審判不開始・不処分	20	63	83	166
	0.5%	1.0%	1.5%	1.1%
観護措置の取消し	392	632	573	1,597
	10.5%	10.3%	10.7%	10.5%
試験観察	603	746	493	1,842
	16.2%	12.2%	9.2%	12.1%
合計	3,716	6,139	5,360	15,215
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-1 性別

	年少	中間	年長	合計
男	722	1,325	1,104	3,151
	86.6%	89.2%	91.3%	89.3%
女	112	161	105	378
	13.4%	10.8%	8.7%	10.7%
合計	834	1,486	1,209	3,529
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-2 年齢

	年少	中間	年長	合計
12	5	0	0	5
	0.6%	0.0%	0.0%	0.1%
13	32	0	0	32
	3.8%	0.0%	0.0%	0.9%
14	327	0	0	327
	39.2%	0.0%	0.0%	9.3%
15	470	0	0	470
	56.4%	0.0%	0.0%	13.3%
16	0	721	0	721
	0.0%	48.5%	0.0%	20.4%
17	0	765	0	765
	0.0%	51.5%	0.0%	21.7%
18	0	0	596	596
	0.0%	0.0%	49.3%	16.9%
19	0	0	613	613
	0.0%	0.0%	50.7%	17.4%
合計	834	1,486	1,209	3,529
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
平均	14.51	16.51	18.51	16.72

表2-3 国籍

	年少	中間	年長	合計
日本	825	1,457	1,168	3,450
	99.0%	98.2%	96.6%	97.8%
韓国・朝鮮	2	7	8	17
	0.2%	0.5%	0.7%	0.5%
中国	0	5	6	11
	0.0%	0.3%	0.5%	0.3%
ブラジル	1	9	13	23
	0.1%	0.6%	1.1%	0.7%
タイ	1	0	0	1
	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
ヴェトナム	0	1	0	1
	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
フィリピン	2	2	6	10
	0.2%	0.1%	0.5%	0.3%
その他	2	3	8	13
	0.2%	0.2%	0.7%	0.4%
合計	833	1,484	1,209	3,526
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-4 主非行名

	年少	中間	年長	合計
窃盗	288 34.6%	499 33.6%	410 34.0%	1,197 34.0%
傷害	198 23.8%	242 16.3%	168 13.9%	608 17.3%
道路交通法	24 2.9%	270 18.2%	126 10.4%	420 11.9%
恐喝	46 5.5%	106 7.1%	82 6.8%	234 6.6%
く犯	81 9.7%	54 3.6%	8 0.7%	143 4.1%
詐欺	11 1.3%	30 2.0%	36 3.0%	77 2.2%
住居侵入	26 3.1%	27 1.8%	24 2.0%	77 2.2%
覚せい剤取締法	2 0.2%	25 1.7%	48 4.0%	75 2.1%
暴行	32 3.8%	22 1.5%	14 1.2%	68 1.9%
建造物損壊・器物損壊	25 3.0%	30 2.0%	13 1.1%	68 1.9%
強盗	15 1.8%	20 1.3%	31 2.6%	66 1.9%
強盗致死傷	10 1.2%	15 1.0%	34 2.8%	59 1.7%
強制わいせつ・同致死傷	13 1.6%	16 1.1%	21 1.7%	50 1.4%
毒物及び劇物取締法	5 0.6%	22 1.5%	16 1.3%	43 1.2%
自動車運転過失致死傷	4 0.5%	10 0.7%	22 1.8%	36 1.0%
暴力行為等処罰に関する法律	11 1.3%	18 1.2%	7 0.6%	36 1.0%
公務執行妨害	4 0.5%	18 1.2%	9 0.7%	31 0.9%
地方公共団体条例	3 0.4%	4 0.3%	24 2.0%	31 0.9%
大麻取締法	0 0.0%	3 0.2%	21 1.7%	24 0.7%
強姦・同致死傷	2 0.2%	9 0.6%	7 0.6%	18 0.5%
横領・背任	5 0.6%	5 0.3%	8 0.7%	18 0.5%
盗品等関係	5 0.6%	5 0.3%	4 0.3%	14 0.4%
放火	2 0.2%	5 0.3%	5 0.4%	12 0.3%
脅迫	3 0.4%	4 0.3%	4 0.3%	11 0.3%
業務妨害	0 0.0%	5 0.3%	6 0.5%	11 0.3%
殺人	2 0.2%	2 0.1%	5 0.4%	9 0.3%

銃砲刀剣類所持等取締 法	2 0.2%	1 0.1%	6 0.5%	9 0.3%
その他の特別法犯	1 0.1%	2 0.1%	6 0.5%	9 0.3%
文書偽造・有価証券偽造 等	1 0.1%	2 0.1%	4 0.3%	7 0.2%
わいせつ・わいせつ文 書頒布等	0 0.0%	0 0.0%	7 0.6%	7 0.2%
麻薬及び向精神薬取締 法	0 0.0%	2 0.1%	5 0.4%	7 0.2%
危険運転致死傷	0 0.0%	1 0.1%	5 0.4%	6 0.2%
逮捕・監禁	1 0.1%	3 0.2%	2 0.2%	6 0.2%
軽犯罪法	3 0.4%	1 0.1%	1 0.1%	5 0.1%
触法	4 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.1%
強制的措置許可申請	4 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.1%
戻し収容申請	0 0.0%	0 0.0%	3 0.2%	3 0.1%
売春防止法	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%	2 0.1%
児童福祉法	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%	2 0.1%
職業安定法	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%	2 0.1%
道路運送車両法・自動車 損害賠償保障法	0 0.0%	2 0.1%	0 0.0%	2 0.1%
賭博・富くじ	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%	2 0.1%
傷害致死	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%	2 0.1%
火炎瓶の使用等の処罰 に関する法律	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	1 0.0%
犯人蔵匿・証拠隠滅	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	1 0.0%
業務上過失致死傷	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	1 0.0%
重過失致死傷	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	1 0.0%
略取・誘拐	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	1 0.0%
強盗強姦・同致死	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	1 0.0%
死体遺棄・損壊	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	1 0.0%
名誉毀損	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	1 0.0%
合計	833 100.0%	1,483 100.0%	1,207 100.0%	3,523 100.0%

表2-5 第二の非行名

	年少	中間	年長	合計
住居侵入	21 13.6%	75 24.6%	90 31.9%	186 25.1%
道路交通法	14 9.1%	47 15.4%	40 14.2%	101 13.6%
恐喝	27 17.5%	37 12.1%	18 6.4%	82 11.1%
傷害	20 13.0%	26 8.5%	17 6.0%	63 8.5%
窃盗	11 7.1%	18 5.9%	16 5.7%	45 6.1%
建造物損壊・器物損壊	18 11.7%	16 5.2%	9 3.2%	43 5.8%
暴行	9 5.8%	16 5.2%	11 3.9%	36 4.9%
暴力行為等処罰に関する法律	8 5.2%	13 4.3%	6 2.1%	27 3.6%
文書偽造・有価証券偽造等	1 0.6%	4 1.3%	9 3.2%	14 1.9%
横領・背任	10 6.5%	3 1.0%	1 0.4%	14 1.9%
詐欺	0 0.0%	4 1.3%	8 2.8%	12 1.6%
公務執行妨害	1 0.6%	11 3.6%	0 0.0%	12 1.6%
逮捕・監禁	1 0.6%	3 1.0%	8 2.8%	12 1.6%
大麻取締法	1 0.6%	2 0.7%	7 2.5%	10 1.3%
その他の特別法犯	2 1.3%	1 0.3%	6 2.1%	9 1.2%
銃砲刀剣類所持等取締法	0 0.0%	3 1.0%	5 1.8%	8 1.1%
毒物及び劇物取締法	2 1.3%	4 1.3%	2 0.7%	8 1.1%
脅迫	2 1.3%	2 0.7%	3 1.1%	7 0.9%
道路運送車両法・自動車損害賠償保障法	0 0.0%	5 1.6%	2 0.7%	7 0.9%
覚せい剤取締法	0 0.0%	0 0.0%	6 2.1%	6 0.8%
決闘罪に関する件	0 0.0%	5 1.6%	0 0.0%	5 0.7%
強制わいせつ・同致死傷	1 0.6%	1 0.3%	3 1.1%	5 0.7%
自動車運転過失致死傷	1 0.6%	1 0.3%	2 0.7%	4 0.5%
ぐ犯	1 0.6%	3 1.0%	0 0.0%	4 0.5%
麻薬及び向精神薬取締法	0 0.0%	0 0.0%	4 1.4%	4 0.5%
盗品等関係	1 0.6%	2 0.7%	0 0.0%	3 0.4%

死体遺棄・損壊	0	1	1	2
	0.0%	0.3%	0.4%	0.3%
犯人蔵匿・証拠隠滅	0	0	2	2
	0.0%	0.0%	0.7%	0.3%
児童福祉法	0	0	2	2
	0.0%	0.0%	0.7%	0.3%
地方公共団体条例	0	0	2	2
	0.0%	0.0%	0.7%	0.3%
強盗	0	1	0	1
	0.0%	0.3%	0.0%	0.1%
強姦・同致死傷	1	0	0	1
	0.6%	0.0%	0.0%	0.1%
殺人	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.4%	0.1%
業務上過失致死傷	0	1	0	1
	0.0%	0.3%	0.0%	0.1%
軽犯罪法	1	0	0	1
	0.6%	0.0%	0.0%	0.1%
売春防止法	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.4%	0.1%
合計	154	305	282	741
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-6 第三の非行名

	年少	中間	年長	合計
住居侵入	3 11.5%	7 14.9%	6 11.8%	16 12.9%
建造物損壊・器物損壊	3 11.5%	6 12.8%	7 13.7%	16 12.9%
道路交通法	2 7.7%	8 17.0%	4 7.8%	14 11.3%
窃盗	5 19.2%	4 8.5%	4 7.8%	13 10.5%
恐喝	3 11.5%	4 8.5%	2 3.9%	9 7.3%
公務執行妨害	0 0.0%	3 6.4%	3 5.9%	6 4.8%
横領・背任	2 7.7%	4 8.5%	0 0.0%	6 4.8%
傷害	1 3.8%	2 4.3%	2 3.9%	5 4.0%
暴行	3 11.5%	0 0.0%	2 3.9%	5 4.0%
逮捕・監禁	0 0.0%	1 2.1%	3 5.9%	4 3.2%
自動車運転過失致死傷	0 0.0%	2 4.3%	1 2.0%	3 2.4%
軽犯罪法	2 7.7%	1 2.1%	0 0.0%	3 2.4%
銃砲刀剣類所持等取締法	0 0.0%	1 2.1%	1 2.0%	2 1.6%
詐欺	0 0.0%	1 2.1%	1 2.0%	2 1.6%
犯人蔵匿・証拠隠滅	0 0.0%	0 0.0%	2 3.9%	2 1.6%
文書偽造・有価証券偽造等	0 0.0%	0 0.0%	2 3.9%	2 1.6%
決闘罪に関する件	0 0.0%	2 4.3%	0 0.0%	2 1.6%
麻薬及び向精神薬取締法	0 0.0%	0 0.0%	2 3.9%	2 1.6%
大麻取締法	0 0.0%	0 0.0%	2 3.9%	2 1.6%
道路運送車両法・自動車損害賠償保障法	0 0.0%	1 2.1%	1 2.0%	2 1.6%
暴力行為等処罰に関する法律	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%
脅迫	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%
盗品等関係	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	1 0.8%
死体遺棄・損壊	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	1 0.8%
児童福祉法	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	1 0.8%
出入国管理及び難民認定法	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	1 0.8%
地方公共団体条例	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	1 0.8%
その他の特別法犯	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	1 0.8%
合計	26 100.0%	47 100.0%	51 100.0%	124 100.0%

表2-7 非行時の身上

	年少	中間	年長	合計
該当なし	699	1,040	840	2,579
	83.9%	70.1%	69.7%	73.2%
1号観察中	92	333	204	629
	11.0%	22.5%	16.9%	17.9%
2号観察中	4	81	153	238
	0.5%	5.5%	12.7%	6.8%
試験観察中（補導委 託）	0	3	4	7
	0.0%	0.2%	0.3%	0.2%
試験観察中（在宅）	13	25	3	41
	1.6%	1.7%	0.2%	1.2%
施設在所中	25	1	1	27
	3.0%	0.1%	0.1%	0.8%
合計	833	1,483	1,205	3,521
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-8 非行の動機

	年少	中間	年長	合計
遊び	89 10.7%	134 9.0%	48 4.0%	271 7.7%
好奇心	8 1.0%	23 1.5%	21 1.7%	52 1.5%
スリル	3 0.4%	13 0.9%	5 0.4%	21 0.6%
退屈	1 0.1%	8 0.5%	2 0.2%	11 0.3%
乗りたくて	88 10.6%	209 14.1%	84 7.0%	381 10.8%
目立ちたくて	5 0.6%	30 2.0%	19 1.6%	54 1.5%
突っ張り	16 1.9%	24 1.6%	15 1.2%	55 1.6%
うさ晴らし	42 5.0%	67 4.5%	64 5.3%	173 4.9%
いやなことから逃げたくて	31 3.7%	54 3.6%	39 3.2%	124 3.5%
かっとなって	217 26.1%	228 15.4%	185 15.4%	630 17.9%
お金や物が欲しくて	186 22.3%	380 25.6%	417 34.7%	983 27.9%
衣食住に困って	1 0.1%	13 0.9%	17 1.4%	31 0.9%
誘われて	69 8.3%	186 12.5%	129 10.7%	384 10.9%
強制されて	9 1.1%	26 1.8%	19 1.6%	54 1.5%
反発したくなって	8 1.0%	2 0.1%	3 0.2%	13 0.4%
セックスがしたくて	2 0.2%	8 0.5%	21 1.7%	31 0.9%
性的興味	18 2.2%	24 1.6%	24 2.0%	66 1.9%
なんとなく	8 1.0%	15 1.0%	15 1.2%	38 1.1%
その他	32 3.8%	41 2.8%	74 6.2%	147 4.2%
合計	833 100.0%	1,485 100.0%	1,201 100.0%	3,519 100.0%

表2-9 身体的被害

	年少	中間	年長	合計
1月未満	219 84.2%	252 74.8%	212 73.1%	683 77.0%
1月以上	41 15.8%	83 24.6%	63 21.7%	187 21.1%
死亡	0 0.0%	2 0.6%	15 5.2%	17 1.9%
合計	260 100.0%	337 100.0%	290 100.0%	887 100.0%

表2-10 経済的被害

	年少	中間	年長	合計
千円未満	17 4.0%	29 4.0%	20 3.4%	66 3.8%
1万円未満	137 32.5%	179 24.4%	111 18.8%	427 24.5%
10万円未満	187 44.3%	311 42.4%	272 46.2%	770 44.1%
10万円以上	81 19.2%	215 29.3%	186 31.6%	482 27.6%
合計	422 100.0%	734 100.0%	589 100.0%	1,745 100.0%

表2-11 被害者との関係

	年少	中間	年長	合計
親族	11 1.7%	21 2.1%	25 2.8%	57 2.2%
遊び仲間	53 8.1%	87 8.6%	70 7.9%	210 8.2%
不良仲間	20 3.1%	32 3.1%	24 2.7%	76 3.0%
その他（面識あり）	211 32.4%	200 19.7%	174 19.6%	585 22.9%
その他（面識なし）	357 54.8%	677 66.6%	595 67.0%	1,629 63.7%
合計	652 100.0%	1,017 100.0%	888 100.0%	2,557 100.0%

表2-12 被害者の年齢

	年少	中間	年長	合計
少年	265 41.0%	425 42.2%	274 31.3%	964 38.1%
成人	368 57.0%	554 55.0%	574 65.5%	1,496 59.2%
成人と少年	13 2.0%	28 2.8%	28 3.2%	69 2.7%
合計	646 100.0%	1,007 100.0%	876 100.0%	2,529 100.0%

表2-13 共犯数

	年少	中間	年長	合計
単独	337 40.4%	453 30.5%	540 44.7%	1,330 37.7%
2人	132 15.8%	261 17.6%	177 14.6%	570 16.2%
3人	153 18.3%	240 16.2%	178 14.7%	571 16.2%
4人以上	187 22.4%	411 27.7%	249 20.6%	847 24.0%
不特定多数	25 3.0%	120 8.1%	64 5.3%	209 5.9%
不詳	0 0.0%	1 0.1%	1 0.1%	2 0.1%
合計	834 100.0%	1,486 100.0%	1,209 100.0%	3,529 100.0%

表2-14 共犯種類

	年少	中間	年長	合計
学校仲間	121 24.4%	73 7.1%	31 4.7%	225 10.3%
遊び仲間	305 61.5%	699 67.9%	434 65.3%	1,438 65.6%
職場仲間	2 0.4%	17 1.7%	35 5.3%	54 2.5%
施設仲間	7 1.4%	2 0.2%	1 0.2%	10 0.5%
親族	9 1.8%	12 1.2%	21 3.2%	42 1.9%
行きずり	1 0.2%	9 0.9%	7 1.1%	17 0.8%
不良集団	44 8.9%	200 19.4%	102 15.3%	346 15.8%
その他	7 1.4%	18 1.7%	34 5.1%	59 2.7%
合計	496 100.0%	1,030 100.0%	665 100.0%	2,191 100.0%

表2-15 共犯役割

	年少	中間	年長	合計
該当なし	1 0.2%	7 0.7%	1 0.2%	9 0.4%
主導	107 21.6%	214 20.8%	166 25.2%	487 22.3%
同格	249 50.3%	433 42.1%	262 39.8%	944 43.3%
従属	138 27.9%	366 35.6%	228 34.6%	732 33.5%
その他	0 0.0%	8 0.8%	2 0.3%	10 0.5%
合計	495 100.0%	1,028 100.0%	659 100.0%	2,182 100.0%

表2-16 成人共犯

	年少	中間	年長	合計
なし	473	923	430	1,826
	95.4%	89.7%	64.5%	83.3%
あり	23	106	237	366
	4.6%	10.3%	35.5%	16.7%
合計	496	1,029	667	2,192
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-17 非行の動機（本件窃盗）

	年少	中間	年長	合計
遊び	28	26	9	63
	9.7%	5.2%	2.2%	5.3%
好奇心	5	2	3	10
	1.7%	0.4%	0.7%	0.8%
スリル	0	1	0	1
	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%
退屈	1	2	1	4
	0.3%	0.4%	0.2%	0.3%
乗りたくて	67	70	18	155
	23.3%	14.1%	4.4%	13.0%
目立ちたくて	2	1	1	4
	0.7%	0.2%	0.2%	0.3%
突っ張り	1	2	1	4
	0.3%	0.4%	0.2%	0.3%
うさ晴らし	9	17	12	38
	3.1%	3.4%	3.0%	3.2%
いやなことから逃げた くて	3	4	2	9
	1.0%	0.8%	0.5%	0.8%
かっとなって	4	6	3	13
	1.4%	1.2%	0.7%	1.1%
お金や物が欲しくて	123	262	284	669
	42.7%	52.6%	70.1%	56.2%
衣食住に困って	0	11	9	20
	0.0%	2.2%	2.2%	1.7%
誘われて	33	77	44	154
	11.5%	15.5%	10.9%	12.9%
強制されて	4	9	5	18
	1.4%	1.8%	1.2%	1.5%
反発したくなって	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%
性的興味	0	1	0	1
	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%
なんとなく	1	2	2	5
	0.3%	0.4%	0.5%	0.4%
その他	7	5	10	22
	2.4%	1.0%	2.5%	1.8%
合計	288	498	405	1,191
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-18 経済的被害（本件窃盗）

	年少	中間	年長	合計
千円未満	13 4.8%	24 5.1%	19 5.1%	56 5.0%
1万円未満	73 26.9%	109 23.3%	73 19.5%	255 22.9%
10万円未満	130 48.0%	197 42.1%	179 47.9%	506 45.5%
10万円以上	55 20.3%	138 29.5%	103 27.5%	296 26.6%
合計	271 100.0%	468 100.0%	374 100.0%	1,113 100.0%

表2-19 被害者との関係（本件窃盗）

	年少	中間	年長	合計
親族	0 0.0%	2 0.5%	3 0.8%	5 0.5%
遊び仲間	8 3.2%	12 2.8%	14 3.9%	34 3.3%
不良仲間	2 0.8%	4 0.9%	2 0.6%	8 0.8%
その他（面識あり）	22 8.8%	40 9.4%	62 17.4%	124 12.0%
その他（面識なし）	218 87.2%	367 86.4%	276 77.3%	861 83.4%
合計	250 100.0%	425 100.0%	357 100.0%	1,032 100.0%

表2-20 被害者の年齢（本件窃盗）

	年少	中間	年長	合計
少年	31 12.9%	59 14.5%	28 8.3%	118 12.0%
成人	205 85.4%	337 82.8%	300 88.8%	842 85.5%
成人と少年	4 1.7%	11 2.7%	10 3.0%	25 2.5%
合計	240 100.0%	407 100.0%	338 100.0%	985 100.0%

表2-21 共犯数（本件窃盗）

	年少	中間	年長	合計
単独	57	110	153	320
	19.8%	22.1%	37.6%	26.8%
2人	69	149	91	309
	24.0%	29.9%	22.4%	25.9%
3人	80	117	86	283
	27.8%	23.5%	21.1%	23.7%
4人以上	73	107	72	252
	25.3%	21.5%	17.7%	21.1%
不特定多数	9	15	5	29
	3.1%	3.0%	1.2%	2.4%
合計	288	498	407	1,193
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-22 共犯種類（本件窃盗）

	年少	中間	年長	合計
学校仲間	55	29	11	95
	23.8%	7.5%	4.3%	10.9%
遊び仲間	153	309	191	653
	66.2%	79.8%	75.2%	74.9%
職場仲間	2	9	13	24
	0.9%	2.3%	5.1%	2.8%
施設仲間	2	0	0	2
	0.9%	0.0%	0.0%	0.2%
親族	3	10	9	22
	1.3%	2.6%	3.5%	2.5%
行きずり	1	1	1	3
	0.4%	0.3%	0.4%	0.3%
不良集団	11	21	17	49
	4.8%	5.4%	6.7%	5.6%
その他	4	8	12	24
	1.7%	2.1%	4.7%	2.8%
合計	231	387	254	872
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-23 共犯役割（本件窃盗）

	年少	中間	年長	合計
該当なし	0	1	0	1
	0.0%	0.3%	0.0%	0.1%
主導	46	86	70	202
	19.9%	22.3%	27.6%	23.2%
同格	119	163	95	377
	51.5%	42.2%	37.4%	43.3%
従属	66	135	88	289
	28.6%	35.0%	34.6%	33.2%
その他	0	1	1	2
	0.0%	0.3%	0.4%	0.2%
合計	231	386	254	871
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-24 成人共犯（本件窃盗）

	年少	中間	年長	合計
なし	217	343	166	726
	93.9%	88.6%	65.6%	83.4%
あり	14	44	87	145
	6.1%	11.4%	34.4%	16.6%
合計	231	387	253	871
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-25 非行の動機（本件傷害）

	年少	中間	年長	合計
遊び	4	3	2	9
	2.0%	1.2%	1.2%	1.5%
好奇心	1	2	1	4
	0.5%	0.8%	0.6%	0.7%
スリル	0	3	1	4
	0.0%	1.2%	0.6%	0.7%
乗りたくて	0	3	0	3
	0.0%	1.2%	0.0%	0.5%
目立ちたくて	2	4	2	8
	1.0%	1.7%	1.2%	1.3%
突っ張り	8	13	8	29
	4.0%	5.4%	4.8%	4.8%
うさ晴らし	7	5	10	22
	3.5%	2.1%	6.0%	3.6%
いやなことから逃げたくて	3	4	0	7
	1.5%	1.7%	0.0%	1.2%
かっとなって	149	156	120	425
	75.3%	64.5%	71.4%	69.9%
お金や物が欲しくて	8	9	5	22
	4.0%	3.7%	3.0%	3.6%
衣食住に困って	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.6%	0.2%
誘われて	4	21	8	33
	2.0%	8.7%	4.8%	5.4%
強制されて	0	6	2	8
	0.0%	2.5%	1.2%	1.3%
反発したくなって	3	1	0	4
	1.5%	0.4%	0.0%	0.7%
性的興味	1	0	0	1
	0.5%	0.0%	0.0%	0.2%
なんとなく	2	6	1	9
	1.0%	2.5%	0.6%	1.5%
その他	6	6	7	19
	3.0%	2.5%	4.2%	3.1%
合計	198	242	168	608
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-26 身体的被害（本件傷害）

	年少	中間	年長	合計
1月未満	162	177	121	460
	83.9%	74.1%	74.2%	77.3%
1月以上	31	61	42	134
	16.1%	25.5%	25.8%	22.5%
死亡	0	1	0	1
	0.0%	0.4%	0.0%	0.2%
合計	193	239	163	595
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-27 被害者との関係（本件傷害）

	年少	中間	年長	合計
親族	4	9	11	24
	2.1%	3.9%	6.7%	4.0%
遊び仲間	33	44	22	99
	16.9%	18.9%	13.3%	16.7%
不良仲間	13	20	9	42
	6.7%	8.6%	5.5%	7.1%
その他（面識あり）	120	77	49	246
	61.5%	33.0%	29.7%	41.5%
その他（面識なし）	25	83	74	182
	12.8%	35.6%	44.8%	30.7%
合計	195	233	165	593
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-28 被害者の年齢（本件傷害）

	年少	中間	年長	合計
少年	132	206	100	438
	67.0%	85.8%	60.2%	72.6%
成人	64	29	61	154
	32.5%	12.1%	36.7%	25.5%
成人と少年	1	5	5	11
	0.5%	2.1%	3.0%	1.8%
合計	197	240	166	603
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-29 共犯数（本件傷害）

	年少	中間	年長	合計
単独	92	72	59	223
	46.5%	29.8%	35.1%	36.7%
2人	30	28	18	76
	15.2%	11.6%	10.7%	12.5%
3人	30	41	29	100
	15.2%	16.9%	17.3%	16.4%
4人以上	42	87	53	182
	21.2%	36.0%	31.5%	29.9%
不特定多数	4	14	9	27
	2.0%	5.8%	5.4%	4.4%
合計	198	242	168	608
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-30 共犯種類（本件傷害）

	年少	中間	年長	合計
学校仲間	32	19	4	55
	30.5%	11.2%	3.7%	14.3%
遊び仲間	51	113	73	237
	48.6%	66.5%	67.0%	61.7%
職場仲間	0	1	5	6
	0.0%	0.6%	4.6%	1.6%
施設仲間	3	0	1	4
	2.9%	0.0%	0.9%	1.0%
親族	2	0	4	6
	1.9%	0.0%	3.7%	1.6%
行きずり	0	0	2	2
	0.0%	0.0%	1.8%	0.5%
不良集団	16	35	16	67
	15.2%	20.6%	14.7%	17.4%
その他	1	2	4	7
	1.0%	1.2%	3.7%	1.8%
合計	105	170	109	384
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-31 共犯役割（本件傷害）

	年少	中間	年長	合計
該当なし	0	1	0	1
	0.0%	0.6%	0.0%	0.3%
主導	28	44	33	105
	26.7%	25.9%	30.3%	27.3%
同格	55	79	52	186
	52.4%	46.5%	47.7%	48.4%
従属	22	45	24	91
	21.0%	26.5%	22.0%	23.7%
その他	0	1	0	1
	0.0%	0.6%	0.0%	0.3%
合計	105	170	109	384
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-32 成人共犯（本件傷害）

	年少	中間	年長	合計
なし	104	161	81	346
	99.0%	94.7%	74.3%	90.1%
あり	1	9	28	38
	1.0%	5.3%	25.7%	9.9%
合計	105	170	109	384
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-33 非行の動機（本件道路交通法違反）

	年少	中間	年長	合計
遊び	6 25.0%	51 18.9%	15 12.0%	72 17.2%
好奇心	1 4.2%	6 2.2%	2 1.6%	9 2.1%
スリル	0 0.0%	8 3.0%	0 0.0%	8 1.9%
乗りたくて	14 58.3%	125 46.3%	51 40.8%	190 45.3%
目立ちたくて	0 0.0%	14 5.2%	13 10.4%	27 6.4%
突っ張り	0 0.0%	2 0.7%	0 0.0%	2 0.5%
うさ晴らし	2 8.3%	10 3.7%	5 4.0%	17 4.1%
いやなことから逃げたくて	0 0.0%	0 0.0%	2 1.6%	2 0.5%
かっとなって	0 0.0%	1 0.4%	1 0.8%	2 0.5%
誘われて	1 4.2%	44 16.3%	24 19.2%	69 16.5%
強制されて	0 0.0%	4 1.5%	3 2.4%	7 1.7%
なんとなく	0 0.0%	1 0.4%	1 0.8%	2 0.5%
その他	0 0.0%	4 1.5%	8 6.4%	12 2.9%
合計	24 100.0%	270 100.0%	125 100.0%	419 100.0%

表2-34 共犯数（本件道路交通法違反）

	年少	中間	年長	合計
単独	10 41.7%	57 21.1%	36 28.6%	103 24.5%
2人	0 0.0%	2 0.7%	2 1.6%	4 1.0%
3人	1 4.2%	3 1.1%	2 1.6%	6 1.4%
4人以上	6 25.0%	132 48.9%	45 35.7%	183 43.6%
不特定多数	7 29.2%	75 27.8%	41 32.5%	123 29.3%
不詳	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	1 0.2%
合計	24 100.0%	270 100.0%	126 100.0%	420 100.0%

表2-35 共犯種類（本件道路交通法違反）

	年少	中間	年長	合計
学校仲間	0 0.0%	5 2.3%	1 1.1%	6 1.9%
遊び仲間	4 28.6%	87 40.8%	37 41.6%	128 40.5%
行きずり	0 0.0%	1 0.5%	2 2.2%	3 0.9%
不良集団	10 71.4%	120 56.3%	46 51.7%	176 55.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	3 3.4%	3 0.9%
合計	14 100.0%	213 100.0%	89 100.0%	316 100.0%

表2-36 共犯役割（本件道路交通法違反）

	年少	中間	年長	合計
該当なし	0 0.0%	3 1.4%	1 1.2%	4 1.3%
主導	1 7.1%	28 13.1%	21 24.7%	50 16.0%
同格	7 50.0%	78 36.6%	32 37.6%	117 37.5%
従属	6 42.9%	104 48.8%	31 36.5%	141 45.2%
合計	14 100.0%	213 100.0%	85 100.0%	312 100.0%

表2-37 成人共犯（本件道路交通法違反）

	年少	中間	年長	合計
なし	12 85.7%	198 93.8%	66 73.3%	276 87.6%
あり	2 14.3%	13 6.2%	24 26.7%	39 12.4%
合計	14 100.0%	211 100.0%	90 100.0%	315 100.0%

表2-38 少年鑑別所入所回数

	年少	中間	年長	合計
1	715 85.7%	1,044 70.3%	798 66.1%	2,557 72.5%
2	99 11.9%	317 21.3%	239 19.8%	655 18.6%
3	18 2.2%	95 6.4%	94 7.8%	207 5.9%
4	2 0.2%	22 1.5%	31 2.6%	55 1.6%
5	0 0.0%	7 0.5%	27 2.2%	34 1.0%
6	0 0.0%	1 0.1%	12 1.0%	13 0.4%
7	0 0.0%	0 0.0%	3 0.2%	3 0.1%
8	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%	2 0.1%
13	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	1 0.0%
14	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	1 0.0%
合計	834 100.0%	1,486 100.0%	1,208 100.0%	3,528 100.0%
平均	1.17	1.41	1.62	1.42

表2-39 審判不開始歴

	年少	中間	年長	合計
0	777 93.6%	1,276 86.2%	1,007 83.8%	3,060 87.1%
1	50 6.0%	179 12.1%	159 13.2%	388 11.0%
2	3 0.4%	23 1.6%	26 2.2%	52 1.5%
3	0 0.0%	2 0.1%	6 0.5%	8 0.2%
4	0 0.0%	1 0.1%	1 0.1%	2 0.1%
5	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	1 0.0%
6	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	1 0.0%
合計	830 100.0%	1,481 100.0%	1,201 100.0%	3,512 100.0%

表2-40 不処分歴

	年少	中間	年長	合計
0	770 92.9%	1,188 80.2%	940 78.3%	2,898 82.5%
1	56 6.8%	265 17.9%	230 19.2%	551 15.7%
2	2 0.2%	26 1.8%	26 2.2%	54 1.5%
3	1 0.1%	1 0.1%	5 0.4%	7 0.2%
4	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	1 0.0%
合計	829 100.0%	1,481 100.0%	1,201 100.0%	3,511 100.0%

表2-41 試験観察（住宅）歴

	年少	中間	年長	合計
0	808 97.1%	1,387 93.4%	1,134 93.9%	3,329 94.4%
1	24 2.9%	95 6.4%	71 5.9%	190 5.4%
2	0 0.0%	3 0.2%	3 0.2%	6 0.2%
合計	832 100.0%	1,485 100.0%	1,208 100.0%	3,525 100.0%

表2-42 試験観察（補導委託）歴

	年少	中間	年長	合計
0	832 100.0%	1,473 99.3%	1,189 98.4%	3,494 99.1%
1	0 0.0%	11 0.7%	19 1.6%	30 0.9%
合計	832 100.0%	1,484 100.0%	1,208 100.0%	3,524 100.0%

表2-43 保護観察歴

	年少	中間	年長	合計
0	731 87.8%	981 66.1%	722 59.8%	2,434 69.1%
1	96 11.5%	441 29.7%	376 31.2%	913 25.9%
2	6 0.7%	57 3.8%	97 8.0%	160 4.5%
3	0 0.0%	4 0.3%	12 1.0%	16 0.5%
合計	833 100.0%	1,483 100.0%	1,207 100.0%	3,523 100.0%

表2-44 児童自立支援施設送致歴

	年少	中間	年長	合計
0	802	1,431	1,178	3,411
	96.3%	96.5%	97.5%	96.8%
1	29	48	26	103
	3.5%	3.2%	2.2%	2.9%
2	2	4	4	10
	0.2%	0.3%	0.3%	0.3%
合計	833	1,483	1,208	3,524
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-45 少年院送致歴

	年少	中間	年長	合計
0	826	1,385	1,024	3,235
	99.2%	93.2%	84.8%	91.7%
1	7	96	143	246
	0.8%	6.5%	11.8%	7.0%
2	0	5	36	41
	0.0%	0.3%	3.0%	1.2%
3	0	0	5	5
	0.0%	0.0%	0.4%	0.1%
合計	833	1,486	1,208	3,527
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-46 知事・児童相談所長送致歴

	年少	中間	年長	合計
0	813	1,463	1,203	3,479
	97.7%	98.7%	99.6%	98.8%
1	18	18	5	41
	2.2%	1.2%	0.4%	1.2%
2	1	2	0	3
	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
合計	832	1,483	1,208	3,523
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-47 罰金刑

	年少	中間	年長	合計
なし	834	1,465	1,166	3,465
	100.0%	98.6%	96.8%	98.3%
あり	0	21	39	60
	0.0%	1.4%	3.2%	1.7%
合計	834	1,486	1,205	3,525
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-48 猶予刑

	年少	中間	年長	合計
なし	834	1,485	1,207	3,526
	100.0%	99.9%	99.9%	99.9%
あり	0	1	1	2
	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%
合計	834	1,486	1,208	3,528
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-49 服役刑

	年少	中間	年長	合計
なし	833	1,486	1,208	3,527
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
合計	833	1,486	1,208	3,527
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-50 その他の刑事処分

	年少	中間	年長	合計
なし	832	1,486	1,205	3,523
	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%
あり	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
合計	832	1,486	1,206	3,524
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-51 再非行期間

	年少	中間	年長	合計
前回処分なし	630	720	534	1,884
	75.5%	48.5%	44.2%	53.4%
1月以内	34	73	32	139
	4.1%	4.9%	2.6%	3.9%
3月以内	49	102	59	210
	5.9%	6.9%	4.9%	6.0%
6月以内	49	138	84	271
	5.9%	9.3%	6.9%	7.7%
1年以内	44	181	153	378
	5.3%	12.2%	12.7%	10.7%
1年6月以内	14	105	107	226
	1.7%	7.1%	8.9%	6.4%
2年以内	4	81	71	156
	0.5%	5.5%	5.9%	4.4%
2年を超える	2	75	158	235
	0.2%	5.0%	13.1%	6.7%
前回処分前の非行	6	11	10	27
	0.7%	0.7%	0.8%	0.8%
施設在所中の非行	2	0	1	3
	0.2%	0.0%	0.1%	0.1%
合計	834	1,486	1,209	3,529
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-52 非行初発年齢

	年少	中間	年長	合計
5	0 0.0%	1 0.1%	2 0.2%	3 0.1%
6	3 0.4%	7 0.5%	2 0.2%	12 0.3%
7	4 0.5%	3 0.2%	3 0.3%	10 0.3%
8	10 1.2%	8 0.6%	6 0.5%	24 0.7%
9	7 0.9%	9 0.6%	6 0.5%	22 0.6%
10	16 2.0%	34 2.3%	18 1.5%	68 2.0%
11	22 2.7%	21 1.4%	15 1.3%	58 1.7%
12	84 10.2%	75 5.2%	47 4.0%	206 6.0%
13	200 24.4%	185 12.7%	108 9.1%	493 14.3%
14	319 38.9%	373 25.7%	234 19.7%	926 26.8%
15	155 18.9%	312 21.5%	189 15.9%	656 19.0%
16	0 0.0%	294 20.2%	155 13.1%	449 13.0%
17	0 0.0%	130 9.0%	96 8.1%	226 6.5%
18	0 0.0%	0 0.0%	183 15.4%	183 5.3%
19	0 0.0%	0 0.0%	122 10.3%	122 3.5%
合計	820 100.0%	1,452 100.0%	1,186 100.0%	3,458 100.0%

表2-53 非行の範囲

	年少	中間	年長	合計
財産犯	620 74.3%	1,127 75.8%	898 74.3%	2,645 75.0%
凶悪犯	34 4.1%	60 4.0%	98 8.1%	192 5.4%
粗暴犯	442 53.0%	673 45.3%	494 40.9%	1,609 45.6%
性犯罪	39 4.7%	46 3.1%	72 6.0%	157 4.5%
薬物犯	36 4.3%	127 8.5%	178 14.7%	341 9.7%
交通犯罪	299 35.9%	833 56.1%	604 50.0%	1,736 49.2%
その他の犯罪	82 9.9%	113 7.6%	118 9.8%	313 8.9%

表2-54 不良集団関係

	年少	中間	年長	合計
不良生徒・学生集団	405	503	298	1,206
	48.7%	33.9%	24.7%	34.2%
(現在あり)	314	129	32	475
	37.7%	8.7%	2.6%	13.5%
(現在なし)	91	374	266	731
	10.9%	25.2%	22.0%	20.7%
地域不良集団	256	570	382	1,208
	30.8%	38.4%	31.6%	34.3%
(現在あり)	239	491	274	1,004
	28.7%	33.1%	22.7%	28.5%
(現在なし)	17	79	108	204
	2.0%	5.3%	8.9%	5.8%
暴走族	44	271	174	489
	5.3%	18.2%	14.4%	13.9%
(現在あり)	30	178	68	276
	3.6%	12.0%	5.6%	7.8%
(現在なし)	14	93	106	213
	1.7%	6.3%	8.8%	6.0%
暴力団	2	19	47	68
	0.2%	1.3%	3.9%	1.9%
(現在あり)	2	10	30	42
	0.2%	0.7%	2.5%	1.2%
(現在なし)	0	9	17	26
	0.0%	0.6%	1.4%	0.7%
その他	7	22	27	56
	0.8%	1.5%	2.2%	1.6%
(現在あり)	6	17	16	39
	0.7%	1.1%	1.3%	1.1%
(現在なし)	1	5	11	17
	0.1%	0.3%	0.9%	0.5%
不良集団現在あり	453	682	357	1,492
	54.3%	45.9%	29.5%	42.3%

表2-55 不良集団内の立場

	年少	中間	年長	合計
該当なし	31	34	17	82
	6.9%	5.0%	4.8%	5.5%
中心的	150	224	125	499
	33.2%	32.9%	35.2%	33.6%
周辺の	271	422	213	906
	60.0%	62.1%	60.0%	60.9%
合計	452	680	355	1,487
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-56 薬物使用歴

	年少	中間	年長	合計
麻薬	3	11	32	46
	0.4%	0.7%	2.6%	1.3%
(現在あり)	1	4	17	22
	0.1%	0.3%	1.4%	0.6%
(現在なし)	2	7	15	24
	0.2%	0.5%	1.2%	0.7%
あへん	0	1	3	4
	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%
(現在あり)	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
(現在なし)	0	1	2	3
	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%
大麻	10	54	106	170
	1.2%	3.6%	8.8%	4.8%
(現在あり)	8	25	46	79
	1.0%	1.7%	3.8%	2.2%
(現在なし)	2	29	60	91
	0.2%	2.0%	5.0%	2.6%
覚せい剤	7	36	83	126
	0.8%	2.4%	6.9%	3.6%
(現在あり)	6	30	59	95
	0.7%	2.0%	4.9%	2.7%
(現在なし)	1	6	24	31
	0.1%	0.4%	2.0%	0.9%
有機溶剤	42	117	131	290
	5.0%	7.9%	10.8%	8.2%
(現在あり)	24	54	41	119
	2.9%	3.6%	3.4%	3.4%
(現在なし)	18	63	90	171
	2.2%	4.2%	7.4%	4.8%
その他の薬物	23	58	54	135
	2.8%	3.9%	4.5%	3.8%
(現在あり)	6	21	19	46
	0.7%	1.4%	1.6%	1.3%
(現在なし)	17	37	35	89
	2.0%	2.5%	2.9%	2.5%
薬物使用歴あり	63	185	233	481
	7.6%	12.4%	19.3%	13.6%
薬物使用現在あり	33	103	130	266
	4.0%	6.9%	10.8%	7.5%

表2-57 問題行動歴

	年少	中間	年長	合計
無免許運転	462	979	671	2,112
	55.4%	65.9%	55.5%	59.9%
(現在あり)	368	614	286	1,268
	44.1%	41.3%	23.7%	35.9%
(現在なし)	94	365	385	844
	11.3%	24.6%	31.9%	23.9%
暴走行為	101	476	313	890
	12.1%	32.1%	25.9%	25.2%
(現在あり)	69	349	128	546
	8.3%	23.5%	10.6%	15.5%
(現在なし)	32	127	185	344
	3.8%	8.6%	15.3%	9.8%
万引き	551	936	687	2,174
	66.1%	63.0%	56.9%	61.7%
(現在あり)	323	305	165	793
	38.8%	20.5%	13.7%	22.5%
(現在なし)	228	631	522	1,381
	27.4%	42.5%	43.2%	39.2%
恐喝	122	253	206	581
	14.6%	17.1%	17.0%	16.5%
(現在あり)	95	154	101	350
	11.4%	10.4%	8.4%	9.9%
(現在なし)	27	99	105	231
	3.2%	6.7%	8.7%	6.6%
喫煙	634	1,221	982	2,837
	76.2%	82.6%	81.8%	80.8%
(現在あり)	602	1,178	943	2,723
	72.4%	79.6%	78.5%	77.5%
(現在なし)	32	43	39	114
	3.8%	2.9%	3.2%	3.2%
飲酒	420	996	880	2,296
	50.7%	67.6%	73.5%	65.6%
(現在あり)	392	952	838	2,182
	47.3%	64.6%	70.0%	62.3%
(現在なし)	28	44	42	114
	3.4%	3.0%	3.5%	3.3%
深夜徘徊	662	1,244	958	2,864
	79.5%	83.8%	79.4%	81.2%
(現在あり)	616	1,151	837	2,604
	73.9%	77.5%	69.3%	73.9%
(現在なし)	46	93	121	260
	5.5%	6.3%	10.0%	7.4%
自傷行為	86	152	137	375
	10.3%	10.2%	11.3%	10.6%
(現在あり)	46	68	44	158
	5.5%	4.6%	3.6%	4.5%
(現在なし)	40	84	93	217
	4.8%	5.7%	7.7%	6.2%
自殺企図	26	55	67	148
	3.1%	3.7%	5.5%	4.2%
(現在あり)	8	20	26	54
	1.0%	1.3%	2.2%	1.5%
(現在なし)	18	35	41	94
	2.2%	2.4%	3.4%	2.7%

校内暴力	234	256	141	631
	28.1%	17.2%	11.7%	17.9%
(現在あり)	162	31	7	200
	19.4%	2.1%	0.6%	5.7%
(現在なし)	72	225	134	431
	8.6%	15.2%	11.1%	12.2%
いじめ加害	146	230	154	530
	17.5%	15.5%	12.7%	15.0%
(現在あり)	66	23	14	103
	7.9%	1.5%	1.2%	2.9%
(現在なし)	80	207	140	427
	9.6%	13.9%	11.6%	12.1%
いじめ被害	209	330	272	811
	25.1%	22.2%	22.5%	23.0%
(現在あり)	42	33	19	94
	5.0%	2.2%	1.6%	2.7%
(現在なし)	167	297	253	717
	20.0%	20.0%	20.9%	20.3%
不登校	466	638	422	1,526
	55.9%	42.9%	34.9%	43.3%
(現在あり)	298	71	24	393
	35.8%	4.8%	2.0%	11.1%
(現在なし)	168	567	398	1,133
	20.2%	38.2%	32.9%	32.1%
家庭内暴力	80	117	107	304
	9.6%	7.9%	8.9%	8.6%
(現在あり)	52	57	41	150
	6.2%	3.8%	3.4%	4.3%
(現在なし)	28	60	66	154
	3.4%	4.0%	5.5%	4.4%
家財持ち出し	137	219	198	554
	16.5%	14.7%	16.5%	15.7%
(現在あり)	39	46	32	117
	4.7%	3.1%	2.7%	3.3%
(現在なし)	98	173	166	437
	11.8%	11.6%	13.8%	12.4%
家出	329	502	389	1,220
	39.4%	33.8%	32.2%	34.6%
(現在あり)	201	240	140	581
	24.1%	16.2%	11.6%	16.5%
(現在なし)	128	262	249	639
	15.3%	17.6%	20.6%	18.1%
文身 (いたずら程度)	156	365	225	746
	18.7%	24.6%	18.6%	21.1%
文身 (本格的)	4	51	134	189
	0.5%	3.4%	11.1%	5.4%

表2-58 居住状況

	年少	中間	年長	合計
家族と同居	759 91.2%	1,310 88.3%	875 72.5%	2,944 83.6%
同棲	1 0.1%	19 1.3%	61 5.1%	81 2.3%
アパート・下宿・間借り・寮	2 0.2%	39 2.6%	107 8.9%	148 4.2%
住込み	1 0.1%	5 0.3%	11 0.9%	17 0.5%
作業員宿舎	0 0.0%	3 0.2%	11 0.9%	14 0.4%
知人宅	17 2.0%	40 2.7%	42 3.5%	99 2.8%
施設	25 3.0%	7 0.5%	5 0.4%	37 1.1%
不良者の居所	10 1.2%	14 0.9%	9 0.7%	33 0.9%
浮浪	4 0.5%	12 0.8%	24 2.0%	40 1.1%
旅館・ホテル	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	1 0.0%
不定	9 1.1%	27 1.8%	47 3.9%	83 2.4%
その他	4 0.5%	6 0.4%	15 1.2%	25 0.7%
合計	832 100.0%	1,483 100.0%	1,207 100.0%	3,522 100.0%

表2-59 保護者

	年少	中間	年長	合計
なし	2 0.2%	6 0.4%	9 0.7%	17 0.5%
実父母	306 36.7%	634 42.8%	541 44.8%	1,481 42.0%
実父	73 8.8%	148 10.0%	119 9.9%	340 9.7%
実母	343 41.2%	498 33.6%	359 29.7%	1,200 34.1%
実父義母	16 1.9%	30 2.0%	34 2.8%	80 2.3%
義父実母	68 8.2%	127 8.6%	101 8.4%	296 8.4%
養父(母)	2 0.2%	14 0.9%	9 0.7%	25 0.7%
その他	23 2.8%	26 1.8%	35 2.9%	84 2.4%
合計	833 100.0%	1,483 100.0%	1,207 100.0%	3,523 100.0%

表2-60 保護者の職業

	年少	中間	年長	合計
無職者	98 12.0%	129 8.8%	123 10.5%	350 10.1%
専門的・技術的職業	58 7.1%	137 9.4%	130 11.0%	325 9.4%
管理的職業	30 3.7%	70 4.8%	62 5.3%	162 4.7%
事務	74 9.1%	132 9.0%	107 9.1%	313 9.1%
販売	59 7.2%	126 8.6%	91 7.7%	276 8.0%
サービス職業	193 23.6%	304 20.8%	231 19.6%	728 21.1%
保安職業	9 1.1%	13 0.9%	10 0.8%	32 0.9%
農林漁業	5 0.6%	22 1.5%	13 1.1%	40 1.2%
運輸・通信	74 9.1%	153 10.5%	104 8.8%	331 9.6%
技能工、採掘・製造・ 建設作業及び労務作業	217 26.6%	377 25.8%	306 26.0%	900 26.0%
合計	817 100.0%	1,463 100.0%	1,177 100.0%	3,457 100.0%

表2-61 家庭の生活程度

	年少	中間	年長	合計
富裕	17 2.0%	61 4.1%	62 5.2%	140 4.0%
普通	580 69.8%	1,050 70.9%	803 66.9%	2,433 69.3%
貧困	234 28.2%	369 24.9%	335 27.9%	938 26.7%
合計	831 100.0%	1,480 100.0%	1,200 100.0%	3,511 100.0%

表2-62 父との関係

	年少	中間	年長	合計
問題なし	208 25.0%	483 32.6%	393 32.6%	1,084 30.8%
問題あり	362 43.5%	633 42.7%	509 42.2%	1,504 42.7%
(依存)	30 3.6%	46 3.1%	50 4.1%	126 3.6%
(対立)	69 8.3%	146 9.9%	102 8.5%	317 9.0%
(疎遠)	168 20.2%	320 21.6%	253 21.0%	741 21.1%
(その他の問題)	95 11.4%	121 8.2%	104 8.6%	320 9.1%
該当なし	263 31.6%	366 24.7%	303 25.1%	932 26.5%
合計	833 100.0%	1,482 100.0%	1,205 100.0%	3,520 100.0%

表2-63 母との関係

	年少	中間	年長	合計
問題なし	265 31.9%	632 42.7%	512 42.5%	1,409 40.1%
問題あり	504 60.6%	735 49.6%	583 48.4%	1,822 51.8%
(依存)	161 19.4%	191 12.9%	151 12.5%	503 14.3%
(対立)	90 10.8%	161 10.9%	105 8.7%	356 10.1%
(疎遠)	104 12.5%	175 11.8%	175 14.5%	454 12.9%
(その他の問題)	149 17.9%	208 14.0%	152 12.6%	509 14.5%
該当なし	63 7.6%	114 7.7%	109 9.1%	286 8.1%
合計	832 100.0%	1,481 100.0%	1,204 100.0%	3,517 100.0%

表2-64 家族の特徴

	年少	中間	年長	合計
離婚	513 61.7%	794 53.5%	590 48.9%	1,897 53.9%
離散	106 12.8%	165 11.1%	169 14.0%	440 12.5%
経済的困窮	214 25.7%	362 24.4%	307 25.4%	883 25.1%
酒乱者	56 6.7%	88 5.9%	74 6.1%	218 6.2%
被虐待	128 15.4%	136 9.2%	125 10.4%	389 11.1%
犯罪者・非行者	190 22.8%	246 16.6%	207 17.2%	643 18.3%
自殺者	16 1.9%	9 0.6%	22 1.8%	47 1.3%
精神障害者	48 5.8%	86 5.8%	65 5.4%	199 5.7%
家族間葛藤	338 40.6%	575 38.8%	449 37.2%	1,362 38.7%
指導力欠如	563 67.7%	883 59.5%	684 56.8%	2,130 60.5%
その他の特徴	82 9.9%	110 7.4%	120 10.0%	312 8.9%
いずれかに該当	755 90.5%	1,296 87.2%	1,024 84.7%	3,075 87.1%
複数項目に該当	597 71.6%	937 63.1%	738 61.0%	2,272 64.4%

表2-65 保護者との面会

	年少	中間	年長	合計
0	63 7.6%	146 10.0%	176 14.7%	385 11.0%
1	107 12.9%	277 18.9%	268 22.4%	652 18.7%
2	144 17.4%	343 23.4%	250 20.9%	737 21.1%
3	117 14.1%	216 14.7%	169 14.2%	502 14.4%
4	97 11.7%	142 9.7%	101 8.5%	340 9.7%
5	301 36.3%	342 23.3%	230 19.3%	873 25.0%
合計	829 100.0%	1,466 100.0%	1,194 100.0%	3,489 100.0%

表2-66 保護者からの受信

	年少	中間	年長	合計
0	422 51.0%	809 55.3%	698 58.5%	1,929 55.4%
1	150 18.1%	326 22.3%	230 19.3%	706 20.3%
2	98 11.8%	166 11.3%	126 10.6%	390 11.2%
3	53 6.4%	66 4.5%	51 4.3%	170 4.9%
4	33 4.0%	32 2.2%	37 3.1%	102 2.9%
5	72 8.7%	64 4.4%	51 4.3%	187 5.4%
合計	828 100.0%	1,463 100.0%	1,193 100.0%	3,484 100.0%
面会・受信ともに0	55 6.6%	108 7.4%	138 11.6%	301 8.6%

表2-67 保護者への発信

	年少	中間	年長	合計
0	306 37.0%	590 40.4%	481 40.4%	1,377 39.6%
1	205 24.8%	426 29.2%	324 27.2%	955 27.4%
2	132 15.9%	219 15.0%	193 16.2%	544 15.6%
3	65 7.9%	106 7.3%	90 7.6%	261 7.5%
4	44 5.3%	49 3.4%	39 3.3%	132 3.8%
5	76 9.2%	71 4.9%	65 5.5%	212 6.1%
合計	828 100.0%	1,461 100.0%	1,192 100.0%	3,481 100.0%

表2-68 教育程度

	年少	中間	年長	合計
中学在学	502	3	2	507
	60.3%	0.2%	0.2%	14.4%
高校在学	170	467	107	744
	20.4%	31.6%	8.9%	21.1%
高専在学	2	14	8	24
	0.2%	0.9%	0.7%	0.7%
短大在学	0	1	5	6
	0.0%	0.1%	0.4%	0.2%
大学在学	0	0	52	52
	0.0%	0.0%	4.3%	1.5%
中学卒業	135	466	312	913
	16.2%	31.5%	25.8%	26.0%
高校卒業	0	1	198	199
	0.0%	0.1%	16.4%	5.7%
高校中退	21	511	494	1,026
	2.5%	34.6%	40.9%	29.2%
高専中退	0	11	15	26
	0.0%	0.7%	1.2%	0.7%
大学中退	0	0	4	4
	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%
その他	2	5	10	17
	0.2%	0.3%	0.8%	0.5%
合計	832	1,479	1,207	3,518
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-69 学校生活への意欲

	年少	中間	年長	合計
なし	397	210	45	652
	59.1%	43.5%	26.6%	49.2%
あり	275	273	124	672
	40.9%	56.5%	73.4%	50.8%
合計	672	483	169	1,324
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-70 怠学の有無

	年少	中間	年長	合計
なし	144	205	87	436
	21.4%	42.4%	51.8%	32.9%
あり	529	278	81	888
	78.6%	57.6%	48.2%	67.1%
合計	673	483	168	1,324
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-71 学業成績

	年少	中間	年長	合計
上位	3	16	9	28
	0.4%	3.3%	5.5%	2.1%
中位	71	131	72	274
	10.6%	27.2%	44.2%	20.8%
下位	597	335	82	1,014
	89.0%	69.5%	50.3%	77.1%
合計	671	482	163	1,316
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-72 同級生との関係

	年少	中間	年長	合計
問題なし	336	386	139	861
	49.9%	79.9%	82.7%	65.0%
問題あり	337	97	29	463
	50.1%	20.1%	17.3%	35.0%
合計	673	483	168	1,324
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-73 教師との関係

	年少	中間	年長	合計
問題なし	320	411	157	888
	47.6%	85.1%	93.5%	67.1%
問題あり	352	72	11	435
	52.4%	14.9%	6.5%	32.9%
合計	672	483	168	1,323
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-74 校内での問題行動

	年少	中間	年長	合計
なし	253	359	148	760
	37.6%	74.3%	88.1%	57.4%
あり	419	124	20	563
	62.4%	25.7%	11.9%	42.6%
合計	672	483	168	1,323
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-75 校内での非行

	年少	中間	年長	合計
なし	471	443	154	1,068
	70.0%	91.7%	91.7%	80.7%
あり	202	40	14	256
	30.0%	8.3%	8.3%	19.3%
合計	673	483	168	1,324
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-76 進路の明確さ

	年少	中間	年長	合計
明確	16 2.4%	20 4.1%	18 11.0%	54 4.1%
どちらかといえば明確	120 17.8%	104 21.5%	57 34.8%	281 21.3%
どちらかといえば不明確	266 39.5%	212 43.9%	61 37.2%	539 40.8%
不明確	271 40.3%	147 30.4%	28 17.1%	446 33.8%
合計	673 100.0%	483 100.0%	164 100.0%	1,320 100.0%

表2-77 職業

	年少	中間	年長	合計
無職者（その他）	86 10.4%	440 30.0%	406 34.5%	932 26.8%
無職者（学生・生徒）	673 81.6%	461 31.4%	159 13.5%	1,293 37.2%
事務	0 0.0%	1 0.1%	6 0.5%	7 0.2%
販売	0 0.0%	11 0.7%	21 1.8%	32 0.9%
サービス職業（調理関係）	2 0.2%	24 1.6%	15 1.3%	41 1.2%
サービス職業（接客関係）	10 1.2%	44 3.0%	85 7.2%	139 4.0%
サービス職業（その他）	5 0.6%	17 1.2%	26 2.2%	48 1.4%
農林漁業	1 0.1%	4 0.3%	3 0.3%	8 0.2%
運輸・通信	0 0.0%	6 0.4%	15 1.3%	21 0.6%
技能工等（製造関係）	4 0.5%	30 2.0%	55 4.7%	89 2.6%
技能工等（建設関係）	29 3.5%	300 20.4%	236 20.0%	565 16.3%
技能工等（労務関係）	11 1.3%	107 7.3%	113 9.6%	231 6.7%
技能工等（その他）	3 0.4%	16 1.1%	18 1.5%	37 1.1%
その他の職業	1 0.1%	8 0.5%	20 1.7%	29 0.8%
合計	825 100.0%	1,469 100.0%	1,178 100.0%	3,472 100.0%

表2-78 就労意欲

	年少	中間	年長	合計
なし	9 13.6%	87 15.4%	64 10.6%	160 12.9%
あり	57 86.4%	479 84.6%	540 89.4%	1,076 87.1%
合計	66 100.0%	566 100.0%	604 100.0%	1,236 100.0%

表2-79 就業状況

	年少	中間	年長	合計
問題なし	53 80.3%	427 75.6%	452 74.8%	932 75.5%
問題あり	13 19.7%	138 24.4%	152 25.2%	303 24.5%
合計	66 100.0%	565 100.0%	604 100.0%	1,235 100.0%

表2-80 就業期間

	年少	中間	年長	合計
1月以内	23 35.4%	103 18.3%	91 15.1%	217 17.6%
3月以内	35 53.8%	153 27.1%	162 26.9%	350 28.4%
6月以内	6 9.2%	117 20.7%	124 20.6%	247 20.0%
1年以内	0 0.0%	102 18.1%	111 18.4%	213 17.3%
2年以内	1 1.5%	77 13.7%	77 12.8%	155 12.6%
3年以内	0 0.0%	10 1.8%	31 5.1%	41 3.3%
3年を超える	0 0.0%	2 0.4%	7 1.2%	9 0.7%
合計	65 100.0%	564 100.0%	603 100.0%	1,232 100.0%

表2-81 同僚との関係

	年少	中間	年長	合計
問題なし	64 97.0%	530 93.8%	560 92.9%	1,154 93.5%
問題あり	2 3.0%	35 6.2%	43 7.1%	80 6.5%
合計	66 100.0%	565 100.0%	603 100.0%	1,234 100.0%

表2-82 上司との関係

	年少	中間	年長	合計
問題なし	61	511	540	1,112
	92.4%	90.6%	89.4%	90.1%
問題あり	5	53	64	122
	7.6%	9.4%	10.6%	9.9%
合計	66	564	604	1,234
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-83 犯罪性のある同僚との関係

	年少	中間	年長	合計
なし	57	484	493	1,034
	86.4%	85.8%	81.8%	83.9%
あり	9	80	110	199
	13.6%	14.2%	18.2%	16.1%
合計	66	564	603	1,233
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-84 職場内での犯罪

	年少	中間	年長	合計
なし	66	555	579	1,200
	100.0%	98.4%	96.0%	97.3%
あり	0	9	24	33
	0.0%	1.6%	4.0%	2.7%
合計	66	564	603	1,233
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-85 就労目標・計画の明確さ

	年少	中間	年長	合計
明確	3	35	49	87
	4.8%	6.3%	8.3%	7.2%
どちらかといえば明確	24	212	203	439
	38.1%	38.2%	34.2%	36.3%
どちらかといえば不明確	23	208	243	474
	36.5%	37.5%	41.0%	39.1%
不明確	13	100	98	211
	20.6%	18.0%	16.5%	17.4%
合計	63	555	593	1,211
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-86 親しい友人グループ

	年少	中間	年長	合計
なし	29 3.6%	62 4.3%	122 10.3%	213 6.2%
学校仲間	240 29.5%	117 8.1%	94 7.9%	451 13.1%
遊び仲間	438 53.9%	993 68.4%	768 64.6%	2,199 63.7%
職場仲間	2 0.2%	24 1.7%	44 3.7%	70 2.0%
施設仲間	9 1.1%	3 0.2%	2 0.2%	14 0.4%
不良集団	92 11.3%	236 16.3%	135 11.4%	463 13.4%
その他	3 0.4%	16 1.1%	24 2.0%	43 1.2%
合計	813 100.0%	1,451 100.0%	1,189 100.0%	3,453 100.0%

表2-87 精神診断

	年少	中間	年長	合計
精神障害なし	781 93.9%	1,392 93.9%	1,120 92.9%	3,293 93.6%
精神障害あり	51 6.1%	90 6.1%	86 7.1%	227 6.4%
合計	832 100.0%	1,482 100.0%	1,206 100.0%	3,520 100.0%

表2-88 精神科診断名の数

	年少	中間	年長	合計
1種	30 71.4%	57 76.0%	56 71.8%	143 73.3%
2種	11 26.2%	16 21.3%	17 21.8%	44 22.6%
3種	1 2.4%	2 2.7%	5 6.4%	8 4.1%
合計	42 100.0%	75 100.0%	78 100.0%	195 100.0%

表2-89 精神科診断名

	年少	中間	年長	合計
知的障害	11 1.3%	11 0.7%	24 2.0%	46 1.3%
コミュニケーション障害	2 0.2%	1 0.1%	1 0.1%	4 0.1%
広汎性発達障害	11 1.3%	9 0.6%	6 0.5%	26 0.7%
学習障害	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	1 0.0%
注意欠陥／多動性障害	13 1.6%	21 1.4%	7 0.6%	41 1.2%
行為障害	6 0.7%	6 0.4%	2 0.2%	14 0.4%
反抗挑戦性障害	1 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	2 0.1%
チック障害	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%
反応性愛着障害	1 0.1%	2 0.1%	0 0.0%	3 0.1%
物質関連障害	1 0.1%	7 0.5%	6 0.5%	14 0.4%
統合失調症	1 0.1%	1 0.1%	3 0.2%	5 0.1%
気分障害	1 0.1%	6 0.4%	8 0.7%	15 0.4%
不安障害	0 0.0%	5 0.3%	4 0.3%	9 0.3%
解離性障害	0 0.0%	2 0.1%	2 0.2%	4 0.1%
性同一性障害	0 0.0%	2 0.1%	3 0.2%	5 0.1%
摂食障害	0 0.0%	1 0.1%	2 0.2%	3 0.1%
不眠・睡眠障害	0 0.0%	4 0.3%	4 0.3%	8 0.2%
適応障害	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%	2 0.1%
パーソナリティ障害	1 0.1%	3 0.2%	8 0.7%	12 0.3%
てんかん	2 0.2%	4 0.3%	9 0.7%	15 0.4%
拘禁反応	0 0.0%	1 0.1%	3 0.2%	4 0.1%
心因反応	0 0.0%	1 0.1%	3 0.2%	4 0.1%
PTSD	0 0.0%	2 0.1%	2 0.2%	4 0.1%
その他	3 0.4%	4 0.3%	6 0.5%	13 0.4%
合計	55	95	105	255

表2-90 知能指数（新田中B式知能検査）

	年少	中間	年長	合計
59以下	19 2.3%	9 0.6%	14 1.2%	42 1.2%
60～69	46 5.6%	54 3.7%	31 2.6%	131 3.8%
70～79	177 21.4%	162 11.1%	97 8.2%	436 12.6%
80～89	210 25.4%	317 21.7%	201 17.0%	728 21.0%
90～99	207 25.0%	447 30.6%	370 31.3%	1,024 29.5%
100～109	117 14.1%	321 22.0%	309 26.1%	747 21.5%
110～119	38 4.6%	108 7.4%	111 9.4%	257 7.4%
120以上	14 1.7%	44 3.0%	51 4.3%	109 3.1%
合計	828 100.0%	1,462 100.0%	1,184 100.0%	3,474 100.0%

表2-91 知能指数（個別式知能検査）

	年少	中間	年長	合計
59以下	3 1.5%	13 6.6%	17 11.3%	33 6.0%
60～69	29 14.2%	44 22.2%	40 26.7%	113 20.5%
70～79	61 29.9%	45 22.7%	33 22.0%	139 25.2%
80～89	57 27.9%	58 29.3%	25 16.7%	140 25.4%
90～99	35 17.2%	24 12.1%	15 10.0%	74 13.4%
100～109	14 6.9%	9 4.5%	11 7.3%	34 6.2%
110～119	3 1.5%	4 2.0%	6 4.0%	13 2.4%
120以上	2 1.0%	1 0.5%	3 2.0%	6 1.1%
合計	204 100.0%	198 100.0%	150 100.0%	552 100.0%

表2-92 医療措置の要否

	年少	中間	年長	合計
不要	718 87.2%	1,232 84.2%	994 82.9%	2,944 84.5%
要	102 12.4%	224 15.3%	196 16.3%	522 15.0%
未了	3 0.4%	7 0.5%	9 0.8%	19 0.5%
合計	823 100.0%	1,463 100.0%	1,199 100.0%	3,485 100.0%

表2-93 特別更新の有無

	年少	中間	年長	合計
なし	834	1,481	1,201	3,516
	100.0%	99.7%	99.4%	99.7%
あり	0	4	7	11
	0.0%	0.3%	0.6%	0.3%
合計	834	1,485	1,208	3,527
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-94 鑑別判定

	年少	中間	年長	合計
保護不要	3	10	14	27
	0.4%	0.7%	1.2%	0.8%
在宅保護（保護観察）	379	667	515	1,561
	45.4%	45.0%	42.6%	44.3%
在宅保護（その他）	13	6	6	25
	1.6%	0.4%	0.5%	0.7%
收容保護（初等・長期）	171	2	1	174
	20.5%	0.1%	0.1%	4.9%
收容保護（初等・一般短期）	72	0	0	72
	8.6%	0.0%	0.0%	2.0%
收容保護（初等・特修短期）	1	0	0	1
	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
收容保護（中等・長期）	31	497	404	932
	3.7%	33.5%	33.4%	26.4%
收容保護（中等・一般短期）	16	269	156	441
	1.9%	18.1%	12.9%	12.5%
收容保護（中等・特修短期）	0	4	11	15
	0.0%	0.3%	0.9%	0.4%
收容保護（特別）	0	1	20	21
	0.0%	0.1%	1.7%	0.6%
收容保護（医療）	4	14	18	36
	0.5%	0.9%	1.5%	1.0%
收容保護（児童自立支援施設等送致）	138	1	0	139
	16.5%	0.1%	0.0%	3.9%
保護不適（検察官送致）	0	2	39	41
	0.0%	0.1%	3.2%	1.2%
保護不適（その他）	1	0	1	2
	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%
保留	5	10	21	36
	0.6%	0.7%	1.7%	1.0%
その他	0	0	2	2
	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%
合計	834	1,483	1,208	3,525
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-95 審判決定等

	年少	中間	年長	合計
不処分	5	19	18	42
	0.6%	1.3%	1.5%	1.2%
保護観察	396	775	573	1,744
	47.7%	52.4%	47.7%	49.7%
知事・児童相談所長送致	19	1	0	20
	2.3%	0.1%	0.0%	0.6%
初等少年院（一般短期）送致	46	0	0	46
	5.5%	0.0%	0.0%	1.3%
初等少年院（特修短期）送致	2	0	0	2
	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%
初等少年院（長期）送致	94	0	0	94
	11.3%	0.0%	0.0%	2.7%
中等少年院（一般短期）送致	5	135	88	228
	0.6%	9.1%	7.3%	6.5%
中等少年院（特修短期）送致	0	5	7	12
	0.0%	0.3%	0.6%	0.3%
中等少年院（長期）送致	13	300	254	567
	1.6%	20.3%	21.1%	16.2%
特別少年院送致	0	1	20	21
	0.0%	0.1%	1.7%	0.6%
医療少年院送致	5	12	18	35
	0.6%	0.8%	1.5%	1.0%
児童自立支援施設等送致	88	1	0	89
	10.6%	0.1%	0.0%	2.5%
検察官送致（19条2項）	0	1	0	1
	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
検察官送致（20条）	0	0	48	48
	0.0%	0.0%	4.0%	1.4%
試験観察（在宅）	135	168	108	411
	16.2%	11.4%	9.0%	11.7%
試験観察（補導委託）	7	28	19	54
	0.8%	1.9%	1.6%	1.5%
観護措置取消	14	30	46	90
	1.7%	2.0%	3.8%	2.6%
その他	2	2	2	6
	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%
合計	831	1,478	1,201	3,510
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-97 前回鑑別判定

	年少	中間	年長	合計
該当なし	725	1,055	814	2,594
	87.0%	71.1%	67.6%	73.7%
保護不要	0	0	2	2
	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%
在宅保護（保護観察）	36	161	132	329
	4.3%	10.9%	11.0%	9.3%
在宅保護（その他）	6	2	1	9
	0.7%	0.1%	0.1%	0.3%
収容保護（初等・長期）	21	54	31	106
	2.5%	3.6%	2.6%	3.0%
収容保護（初等・一般短期）	6	38	8	52
	0.7%	2.6%	0.7%	1.5%
収容保護（初等・特修短期）	0	0	2	2
	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%
収容保護（中等・長期）	1	74	139	214
	0.1%	5.0%	11.5%	6.1%
収容保護（中等・一般短期）	0	29	50	79
	0.0%	2.0%	4.1%	2.2%
収容保護（中等・特修短期）	0	2	0	2
	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
収容保護（特別）	0	0	2	2
	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%
収容保護（医療）	0	1	3	4
	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%
収容保護（児童自立支援施設等送致）	27	37	6	70
	3.2%	2.5%	0.5%	2.0%
保護不適（検察官送致）	0	0	2	2
	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%
保留	3	9	3	15
	0.4%	0.6%	0.2%	0.4%
判定未了	8	18	10	36
	1.0%	1.2%	0.8%	1.0%
その他	0	3	0	3
	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%
合計	833	1,483	1,205	3,521
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-98 前回審判決定等

	年少	中間	年長	合計
該当なし	725 87.0%	1,055 71.1%	814 67.6%	2,594 73.7%
不処分	2 0.2%	8 0.5%	7 0.6%	17 0.5%
保護観察	40 4.8%	187 12.6%	162 13.4%	389 11.0%
知事・児童相談所長送致	7 0.8%	7 0.5%	1 0.1%	15 0.4%
初等少年院（一般短期）送致	4 0.5%	22 1.5%	4 0.3%	30 0.9%
初等少年院（特修短期）送致	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%	2 0.1%
初等少年院（長期）送致	3 0.4%	32 2.2%	20 1.7%	55 1.6%
中等少年院（一般短期）送致	0 0.0%	13 0.9%	40 3.3%	53 1.5%
中等少年院（長期）送致	0 0.0%	15 1.0%	88 7.3%	103 2.9%
特別少年院送致	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	1 0.0%
医療少年院送致	0 0.0%	1 0.1%	3 0.2%	4 0.1%
児童自立支援施設等送致	20 2.4%	30 2.0%	5 0.4%	55 1.6%
検察官送致（20条）	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%	2 0.1%
試験観察（在宅）	19 2.3%	72 4.9%	31 2.6%	122 3.5%
試験観察（補導委託）	0 0.0%	9 0.6%	11 0.9%	20 0.6%
観護措置取消	12 1.4%	32 2.2%	14 1.2%	58 1.6%
その他	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%
合計	833 100.0%	1,483 100.0%	1,205 100.0%	3,521 100.0%

表3-1 性別

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
男	62	19	11	92
	80.5%	86.4%	78.6%	81.4%
女	15	3	3	21
	19.5%	13.6%	21.4%	18.6%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

注 表3-1～表3-55, 表3-57, 表3-58について

「児童自立支援施設送致」群は、鑑別判定・審判決定ともに児童自立支援施設送致であった者を指す。

「その他決定」群は、鑑別判定は児童自立支援施設送致、審判決定は児童自立支援施設送致以外であった者を指す。

「その他判定」群は、鑑別判定が児童自立支援施設送致以外であった者を指す。

表3-2 年齢

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
11	3	1	1	5
	3.9%	4.5%	7.1%	4.4%
12	7	3	2	12
	9.1%	13.6%	14.3%	10.6%
13	67	18	11	96
	87.0%	81.8%	78.6%	85.0%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-3 国籍

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
日本	74	21	13	108
	96.1%	95.5%	92.9%	95.6%
韓国・朝鮮	1	0	0	1
	1.3%	0.0%	0.0%	0.9%
ブラジル	1	0	1	2
	1.3%	0.0%	7.1%	1.8%
フィリピン	1	0	0	1
	1.3%	0.0%	0.0%	0.9%
その他	0	1	0	1
	0.0%	4.5%	0.0%	0.9%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-4 主非行名

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
ぐ犯	34	6	7	47
	44.2%	27.3%	50.0%	41.6%
窃盗	21	5	0	26
	27.3%	22.7%	0.0%	23.0%
傷害	9	6	3	18
	11.7%	27.3%	21.4%	15.9%
強制わいせつ・同致死	2	2	0	4
傷	2.6%	9.1%	0.0%	3.5%
恐喝	1	2	1	4
	1.3%	9.1%	7.1%	3.5%
強姦・同致死傷	0	0	3	3
	0.0%	0.0%	21.4%	2.7%
放火	2	0	0	2
	2.6%	0.0%	0.0%	1.8%
暴行	2	0	0	2
	2.6%	0.0%	0.0%	1.8%
強盗	1	1	0	2
	1.3%	4.5%	0.0%	1.8%
住居侵入	1	0	0	1
	1.3%	0.0%	0.0%	0.9%
傷害致死	1	0	0	1
	1.3%	0.0%	0.0%	0.9%
詐欺	1	0	0	1
	1.3%	0.0%	0.0%	0.9%
その他の刑法犯	1	0	0	1
	1.3%	0.0%	0.0%	0.9%
その他の特別法犯	1	0	0	1
	1.3%	0.0%	0.0%	0.9%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-5 非行時の身上

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
該当なし	64	18	11	93
	83.1%	81.8%	78.6%	82.3%
試験観察中（補導委 託）	1	0	0	1
	1.3%	0.0%	0.0%	0.9%
試験観察中（在宅）	1	0	1	2
	1.3%	0.0%	7.1%	1.8%
施設在所中	11	4	2	17
	14.3%	18.2%	14.3%	15.0%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-6 非行の動機

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
遊び	10 13.0%	2 9.1%	3 21.4%	15 13.3%
乗りたくて	3 3.9%	1 4.5%	0 0.0%	4 3.5%
目立ちたくて	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%
突っ張り	5 6.5%	1 4.5%	0 0.0%	6 5.3%
うさ晴らし	3 3.9%	0 0.0%	3 21.4%	6 5.3%
いやなことから逃げた くて	10 13.0%	3 13.6%	2 14.3%	15 13.3%
かっとなって	11 14.3%	3 13.6%	1 7.1%	15 13.3%
お金や物が欲しくて	19 24.7%	4 18.2%	1 7.1%	24 21.2%
誘われて	4 5.2%	2 9.1%	0 0.0%	6 5.3%
強制されて	1 1.3%	1 4.5%	1 7.1%	3 2.7%
反発したくなって	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%
性的興味	4 5.2%	1 4.5%	3 21.4%	8 7.1%
なんとなく	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%	2 1.8%
その他	5 6.5%	2 9.1%	0 0.0%	7 6.2%
合計	77 100.0%	22 100.0%	14 100.0%	113 100.0%

表3-7 身体的被害

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
1月未満	15 88.2%	7 100.0%	4 100.0%	26 92.9%
1月以上	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.6%
死亡	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.6%
合計	17 100.0%	7 100.0%	4 100.0%	28 100.0%

表3-8 経済的被害

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
1万円未満	6 18.2%	2 25.0%	1 33.3%	9 20.5%
10万円未満	16 48.5%	5 62.5%	2 66.7%	23 52.3%
10万円以上	11 33.3%	1 12.5%	0 0.0%	12 27.3%
合計	33 100.0%	8 100.0%	3 100.0%	44 100.0%

表3-9 被害者との関係

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
親族	4 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.8%
遊び仲間	5 8.9%	0 0.0%	3 30.0%	8 9.6%
不良仲間	2 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.4%
その他（面識あり）	20 35.7%	11 64.7%	4 40.0%	35 42.2%
その他（面識なし）	25 44.6%	6 35.3%	3 30.0%	34 41.0%
合計	56 100.0%	17 100.0%	10 100.0%	83 100.0%

表3-10 被害者の年齢

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
少年	19 36.5%	9 52.9%	4 40.0%	32 40.5%
成人	28 53.8%	7 41.2%	5 50.0%	40 50.6%
成人と少年	5 9.6%	1 5.9%	1 10.0%	7 8.9%
合計	52 100.0%	17 100.0%	10 100.0%	79 100.0%

表3-11 共犯数

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
単独	50 64.9%	8 36.4%	9 64.3%	67 59.3%
2人	13 16.9%	2 9.1%	1 7.1%	16 14.2%
3人	5 6.5%	11 50.0%	2 14.3%	18 15.9%
4人以上	9 11.7%	1 4.5%	2 14.3%	12 10.6%
合計	77 100.0%	22 100.0%	14 100.0%	113 100.0%

表3-12 共犯種類

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
学校仲間	5	7	3	15
	18.5%	50.0%	60.0%	32.6%
遊び仲間	14	7	1	22
	51.9%	50.0%	20.0%	47.8%
施設仲間	2	0	1	3
	7.4%	0.0%	20.0%	6.5%
親族	2	0	0	2
	7.4%	0.0%	0.0%	4.3%
不良集団	4	0	0	4
	14.8%	0.0%	0.0%	8.7%
合計	27	14	5	46
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-13 共犯役割

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
主導	5	4	0	9
	18.5%	28.6%	0.0%	19.6%
同格	10	4	3	17
	37.0%	28.6%	60.0%	37.0%
従属	11	5	1	17
	40.7%	35.7%	20.0%	37.0%
その他	1	1	1	3
	3.7%	7.1%	20.0%	6.5%
合計	27	14	5	46
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-14 成人共犯

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
なし	26	14	5	45
	96.3%	100.0%	100.0%	97.8%
あり	1	0	0	1
	3.7%	0.0%	0.0%	2.2%
合計	27	14	5	46
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-15 少年鑑別所入所回数

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
1	72	19	12	103
	93.5%	86.4%	85.7%	91.2%
2	3	3	2	8
	3.9%	13.6%	14.3%	7.1%
3	2	0	0	2
	2.6%	0.0%	0.0%	1.8%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-16 審判不開始歴

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
0	75	21	14	110
	98.7%	100.0%	100.0%	99.1%
3	1	0	0	1
	1.3%	0.0%	0.0%	0.9%
合計	76	21	14	111
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-17 試験観察（在宅）歴

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
0	75	21	13	109
	98.7%	95.5%	92.9%	97.3%
1	1	1	1	3
	1.3%	4.5%	7.1%	2.7%
合計	76	22	14	112
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-18 試験観察（補導委託）歴

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
0	75	22	14	111
	98.7%	100.0%	100.0%	99.1%
1	1	0	0	1
	1.3%	0.0%	0.0%	0.9%
合計	76	22	14	112
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-19 児童自立支援施設送致歴

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
0	68	18	14	100
	89.5%	81.8%	100.0%	89.3%
1	7	3	0	10
	9.2%	13.6%	0.0%	8.9%
2	1	1	0	2
	1.3%	4.5%	0.0%	1.8%
合計	76	22	14	112
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-20 知事・児童相談所所長送致歴

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
0	68	21	14	103
	89.5%	95.5%	100.0%	92.0%
1	5	1	0	6
	6.6%	4.5%	0.0%	5.4%
2	3	0	0	3
	3.9%	0.0%	0.0%	2.7%
合計	76	22	14	112
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-21 再非行期間

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
前回処分なし	68	18	14	100
	89.5%	85.7%	100.0%	90.1%
1月以内	5	1	0	6
	6.6%	4.8%	0.0%	5.4%
3月以内	1	1	0	2
	1.3%	4.8%	0.0%	1.8%
6月以内	1	1	0	2
	1.3%	4.8%	0.0%	1.8%
施設在所中の非行	1	0	0	1
	1.3%	0.0%	0.0%	0.9%
合計	76	21	14	111
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-22 非行初発年齢

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
6	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	7.1%	0.9%
8	1	1	1	3
	1.3%	4.5%	7.1%	2.7%
9	7	2	0	9
	9.2%	9.1%	0.0%	8.0%
10	10	3	0	13
	13.2%	13.6%	0.0%	11.6%
11	8	3	1	12
	10.5%	13.6%	7.1%	10.7%
12	27	9	5	41
	35.5%	40.9%	35.7%	36.6%
13	23	4	6	33
	30.3%	18.2%	42.9%	29.5%
合計	76	22	14	112
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-23 非行の範囲

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
財産犯	52 67.5%	16 72.7%	7 50.0%	75 66.4%
凶悪犯	4 5.2%	1 4.5%	0 0.0%	5 4.4%
粗暴犯	42 54.5%	11 50.0%	9 64.3%	62 54.9%
性犯罪	4 5.2%	5 22.7%	3 21.4%	12 10.6%
薬物犯	4 5.2%	2 9.1%	0 0.0%	6 5.3%
交通犯罪	20 26.0%	4 18.2%	1 7.1%	25 22.1%
その他の犯罪	18 23.4%	7 31.8%	0 0.0%	25 22.1%

表3-24 不良集団関係

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
不良生徒・学生集団	39 51.3%	10 45.5%	4 28.6%	53 47.3%
(現在あり)	38 50.0%	10 45.5%	4 28.6%	52 46.4%
(現在なし)	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%
地域不良集団	55 27.6%	19 13.6%	13 7.1%	87 22.3%
(現在あり)	19 25.0%	3 13.6%	1 7.1%	23 20.5%
(現在なし)	2 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.8%
暴走族	68 10.5%	20 9.1%	14 0.0%	102 8.9%
(現在あり)	6 7.9%	2 9.1%	0 0.0%	8 7.1%
(現在なし)	2 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.8%
暴力団	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
(現在あり)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
(現在なし)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
(現在あり)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
(現在なし)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
不良集団現在あり	47 61.0%	10 45.5%	5 35.7%	62 54.9%

表3-25 不良集団内の立場

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
該当なし	6	1	0	7
	13.0%	10.0%	0.0%	11.5%
中心的	20	5	0	25
	43.5%	50.0%	0.0%	41.0%
周辺の	20	4	5	29
	43.5%	40.0%	100.0%	47.5%
合計	46	10	5	61
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-26 薬物使用歴

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
麻薬	1	0	0	1
	1.3%	0.0%	0.0%	0.9%
(現在あり)	1	0	0	1
	1.3%	0.0%	0.0%	0.9%
(現在なし)	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
あへん	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(現在あり)	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(現在なし)	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大麻	3	1	0	4
	3.9%	4.5%	0.0%	3.5%
(現在あり)	1	0	0	1
	1.3%	0.0%	0.0%	0.9%
(現在なし)	2	1	0	3
	2.6%	4.5%	0.0%	2.7%
覚せい剤	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(現在あり)	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(現在なし)	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
有機溶剤	8	2	0	10
	10.4%	9.1%	0.0%	8.8%
(現在あり)	4	1	0	5
	5.2%	4.5%	0.0%	4.4%
(現在なし)	4	1	0	5
	5.2%	4.5%	0.0%	4.4%
その他の薬物	7	2	0	9
	9.1%	9.1%	0.0%	8.0%
(現在あり)	3	0	0	3
	3.9%	0.0%	0.0%	2.7%
(現在なし)	4	2	0	6
	5.2%	9.1%	0.0%	5.3%
薬物使用歴あり	15	3	0	18
	19.5%	13.6%	0.0%	15.9%
薬物使用現在あり	7	1	0	8
	9.1%	4.5%	0.0%	7.1%

表3-27 問題行動歴

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
無免許運転	42	11	1	54
	54.5%	50.0%	7.1%	47.8%
(現在あり)	32	9	0	41
	41.6%	40.9%	0.0%	36.3%
(現在なし)	10	2	1	13
	13.0%	9.1%	7.1%	11.5%
暴走行為	10	1	0	11
	13.0%	4.5%	0.0%	9.7%
(現在あり)	4	1	0	5
	5.2%	4.5%	0.0%	4.4%
(現在なし)	6	0	0	6
	7.8%	0.0%	0.0%	5.3%
万引き	58	15	6	79
	75.3%	68.2%	42.9%	69.9%
(現在あり)	31	8	5	44
	40.3%	36.4%	35.7%	38.9%
(現在なし)	27	7	1	35
	35.1%	31.8%	7.1%	31.0%
恐喝	18	9	2	29
	23.4%	40.9%	14.3%	25.7%
(現在あり)	12	6	2	20
	15.6%	27.3%	14.3%	17.7%
(現在なし)	6	3	0	9
	7.8%	13.6%	0.0%	8.0%
喫煙	48	14	7	69
	69.6%	70.0%	50.0%	67.0%
(現在あり)	41	13	6	60
	59.4%	65.0%	42.9%	58.3%
(現在なし)	7	1	1	9
	10.1%	5.0%	7.1%	8.7%
飲酒	23	8	3	34
	34.8%	42.1%	21.4%	34.3%
(現在あり)	21	8	2	31
	31.8%	42.1%	14.3%	31.3%
(現在なし)	2	0	1	3
	3.0%	0.0%	7.1%	3.0%
深夜徘徊	58	17	8	83
	75.3%	77.3%	57.1%	73.5%
(現在あり)	48	14	6	68
	62.3%	63.6%	42.9%	60.2%
(現在なし)	10	3	2	15
	13.0%	13.6%	14.3%	13.3%
自傷行為	18	3	1	22
	23.4%	13.6%	7.1%	19.5%
(現在あり)	10	2	0	12
	13.0%	9.1%	0.0%	10.6%
(現在なし)	8	1	1	10
	10.4%	4.5%	7.1%	8.8%
自殺企図	7	1	0	8
	9.1%	4.5%	0.0%	7.1%
(現在あり)	2	1	0	3
	2.6%	4.5%	0.0%	2.7%
(現在なし)	5	0	0	5
	6.5%	0.0%	0.0%	4.4%

校内暴力	22	7	6	35
	28.6%	31.8%	42.9%	31.0%
(現在あり)	11	4	4	19
	14.3%	18.2%	28.6%	16.8%
(現在なし)	11	3	2	16
	14.3%	13.6%	14.3%	14.2%
いじめ加害	26	7	1	34
	34.2%	31.8%	7.1%	30.4%
(現在あり)	7	2	0	9
	9.2%	9.1%	0.0%	8.0%
(現在なし)	19	5	1	25
	25.0%	22.7%	7.1%	22.3%
いじめ被害	17	5	3	25
	22.1%	22.7%	21.4%	22.1%
(現在あり)	3	2	2	7
	3.9%	9.1%	14.3%	6.2%
(現在なし)	14	3	1	18
	18.2%	13.6%	7.1%	15.9%
不登校	52	13	8	73
	67.5%	59.1%	57.1%	64.6%
(現在あり)	44	11	6	61
	57.1%	50.0%	42.9%	54.0%
(現在なし)	8	2	2	12
	10.4%	9.1%	14.3%	10.6%
家庭内暴力	19	2	5	26
	24.7%	9.1%	35.7%	23.0%
(現在あり)	14	1	4	19
	18.2%	4.5%	28.6%	16.8%
(現在なし)	5	1	1	7
	6.5%	4.5%	7.1%	6.2%
家財持ち出し	20	4	3	27
	27.0%	20.0%	21.4%	25.0%
(現在あり)	6	2	1	9
	8.1%	10.0%	7.1%	8.3%
(現在なし)	14	2	2	18
	18.9%	10.0%	14.3%	16.7%
家出	49	9	7	65
	63.6%	40.9%	50.0%	57.5%
(現在あり)	36	8	5	49
	46.8%	36.4%	35.7%	43.4%
(現在なし)	13	1	2	16
	16.9%	4.5%	14.3%	14.2%
文身 (いたずら程度)	20	5	1	26
	26.0%	22.7%	7.1%	23.0%
文身 (本格的)	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表3-28 居住状況

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
家族と同居	60	16	12	88
	77.9%	72.7%	85.7%	77.9%
施設	12	6	2	20
	15.6%	27.3%	14.3%	17.7%
浮浪	3	0	0	3
	3.9%	0.0%	0.0%	2.7%
不定	2	0	0	2
	2.6%	0.0%	0.0%	1.8%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-29 保護者

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
実父母	17	4	4	25
	22.1%	18.2%	28.6%	22.1%
実父	8	1	1	10
	10.4%	4.5%	7.1%	8.8%
実母	41	14	6	61
	53.2%	63.6%	42.9%	54.0%
実父義母	3	0	0	3
	3.9%	0.0%	0.0%	2.7%
義父実母	3	1	3	7
	3.9%	4.5%	21.4%	6.2%
養父（母）	1	0	0	1
	1.3%	0.0%	0.0%	0.9%
その他	4	2	0	6
	5.2%	9.1%	0.0%	5.3%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-30 保護者の職業

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
無職者	20 27.4%	5 23.8%	0 0.0%	25 23.1%
専門的・技術的職業	4 5.5%	1 4.8%	2 14.3%	7 6.5%
管理的職業	1 1.4%	1 4.8%	1 7.1%	3 2.8%
事務	5 6.8%	2 9.5%	1 7.1%	8 7.4%
販売	8 11.0%	2 9.5%	2 14.3%	12 11.1%
サービス職業	11 15.1%	5 23.8%	2 14.3%	18 16.7%
保安職業	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 0.9%
運輸・通信	8 11.0%	0 0.0%	1 7.1%	9 8.3%
技能工、採掘・製造・ 建設作業及び労務作業	16 21.9%	5 23.8%	4 28.6%	25 23.1%
合計	73 100.0%	21 100.0%	14 100.0%	108 100.0%

表3-31 家庭の生活程度

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
富裕	1 1.3%	1 4.5%	1 7.1%	3 2.7%
普通	43 55.8%	16 72.7%	11 78.6%	70 61.9%
貧困	32 41.6%	5 22.7%	2 14.3%	39 34.5%
不詳	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%
合計	77 100.0%	22 100.0%	14 100.0%	113 100.0%

表3-32 父との関係

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
問題なし	5 6.6%	2 9.1%	3 21.4%	10 8.9%
問題あり	45 59.2%	13 59.1%	7 50.0%	65 58.0%
(依存)	2 2.6%	2 9.1%	0 0.0%	4 3.6%
(対立)	4 5.3%	1 4.5%	3 21.4%	8 7.1%
(疎遠)	16 21.1%	8 36.4%	3 21.4%	27 24.1%
(その他の問題)	23 30.3%	2 9.1%	1 7.1%	26 23.2%
該当なし	26 34.2%	7 31.8%	4 28.6%	37 33.0%
合計	76 100.0%	22 100.0%	14 100.0%	112 100.0%

表3-33 母との関係

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
問題なし	8 10.4%	4 18.2%	6 42.9%	18 15.9%
問題あり	62 80.5%	18 81.8%	8 57.1%	88 77.9%
(依存)	7 9.1%	6 27.3%	1 7.1%	14 12.4%
(対立)	11 14.3%	0 0.0%	4 28.6%	15 13.3%
(疎遠)	20 26.0%	6 27.3%	2 14.3%	28 24.8%
(その他の問題)	24 31.2%	6 27.3%	1 7.1%	31 27.4%
該当なし	7 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	7 6.2%
合計	77 100.0%	22 100.0%	14 100.0%	113 100.0%

表3-34 家族の特徴

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
離婚	55 71.4%	17 77.3%	10 71.4%	82 72.6%
離散	12 15.6%	4 18.2%	3 21.4%	19 16.8%
経済的困窮	34 44.2%	8 36.4%	3 21.4%	45 39.8%
酒乱者	8 10.4%	2 9.1%	2 14.3%	12 10.6%
被虐待	30 39.0%	2 9.1%	3 21.4%	35 31.0%
犯罪者・非行者	31 40.3%	6 27.3%	1 7.1%	38 33.6%
自殺者	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神障害者	5 6.5%	1 4.5%	0 0.0%	6 5.3%
家族間葛藤	32 41.6%	6 27.3%	4 28.6%	42 37.2%
指導力欠如	61 79.2%	17 77.3%	8 57.1%	86 76.1%
その他の特徴	9 11.7%	2 9.1%	0 0.0%	11 9.7%
いずれかに該当	74 96.1%	20 90.9%	12 85.7%	106 93.8%
複数項目に該当	66 85.7%	15 68.2%	8 57.1%	89 78.8%

表3-35 保護者との面会

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
0	9 11.7%	1 4.5%	0 0.0%	10 8.8%
1	13 16.9%	1 4.5%	2 14.3%	16 14.2%
2	13 16.9%	3 13.6%	2 14.3%	18 15.9%
3	13 16.9%	6 27.3%	1 7.1%	20 17.7%
4	6 7.8%	0 0.0%	0 0.0%	6 5.3%
5	23 29.9%	11 50.0%	9 64.3%	43 38.1%
合計	77 100.0%	22 100.0%	14 100.0%	113 100.0%

表3-36 保護者からの受信

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
0	38	12	5	55
	49.4%	54.5%	35.7%	48.7%
1	15	4	4	23
	19.5%	18.2%	28.6%	20.4%
2	7	1	2	10
	9.1%	4.5%	14.3%	8.8%
3	2	3	0	5
	2.6%	13.6%	0.0%	4.4%
4	8	0	1	9
	10.4%	0.0%	7.1%	8.0%
5	7	2	2	11
	9.1%	9.1%	14.3%	9.7%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-37 保護者への発信

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
0	31	10	6	47
	40.3%	45.5%	42.9%	41.6%
1	13	3	4	20
	16.9%	13.6%	28.6%	17.7%
2	12	3	1	16
	15.6%	13.6%	7.1%	14.2%
3	8	0	0	8
	10.4%	0.0%	0.0%	7.1%
4	5	2	1	8
	6.5%	9.1%	7.1%	7.1%
5	8	4	2	14
	10.4%	18.2%	14.3%	12.4%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-38 教育程度

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
小学在学	8	1	1	10
	10.4%	4.5%	7.1%	8.8%
中学在学	69	21	12	102
	89.6%	95.5%	85.7%	90.3%
その他	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	7.1%	0.9%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-39 学校生活への意欲

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
なし	69 90.8%	18 81.8%	9 64.3%	96 85.7%
あり	7 9.2%	4 18.2%	5 35.7%	16 14.3%
合計	76 100.0%	22 100.0%	14 100.0%	112 100.0%

表3-40 怠学の有無

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
なし	12 15.6%	2 9.1%	4 28.6%	18 15.9%
あり	65 84.4%	20 90.9%	10 71.4%	95 84.1%
合計	77 100.0%	22 100.0%	14 100.0%	113 100.0%

表3-41 学業成績

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
上位	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%
中位	5 6.6%	1 4.5%	1 7.1%	7 6.3%
下位	70 92.1%	21 95.5%	13 92.9%	104 92.9%
合計	76 100.0%	22 100.0%	14 100.0%	112 100.0%

表3-42 同級生との関係

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
問題なし	24 32.9%	7 33.3%	5 35.7%	36 33.3%
問題あり	49 67.1%	14 66.7%	9 64.3%	72 66.7%
合計	73 100.0%	21 100.0%	14 100.0%	108 100.0%

表3-43 教師との関係

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
問題なし	23	10	6	39
	32.9%	47.6%	42.9%	37.1%
問題あり	47	11	8	66
	67.1%	52.4%	57.1%	62.9%
合計	70	21	14	105
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-44 校内での問題行動

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
なし	17	7	3	27
	23.3%	33.3%	21.4%	25.0%
あり	56	14	11	81
	76.7%	66.7%	78.6%	75.0%
合計	73	21	14	108
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-45 校内での非行

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
なし	53	17	6	76
	72.6%	77.3%	42.9%	69.7%
あり	20	5	8	33
	27.4%	22.7%	57.1%	30.3%
合計	73	22	14	109
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-46 進路の明確さ

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
明確	2	0	0	2
	2.6%	0.0%	0.0%	1.8%
どちらかといえば明確	3	1	0	4
	3.9%	4.5%	0.0%	3.5%
どちらかといえば不明 確	7	2	2	11
	9.1%	9.1%	14.3%	9.7%
不明確	65	19	12	96
	84.4%	86.4%	85.7%	85.0%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-47 親しい友人グループ

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
なし	8	0	2	10
	10.7%	0.0%	14.3%	9.1%
学校仲間	13	6	8	27
	17.3%	28.6%	57.1%	24.5%
遊び仲間	35	8	2	45
	46.7%	38.1%	14.3%	40.9%
施設仲間	4	2	0	6
	5.3%	9.5%	0.0%	5.5%
不良集団	15	3	2	20
	20.0%	14.3%	14.3%	18.2%
その他	0	2	0	2
	0.0%	9.5%	0.0%	1.8%
合計	75	21	14	110
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-48 精神診断

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
なし	66	22	12	100
	85.7%	100.0%	85.7%	88.5%
知的障害	1	0	0	1
	1.3%	0.0%	0.0%	0.9%
その他	10	0	1	11
	13.0%	0.0%	7.1%	9.7%
不詳	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	7.1%	0.9%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-49 精神科診断名の数

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
1種類	7	0	1	8
	63.6%	0.0%	100.0%	66.7%
2種類	3	0	0	3
	27.3%	0.0%	0.0%	25.0%
3種類	1	0	0	1
	9.1%	0.0%	0.0%	8.3%
合計	11	0	1	12
	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%

表3-50 精神科診断名

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
適応障害	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%
知的障害	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%
学習障害	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%
広汎性発達障害	5 6.5%	0 0.0%	1 4.5%	6 5.3%
注意欠陥／多動性障害	4 5.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 3.5%
行為障害	3 3.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.7%
解離性障害	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%
合計	16 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	17 100.0%

表3-51 知能指数（新田中B式知能検査）

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
59以下	4 5.5%	2 10.0%	0 0.0%	6 5.8%
60～69	18 24.7%	3 15.0%	0 0.0%	21 20.2%
70～79	19 26.0%	8 40.0%	4 36.4%	31 29.8%
80～89	19 26.0%	3 15.0%	2 18.2%	24 23.1%
90～99	9 12.3%	2 10.0%	2 18.2%	13 12.5%
100～109	1 1.4%	1 5.0%	2 18.2%	4 3.8%
110～119	2 2.7%	1 5.0%	1 9.1%	4 3.8%
120以上	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.0%
合計	73 100.0%	20 100.0%	11 100.0%	104 100.0%

表3-52 知能指数（個別式知能検査）

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
59以下	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	25.0%	1.8%
60～69	4	0	1	5
	10.0%	0.0%	25.0%	8.9%
70～79	10	4	0	14
	25.0%	33.3%	0.0%	25.0%
80～89	15	4	1	20
	37.5%	33.3%	25.0%	35.7%
90～99	9	3	0	12
	22.5%	25.0%	0.0%	21.4%
100～109	2	1	1	4
	5.0%	8.3%	25.0%	7.1%
合計	40	12	4	56
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-53 医療措置の要否

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
要	18	1	1	20
	23.4%	4.5%	7.1%	17.7%
不要	59	21	12	92
	76.6%	95.5%	85.7%	81.4%
未了	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	7.1%	0.9%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-54 鑑別判定

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
在宅保護（保護観察）	0	0	2	2
	0.0%	0.0%	14.3%	1.8%
在宅保護（その他）	0	0	6	6
	0.0%	0.0%	42.9%	5.3%
収容保護（初等・長期）	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	7.1%	0.9%
収容保護（児童自立支援施設等送致）	77	22	0	99
	100.0%	100.0%	0.0%	87.6%
未了	0	0	4	4
	0.0%	0.0%	28.6%	3.5%
その他	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	7.1%	0.9%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-55 審判決定等

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
保護観察	0	4	3	7
	0.0%	18.2%	21.4%	6.2%
児童自立支援施設等送 致	77	0	4	81
	100.0%	0.0%	28.6%	71.7%
知事・児童相談所長送 致	0	4	2	6
	0.0%	18.2%	14.3%	5.3%
審判不開始・不処分	0	1	0	1
	0.0%	4.5%	0.0%	0.9%
観護措置の取消し	0	0	4	4
	0.0%	0.0%	28.6%	3.5%
試験観察（在宅）	0	13	1	14
	0.0%	59.1%	7.1%	12.4%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-56 鑑別判定と審判決定等の関係

鑑別判定 審判決定	在宅保護 （保護観察）	在宅保護 （その他）	収容保護 （初等・長期）	収容保護 （児童自立支援 施設等送致）	未了	その他	合計
保護観察	1	2	0	4	0	0	7
	50.0%	33.3%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	6.2%
児童自立支援施設等送 致	0	2	1	77	1	0	81
	0.0%	33.3%	100.0%	77.8%	25.0%	0.0%	71.7%
知事・児童相談所長送 致	0	1	0	4	0	1	6
	0.0%	16.7%	0.0%	4.0%	0.0%	100.0%	5.3%
審判不開始・不処分	0	0	0	1	0	0	1
	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.9%
観護措置の取消し	1	0	0	0	3	0	4
	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	3.5%
試験観察	0	1	0	13	0	0	14
	0.0%	16.7%	0.0%	13.1%	0.0%	0.0%	12.4%
合計	2	6	1	99	4	1	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-57 前回鑑別判定

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
該当なし	73	19	13	105
	94.8%	86.4%	92.9%	92.9%
収容保護（児童自立支 援施設等送致）	4	3	1	8
	5.2%	13.6%	7.1%	7.1%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-58 前回審判決定等

	児童自立支援 施設送致	その他決定	その他判定	合計
該当なし	73	19	13	105
	94.8%	86.4%	92.9%	92.9%
児童自立支援施設等送 致	4	2	0	6
	5.2%	9.1%	0.0%	5.3%
試験観察（在宅）	0	1	1	2
	0.0%	4.5%	7.1%	1.8%
合計	77	22	14	113
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

图1-1 知能指数 (性別・国籍別)

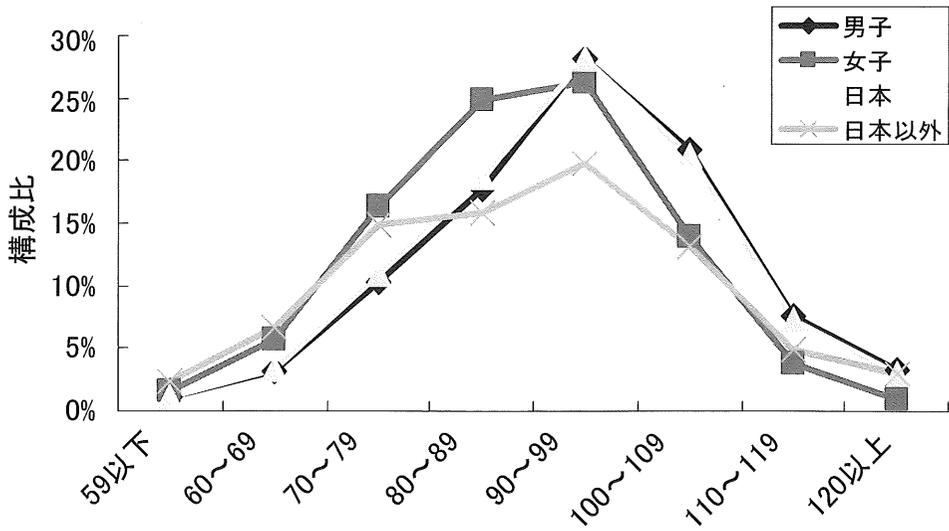


图1-2 知能指数 (年齢層別)

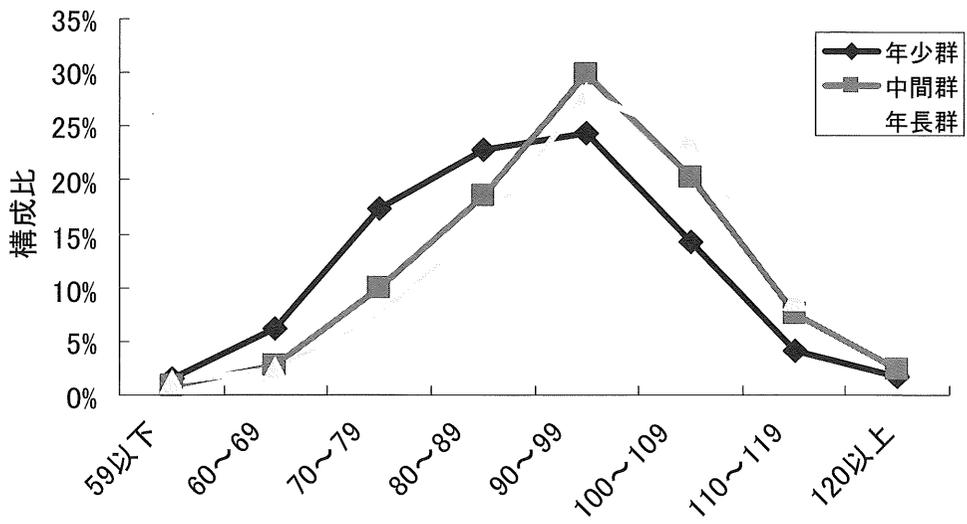


図2-1 知能指数（新田中B式知能検査）

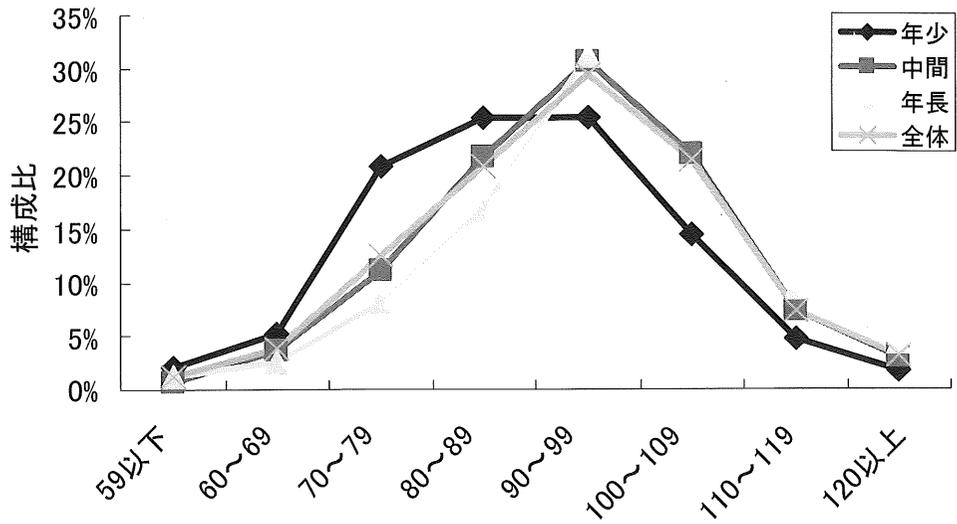


図2-2 知能指数（個別式知能検査）

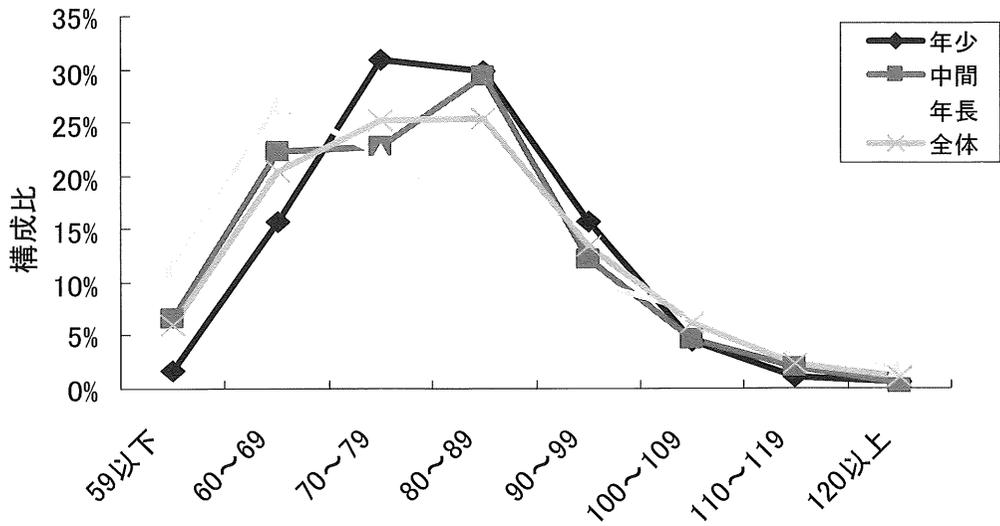


図3-1 知能指数（新田中B式知能検査）

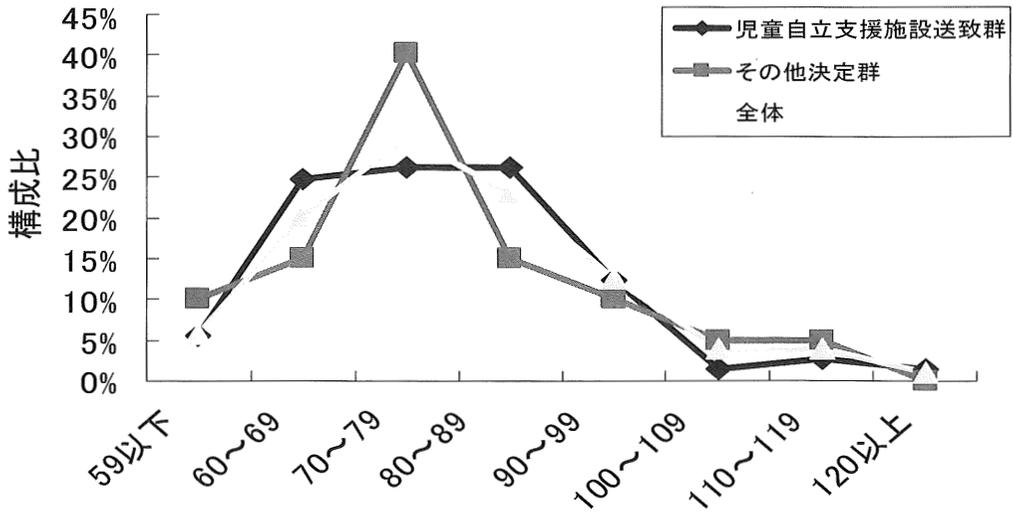
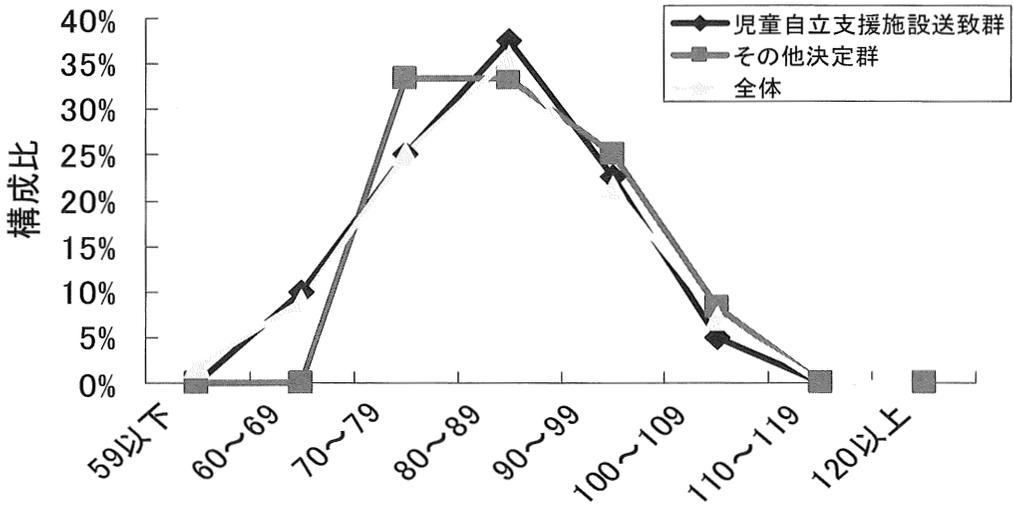


図3-2 知能指数（個別式知能検査）



少年鑑別所入所少年の特質に関する調査

矯正協会附属中央研究所

1. 通所少年鑑別所名 少年鑑別所名(若しくは調査委員領7ページにより記入)	2. 入所番号	3. 入所月 平成20年()月()日	4. 退所月 平成20年()月()日	5. 特別更新	6. 性別	7. 通所時年齢	実数を記入
8. 国籍	1 日本 4 米国 7 フォロピアム	2 韓国・朝鮮 5 フラジル 8 フォロピアム	3 中国 6 タイ 9 その他	0 なし 1 あり	1 男 2 女	7. 通所時年齢	実数を記入
9. 非行名(複数ある場合は9つまで)	1 窃盗 4 強盗致死傷 7 強盗 10 強制かきつけ致死傷 13 覚せい剤取締法 16 その他	2 傷害 5 詐欺 8 暴行 11 暴力行為等処罰 14 毒物及び劇物取締法 15 盗	3 恐喝 6 住居侵入 9 自動車運転失致死傷 12 道路交通法 15 盗				
10. 非行時の身上	0 該当なし 3 試験観察中(指導委託) 6 施設在り所中	1 1号観察中 4 試験観察中(在宅) 5 刑執行猶予中	2 2号観察中 5 刑執行猶予中				
11. 本件非行の動機	1 遊び 4 退屈 7 突っ張り 10 かつとって 13 騒わられて 16 セックスがしたくて 19 その他	2 好奇心 5 乗りたくて 8 うさずらして 11 お金や物が欲しくて 14 強引されて 17 性的興味 19 などとなく	3 スリル 6 目立ちたくて 9 いやなことかまされたくて 12 友達に困って 15 交友したくなくて 18 などとなく				
12. 被害の程度	0 該当なし 3 死亡	1 1ヶ月未満 1 1ヶ月未満 3 10万円未満	2 2ヶ月以上 2 1万円未満 4 10万円以上				
13. 被害者の種類	0 該当なし 3 不良仲間 3 成人と少年	1 親族 4 その他(面識あり) 1 少年 2 成人	2 遊び仲間 5 その他(面識なし)				
14. 共犯関係	0 単独 3 4人以上	1 2人 4 不特定多数 1 学校仲間 4 施設仲間 6 行きずり 7 不良集団	2 3人 5 不詳 2 遊び仲間 5 親族 8 その他				
0 該当なし 3 後援	1 主導 4 その他	2 同格					
0 該当なし	1 あり						

15. 少年鑑別所入所回数	16. 審判不附処置	17. 不処分歴	処分歴(回数を含む)			19. 保護処分歴
			18. 試験観察	18. 保護観察	19. 保護処分歴	
			①在宅	②輔導委託	①保護観察	②措置自立 ③少年院 ④少年院 ⑤少年院 ⑥少年院 ⑦少年院 ⑧少年院 ⑨少年院 ⑩少年院 ⑪少年院 ⑫少年院 ⑬少年院 ⑭少年院 ⑮少年院 ⑯少年院 ⑰少年院 ⑱少年院 ⑲少年院 ⑳少年院 ㉑少年院 ㉒少年院 ㉓少年院 ㉔少年院 ㉕少年院 ㉖少年院 ㉗少年院 ㉘少年院 ㉙少年院 ㉚少年院 ㉛少年院 ㉜少年院 ㉝少年院 ㉞少年院 ㉟少年院 ㊱少年院 ㊲少年院 ㊳少年院 ㊴少年院 ㊵少年院 ㊶少年院 ㊷少年院 ㊸少年院 ㊹少年院 ㊺少年院 ㊻少年院 ㊼少年院 ㊽少年院 ㊾少年院 ㊿少年院
20. 刑事処分歴						
①罰金		0なし	1あり			
②懲り刑		0なし	1あり			
③服役刑		0なし	1あり			
④その他		0なし	1あり			
21. 再非行期間		0 前回処分なし 3 6月以内 6 2年以内 9 施設在り所中の非行	1 1月以内 4 1年以内 7 2年を超える	2 3月以内 5 1年6月以内 8 前回処分前の非行		
22. 非行初発年齢		実数を記入				
23. 非行の範囲		0なし	1あり			
①財産犯		0なし	1あり			
②凶悪犯		0なし	1あり			
③暴走犯		0なし	1あり			
④性犯罪		0なし	1あり			
⑤薬物犯		0なし	1あり			
⑥交通犯罪		0なし	1あり			
⑦その他		0なし	1あり			
24. 不良集団所属歴						
①不良生徒・学生集団		0なし	1あり(現在あり)	2あり(現在なし)		
②地域不良集団		0なし	1あり(現在あり)	2あり(現在なし)		
③暴走族		0なし	1あり(現在あり)	2あり(現在なし)		
④暴力団		0なし	1あり(現在あり)	2あり(現在なし)		
⑤その他不良集団		0なし	1あり(現在あり)	2あり(現在なし)		
25. 立替		0 該当なし	1 中心的	2 周知的		

質問項目	選択肢	回答欄
28. 居住状況	1 家族と同居 4 住込み 7 施設 10 旅館・ホテル 0 なし 1 親父母 3 実母 6 養父(母) 0 無職者 3 専務 6 保安職業 9 技能工、操縦・製造・建設作業及び労務作業 0 問題なし 3 問題あり(疎遠)	3 7・8・ト・下番・町内り・寮 6 知人宅 9 浮浪 12 その他 2 同様 5 作業員宿舎 8 不良者の居所 11 不定 2 祖父 4 実父実母 5 養父実母 2 管理的職業 4 販売 5 サーチー職業 7 農林漁業 8 運輸・通信 技能工、操縦・製造・建設作業及び労務作業 1 富裕 3 貧困 0 問題なし 1 問題あり(依存) 2 問題あり(対立) 3 問題あり(疎遠) 4 問題あり(その他) 5 該当なし 1 問題なし 2 問題あり(依存) 3 問題あり(疎遠) 4 問題あり(対立) 5 該当なし
29. 保護者	0 なし 1 親父母 3 実母 6 養父(母) 0 無職者 3 専務 6 保安職業 9 技能工、操縦・製造・建設作業及び労務作業 0 問題なし 3 問題あり(疎遠)	2 祖父 4 実父実母 5 養父実母 2 管理的職業 4 販売 5 サーチー職業 7 農林漁業 8 運輸・通信 技能工、操縦・製造・建設作業及び労務作業 1 富裕 3 貧困
30. 保護者の職業	0 無職者 3 専務 6 保安職業 9 技能工、操縦・製造・建設作業及び労務作業 0 問題なし 3 問題あり(疎遠)	2 管理的職業 4 販売 5 サーチー職業 7 農林漁業 8 運輸・通信 技能工、操縦・製造・建設作業及び労務作業 1 富裕 3 貧困
31. 家庭の生活程度	1 富裕 3 貧困	3 貧困
32. 父との関係	0 問題なし 3 問題あり(疎遠)	1 問題あり(依存) 2 問題あり(対立) 3 問題あり(疎遠) 4 問題あり(その他) 5 該当なし
33. 母との関係	0 問題なし 3 問題あり(疎遠)	1 問題あり(依存) 2 問題あり(対立) 3 問題あり(疎遠) 4 問題あり(その他) 5 該当なし
34. 家族の特徴		
① 親の離婚	0 なし 1 あり	
② 離婚	0 なし 1 あり	
③ 経済的困窮	0 なし 1 あり	
④ 混乱音	0 なし 1 あり	
⑤ 被虐待	0 なし 1 あり	
⑥ 犯罪者・非行者	0 なし 1 あり	
⑦ 自殺者	0 なし 1 あり	
⑧ 精神障害者	0 なし 1 あり	
⑨ 家族間葛藤	0 なし 1 あり	
⑩ 指導力欠如	0 なし 1 あり	
⑪ その他の問題	0 なし 1 あり	
35. どの回数	0 なし 1 1回 3 3回 4 4回	2 2回 5 5回以上
36. 在所中の保護者からの家出	0 なし 1 1回 3 3回 4 4回	2 2回 5 5回以上
37. 在所中の保護者への家出	0 なし 1 1回 3 3回	2 2回 5 5回以上

質問項目	選択肢	回答欄
26. 薬物濫用歴		
① 麻薬	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
② あへん	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
③ 大麻	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
④ 覚せい剤	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
⑤ 有機溶剤	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
⑥ その他の薬物	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
27. 問題行動歴		
① 無免許運転	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
② 暴走行為	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
③ 万引き	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
④ 恐喝	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
⑤ 喫煙	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
⑥ 飲酒	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
⑦ 柔道(夜遊び)	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
⑧ 自傷	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
⑨ 自殺企図	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
⑩ 校内暴力	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
⑪ いじめ被害	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
⑫ いじめ被害	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
⑬ 不登校	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
⑭ 家庭内暴力	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
⑮ 家財持ち出し	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
⑯ 家出	0 なし 1 あり(現在あり) 2 あり(現在なし)	2 あり(現在なし)
⑰ 文身	0 なし 1 いたす 2 本格的	2 本格的

質問項目	選択肢	回答欄
54. 精神診断		
① 精神診断	0 精神障害なし 1 精神障害あり	
② 診断名	【 】	
55. 知能指数		
① 延田中公式知能検査	実数を記入(未実施・不詳の場合は「0」とする)	
② 題別式知能検査	実数を記入(未実施・不詳の場合は「0」とする)	
56. 医療措置		
① 要否	0 不要 1 要 2 未了	
② 診断名	【 】	
57. 鑑別判定	1 保護不要 2 在宅保護(保護観察) 3 在宅保護(初等・長期) 4 収容保護(初等・特修短期) 5 収容保護(中等・長期) 6 収容保護(中等・特修短期) 7 収容保護(中等・特修短期) 8 収容保護(中等・特修短期) 9 収容保護(中等・特修短期) 10 収容保護(中等・特修短期) 11 収容保護(中等・特修短期) 12 収容保護(中等・特修短期) 13 収容保護(中等・特修短期) 14 収容保護(中等・特修短期) 15 保護 16 その他	
58. 審判決定等	1 審判不開始 2 不処分 3 保護観察 4 知事・児童相談所長送致 5 初等少年院(一般短期)送致 6 初等少年院(一般短期)送致 7 初等少年院(一般短期)送致 8 中等少年院(一般短期)送致 9 中等少年院(一般短期)送致 10 中等少年院(一般短期)送致 11 特別少年院送致 12 医療少年院送致 13 児童自立支援施設等送致 14 検察官送致(20条) 15 保護観察(在宅) 16 保護観察(在宅) 17 試験観察(補導委託) 18 試験措置取消 19 その他	
59. 前回の鑑別判定	0 該当なし 1 保護不要 2 在宅保護(保護観察) 3 在宅保護(その他) 4 収容保護(初等・長期) 5 収容保護(初等・特修短期) 6 収容保護(中等・長期) 7 収容保護(中等・特修短期) 8 収容保護(中等・特修短期) 9 収容保護(中等・特修短期) 10 収容保護(中等・特修短期) 11 収容保護(中等・特修短期) 12 収容保護(中等・特修短期) 13 収容保護(中等・特修短期) 14 収容保護(中等・特修短期) 15 保護 16 保護不要(その他) 17 その他	
60. 前回の審判決定	0 該当なし 1 審判不開始 2 不処分 3 保護観察 4 知事・児童相談所長送致 5 初等少年院(一般短期)送致 6 初等少年院(一般短期)送致 7 初等少年院(一般短期)送致 8 初等少年院(一般短期)送致 9 中等少年院(一般短期)送致 10 中等少年院(一般短期)送致 11 特別少年院送致 12 医療少年院送致 13 児童自立支援施設等送致 14 検察官送致(19条2項) 15 検察官送致(20条) 16 試験観察(在宅) 17 試験観察(補導委託) 18 試験措置取消 19 その他	

質問項目	選択肢	回答欄
38. 教育程度		
① 最終学歴	1 小学校 2 中学校 3 高等学校 4 高等専門学校 5 短期大学 6 大学	
② 就学状況	1 在学 2 中退 3 卒業 4 その他	
39. 学校生活に対する意識	0 なし 1 あり	
40. 勉学の有無	0 なし 1 あり	
41. 学業成績	1 上位 2 中位 3 下位	
42. 学校での人間関係		
① 同級生との関係	0 問題なし 1 問題あり	
② 教師との関係	0 問題なし 1 問題あり	
43. 学校内での問題行動	0 なし 1 あり	
44. 学校内での非行	0 なし 1 あり	
45. 進路の明確さ	1 明確 2 どちらかといえは明確 3 どちらかといえは不明確 4 不明確	
46. 本人の職業		
0 なし	1 無職者(その他) 2 事務 3 販売 4 サービス職(接客関係) 5 サービス職(接客関係) 6 サービス職(接客関係) 7 農林漁業 8 運輸・通信 9 技能工等(建築関係) 10 技能工等(建築関係) 11 技能工等(労働関係) 12 技能工等(その他) 13 その他の職業	
47. 就労に対する意欲	0 なし 1 あり	
48. 就業状況(勤続期間)	0 問題なし 1 問題あり	
49. 現職の就業期間	1 1月以内 2 3月以内 3 6月以内 4 1年以上 5 2年以上 6 3年以上 7 3年以上	
50. 鑑別での人間関係		
① 同級生との関係	0 問題なし 1 問題あり	
② 上司との関係	0 問題なし 1 問題あり	
③ 犯罪性のある同級生との交際	0 なし 1 あり	
51. 鑑別中の交友関係	0 なし 1 あり	
52. 鑑別中に交友関係の維持	1 明確 2 どちらかといえは明確 3 どちらかといえは不明確 4 不明確	
53. 最も親しい友人グループの課題	0 なし 1 学校仲間 2 遊び仲間 3 職場仲間 4 施設仲間 5 不良集団 6 その他	